****文学部****

明治学院大学履修要項

２０２０年度生用

2021

Meiji Gakuin University

目　次

明治学院大学 …… 1

人材養成上の目的・教育目標 …… 1

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） …… 1

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） …… 1

はじめに …… 2

情報の伝達 …… 4

学修の手引き

カリキュラム …… 6

単位制 …… 7

履修 …… 8

科目ナンバリングについて …… １１

授業 …… １３

試験 …… １５

成績 …… １９

卒業と学位 …… ２２

単位認定 …… ２３

明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケイト・プログラム …… ２４

明治学院共通科目 …… ２５

人材養成上の目的・教育目標 …… ２７

期待される学修成果 …… ２７

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） …… ２７

期待される学修成果と授業科目の関連表(能力要件表) …… ２９

履修上の注意 …… ３７

必修科目 …… ３８

１．ｺｱ科目 …… ３８

２．言語系科目群 …… ３８

３．情報処理系科目群 ･･･ ４２
４．諸領域科目群 ･･･ ４３
５．単位認定用科目 ･･･ ４７

英文学科 ･･･ ４９
《文　学　部》
人材養成上の目的・教育目標 ･･･ ５１
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） ･････････････ ５１
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） ･････････ ５１
■英 文 学 科
人材養成上の目的・教育目標 ･･･ ５２
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） ･････････････ ５２
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） ･････････ ５２
卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表) ･････ ５３

フランス文学科 ･･･ ７５
《文　学　部》
人材養成上の目的・教育目標 ･･･ ７７
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） ･････････････ ７７
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） ･････････ ７７
■フ ラ ン ス 文 学 科
人材養成上の目的・教育目標 ･･･ ７８
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） ･････････････ ７８
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） ･････････ ７８
卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表) ･････ ８０

芸術学科 ･･･ ９７
《文　学　部》
人材養成上の目的・教育目標 ･･･ ９９
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） ･････････････ ９９
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） ･････････ ９９

■芸 術 学 科

人材養成上の目的・教育目標 ･･･ １００
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） ･････････････････････ １００
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） ･･････････････････ １００
卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表) ･･･ １０２
学芸員 ･･･ １２９

諸資格

社会福祉主事任用資格 ･･･ １３３

学部学科等の科目群・学問分野コード表

･････････････････････････････････ １３５

２０２０年度生用

科目ナンバリングについて

１．科目ナンバリングとは

科目名称の先頭に８桁の英数字を付けて表現します。これは教育課程の構造･体系を容易に理解できるように、科目間の関係、科目の難易度・性格、履修順序を表すことで、その科目がカリキュラム全体でどう位置付けられているかを明示するものです。
本学では、教務 Web、シラバス、履修要項、履修登録確認表、成績通知書、授業/試験時間割・教室割等で使用します。

２．対象年度

学科科目：2020年度以降の入学生が対象
明治学院共通科目：2018年度以降の入学生が対象
（対象外の年度の学生は従来の科目名称を参照してください）

３．ナンバリングルール

本学で開講する科目には、科目ナンバリングが付番されます。そのルールは下記のとおりです。

	① 責任 開講学科	② 科目群 学問分野	③ 科目のレベル または配当年次	④ 連続番号	⑤ 科目名称
表記 ルール	アルファベット 大文字２文字	アルファベット 大文字３文字	数字１文字	数字２文字	

例	MG	CHR	1	01	ｷﾘｽﾄ教の基礎 A
	⇓				
	MGCHR101 ｷﾘｽﾄ教の基礎 A				

①責任開講学科
授業を開設する学部学科等を2文字の大文字アルファベットで表します。

学科記号	学科名称	学科記号	学科名称
LE	文学部　英文学科	SG	社会学部　社会学科
LF	文学部　フランス文学科	SW	社会学部　社会福祉学科
LA	文学部　芸術学科	J-	法学部共通
LX	文学部共通	KS	国際学部　国際学科
TC	文学部　教職課程	KC	国際学部　国際キャリア学科
EE	経済学部　経済学科	PS	心理学部　心理学科
EB	経済学部　経営学科	PE	心理学部　教育発達学科
EG	経済学部　国際経営学科	MG	明治学院共通科目

②学部学科等の科目群または学問分野
3文字のアルファベットで表します。一覧表はこの履修要項の巻末に記載しています。

③科目のレベル・配当年次

下記に基づき数字1文字で科目の難易度・順番・種類等（学科によっては配当年次）を表します。

科目のレベル	
記号	内容
1	基礎
2	応用
3	発展
4	展開
9	資格要件
0	その他

配当年次	
記号	内容
1	1 年次
2	2 年次
3	3 年次
4	4 年次
9	資格要件
0	その他

④連続番号

各学部・学科等のカリキュラム体系に基づき、順次性を考慮して、数字2文字（00～99）で表します。

明治学院共通科目

人材養成上の目的・教育目標

明治学院共通科目の主たる開講責任を負う教養教育ｾﾝﾀｰは、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、明治学院大学の教養教育の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

明治学院共通科目による教養教育は、世界に生起する諸問題について、他者との共生をめざし柔軟かつ誠実に対処することのできる市民的教養を有する人材の養成を目的とする。そしてその実現のために、言語系科目と諸領域科目の教育が連携し、多様な思考力と表現力を養成するための総合的な教育を推進する。

言語系科目の教育においては、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力の向上と言語を育んできた自他の文化への理解を深め、自律的な学修態度を身につけることを教育目標とする。また、諸領域科目の教育においては、専門的知見の修得を通して、問題を的確に理解するための読解力や分析力、問題解決のための多面的な思考力を身につけることを教育目標とする。

期待される学修成果

教養教育ｾﾝﾀｰは、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成する。学生は、所定の単位を修得することにより、次の態度、知識、能力を身につけることが期待できる。

1　建学の精神を理解し、多様な価値観を尊重しつつ、社会参加を通して他者への貢献を志向する態度
2　幅広い学問分野の基礎知識を有し、現代社会が抱える諸問題に対して多面的に捉え、的確に価値の判断を行う能力
3　自ら発見した課題について、幅広い知見に基づいて、その解決策を適正かつ明確に提示する能力
4　他者とのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝに必要な能力を身につけ、生涯にわたってそれを伸展させるための自律的学修をつづける態度

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

教養教育ｾﾝﾀｰは、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、教養教育ｾﾝﾀｰの定める「人材養成上の目的・教育目標」に沿って、「教育課程の編成および実施に関する方針」を次のとおり定める。

明治学院共通科目を、ｺｱ科目、言語系科目群、人文科学系科目群、社会科学系科目群、自然科学系科目群、情報処理系科目群、健康･ｽﾎﾟｰﾂ科学系科目群、総合教育系科目群の各群により構成する。効率的な教育効果を期待して、ｺｱ科目に加え、基礎、応用、発展のﾚﾍﾞﾙを設定することにより、順次的、体系的な学修を促進できるように科目を編成する。

(1) ｺｱ科目

建学の精神を理解し、他者への貢献を実現するために必要な知見の獲得を目指して、下記の科目を開講する。

必修科目：「ｷﾘｽﾄ教の基礎」を１年次に配当する。

(2) 言語系科目群

英語によるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力の向上、初習語における基礎的運用能力の育成を目指して、下記の科目を開講する。

必修科目：「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」を１年次に配当する。
留学生には、「日本語」科目を配当する。

選択必修：ﾌﾗﾝｽ語、ﾄﾞｲﾂ語、ｽﾍﾟｲﾝ語、ﾛｼｱ語、中国語、韓国語を選択言語科目として配当する。
留学生は、日本語以外の言語、もしくは、「日本語研究」を選択必修とする。
＊「日本語研究」を選択必修とするのは、法律学科・消費情報環境法学科・政治学科のみ。

自由選択：英語のｵｰﾗｼｰ(聞く・話す)に加え、ﾘﾃﾗｼｰ(読む・書く)強化を目指して、「英語研究」を開講する。
初習語学修の進展を目指して、必修科目として選択した初習語のｲﾝﾃﾝｼﾌﾞｸﾗｽとして各言語の「演習」を開講する。また、上記の選択必修科目に加えて、ｲﾀﾘｱ語・ｱﾗﾋﾞｱ語・ﾀｲ語の学修を目的と

した「基礎」を開講する。

初習語によるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力の養成のため、「(初習)語研究」を開講する。

(3) 情報処理系科目群

選択必修：「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ」を1年次に配当する。

自由選択：「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究」、「情報科学」を開講する。

(4) 諸領域科目群

明治学院共通科目の期待される学修成果に示した1から4について、幅広い学問分野における知識と正確な判断力を涵養するため、「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然科学系科目」、「健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学系科目」、「総合教育系科目」の各分野・領域において諸科目を開講する。各授業科目には、個別の授業ﾃｰﾏが提示される。

期待される学修成果と授業科目の関連表（能力要件表）（明治学院共通科目　文学部）

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
1.ｺｱ科目							
MGCHR101ｷﾘｽﾄ教の基礎A	2	1	◎				
MGCHR102ｷﾘｽﾄ教の基礎B	2	1	◎				
2.言語系科目群							
MGENG101英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1A	1	1		◎	○		
MGENG102英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1B	1	1		◎	○		
MGENG103英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2A	1	1		◎	○		
MGENG104英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2B	1	1		◎	○		
MGFRE101ﾌﾗﾝｽ語1A	1	1		◎	○		
MGFRE102ﾌﾗﾝｽ語1B	1	1		◎	○		
MGFRE103ﾌﾗﾝｽ語2A	1	1		◎	○		
MGFRE104ﾌﾗﾝｽ語2B	1	1		◎	○		
MGCHN101中国語1A	1	1		◎	○		
MGCHN102中国語1B	1	1		◎	○		
MGCHN103中国語2A	1	1		◎	○		
MGCHN104中国語2B	1	1		◎	○		
MGGER101ﾄﾞｲﾂ語1A	1	1		◎	○		
MGGER102ﾄﾞｲﾂ語1B	1	1		◎	○		
MGGER103ﾄﾞｲﾂ語2A	1	1		◎	○		
MGGER104ﾄﾞｲﾂ語2B	1	1		◎	○		
MGSPN101ｽﾍﾟｲﾝ語1A	1	1		◎	○		
MGSPN102ｽﾍﾟｲﾝ語1B	1	1		◎	○		
MGSPN103ｽﾍﾟｲﾝ語2A	1	1		◎	○		
MGSPN104ｽﾍﾟｲﾝ語2B	1	1		◎	○		
MGRUS101ﾛｼｱ語1A	1	1		◎	○		
MGRUS102ﾛｼｱ語1B	1	1		◎	○		
MGRUS103ﾛｼｱ語2A	1	1		◎	○		
MGRUS104ﾛｼｱ語2B	1	1		◎	○		
MGKOR101韓国語1A	1	1		◎	○		
MGKOR102韓国語1B	1	1		◎	○		
MGKOR103韓国語2A	1	1		◎	○		
MGKOR104韓国語2B	1	1		◎	○		
MGJPN101日本語1A	1	1		◎	○		
MGJPN102日本語1B	1	1		◎	○		
MGJPN103日本語2A	1	1		◎	○		
MGJPN104日本語2B	1	1		◎	○		
MGENG201英語特別研究A	2	1		◎	○		
MGENG202英語特別研究B	2	1		◎	○		
MGENG211英語研究1A	2	2	○	◎	○		
MGENG212英語研究1B	2	2	○	◎	○		
MGENG213英語研究2A	2	2	○	◎	○		
MGENG214英語研究2B	2	2	○	◎	○		
MGENG215英語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGENG216英語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGFRE211ﾌﾗﾝｽ語研究1A	2	2		◎	○	○	
MGFRE212ﾌﾗﾝｽ語研究1B	2	2		◎	○	○	
MGFRE213ﾌﾗﾝｽ語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGFRE214ﾌﾗﾝｽ語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGFRE315ﾌﾗﾝｽ語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGFRE316ﾌﾗﾝｽ語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGFRE317ﾌﾗﾝｽ語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGFRE318ﾌﾗﾝｽ語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGCHN211中国語研究1A	2	2		◎	○	○	
MGCHN212中国語研究1B	2	2		◎	○	○	
MGCHN213中国語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGCHN214中国語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGCHN315中国語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGCHN316中国語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGCHN317中国語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGCHN318中国語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGGER211ﾄﾞｲﾂ語研究1A	2	2		◎	○	○	

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
MGGER212ﾄﾞｲﾂ語研究1B	2	2		◎	○	○	

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
MGGER213ﾄﾞｲﾂ語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGGER214ﾄﾞｲﾂ語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGGER315ﾄﾞｲﾂ語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGGER316ﾄﾞｲﾂ語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGGER317ﾄﾞｲﾂ語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGGER318ﾄﾞｲﾂ語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGSPN211ｽﾍﾟｲﾝ語研究1A	2	2		◎	○	○	
MGSPN212ｽﾍﾟｲﾝ語研究1B	2	2		◎	○	○	
MGSPN213ｽﾍﾟｲﾝ語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGSPN214ｽﾍﾟｲﾝ語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGSPN315ｽﾍﾟｲﾝ語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGSPN316ｽﾍﾟｲﾝ語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGSPN317ｽﾍﾟｲﾝ語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGSPN318ｽﾍﾟｲﾝ語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGRUS211ﾛｼｱ語研究1A	2	2		◎	○	○	
MGRUS212ﾛｼｱ語研究1B	2	2		◎	○	○	
MGRUS213ﾛｼｱ語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGRUS214ﾛｼｱ語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGRUS315ﾛｼｱ語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGRUS316ﾛｼｱ語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGRUS317ﾛｼｱ語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGRUS318ﾛｼｱ語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGKOR211韓国語研究1A	2	2		◎	○	○	
MGKOR212韓国語研究1B	2	2		◎	○	○	
MGKOR213韓国語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGKOR214韓国語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGKOR315韓国語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGKOR316韓国語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGKOR317韓国語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGKOR318韓国語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGFRE205ﾌﾗﾝｽ語3A	1	1		◎	○		
MGFRE206ﾌﾗﾝｽ語3B	1	1		◎	○		
MGFRE207ﾌﾗﾝｽ語4A	1	1		◎	○		
MGFRE208ﾌﾗﾝｽ語4B	1	1		◎	○	○	
MGCHN205中国語3A	1	1		◎	○		
MGCHN206中国語3B	1	1		◎	○		
MGCHN207中国語4A	1	1		◎	○		
MGCHN208中国語4B	1	1		◎	○		
MGGER205ﾄﾞｲﾂ語3A	1	1		◎	○		
MGGER206ﾄﾞｲﾂ語3B	1	1		◎	○		
MGGER207ﾄﾞｲﾂ語4A	1	1		◎	○		
MGGER208ﾄﾞｲﾂ語4B	1	1		◎	○		
MGSPN205ｽﾍﾟｲﾝ語3A	1	1		◎	○		
MGSPN206ｽﾍﾟｲﾝ語3B	1	1		◎	○		
MGSPN207ｽﾍﾟｲﾝ語4A	1	1		◎	○		
MGSPN208ｽﾍﾟｲﾝ語4B	1	1		◎	○		
MGRUS205ﾛｼｱ語3A	1	1		◎	○		
MGRUS206ﾛｼｱ語3B	1	1		◎	○		
MGRUS207ﾛｼｱ語4A	1	1		◎	○		
MGRUS208ﾛｼｱ語4B	1	1		◎	○		
MGKOR205韓国語3A	1	1		◎	○		
MGKOR206韓国語3B	1	1		◎	○		
MGKOR207韓国語4A	1	1		◎	○		
MGKOR208韓国語4B	1	1		◎	○		
MGFRE111ﾌﾗﾝｽ語演習初級A	1	1		◎	○		
MGFRE112ﾌﾗﾝｽ語演習初級B	1	1		◎	○		
MGFRE221ﾌﾗﾝｽ語演習中級A	1	1		◎	○	○	
MGFRE222ﾌﾗﾝｽ語演習中級B	1	1		◎	○	○	
MGCHN111中国語演習初級A	1	1		◎	○		
MGCHN112中国語演習初級B	1	1		◎	○		
MGCHN221中国語演習中級A	1	1		◎	○	○	
MGCHN222中国語演習中級B	1	1		◎	○	○	

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
MGGER111ﾄﾞｲﾂ語演習初級A	1	1		◎	○		
MGGER112ﾄﾞｲﾂ語演習初級B	1	1		◎	○		
MGGER221ﾄﾞｲﾂ語演習中級A	1	1		◎	○	○	
MGGER222ﾄﾞｲﾂ語演習中級B	1	1		◎	○	○	
MGSPN111ｽﾍﾟｲﾝ語演習初級A	1	1		◎	○		
MGSPN112ｽﾍﾟｲﾝ語演習初級B	1	1		◎	○		
MGSPN221ｽﾍﾟｲﾝ語演習中級A	1	1		◎	○	○	
MGSPN222ｽﾍﾟｲﾝ語演習中級B	1	1		◎	○	○	
MGKOR111韓国語演習初級A	1	1		◎	○		
MGKOR112韓国語演習初級B	1	1		◎	○		
MGKOR221韓国語演習中級A	1	1		◎	○	○	
MGKOR222韓国語演習中級B	1	1		◎	○	○	
MGITA101ｲﾀﾘｱ語の基礎A	1	1		◎	○		
MGITA102ｲﾀﾘｱ語の基礎B	1	1		◎	○		
MGARB101ｱﾗﾋﾞｱ語の基礎A	1	1		◎	○		
MGARB102ｱﾗﾋﾞｱ語の基礎B	1	1		◎	○		
MGTHA101ﾀｲ語の基礎A	1	1		◎	○		
MGTHA102ﾀｲ語の基礎B	1	1		◎	○		
MGGRE101ｷﾞﾘｼｱ語研究A	2	1		◎	○		
MGGRE102ｷﾞﾘｼｱ語研究B	2	1		◎	○		
MGLAT101ﾗﾃﾝ語研究A	2	1		◎	○		
MGLAT102ﾗﾃﾝ語研究B	2	1		◎	○		
MGSIG101手話1	2	1		◎	○		
MGSIG202手話2	2	1		◎	○		
MGEUC101ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門1	2	1	◎	○	○		
MGEUC102ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門2	2	1	◎	○	○		
MGEUC103ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門3	2	1	◎	○	○		
MGEUC104ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門4	2	1	◎	○	○		
MGEUC105ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門5	2	1	◎	○	○		
MGEUC106ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門6	2	1	◎	○	○		
MGEUC111ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論1	2	1	◎	○	○		
MGEUC112ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論2	2	1	◎	○	○		
MGEUC113ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論3	2	1	◎	○	○		
MGEUC114ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論4	2	1	◎	○	○		
MGEUC115ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論5	2	1	◎	○	○		
MGEUC116ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論6	2	1	◎	○	○		
MGASC101ｱｼﾞｱ言語圏の文化入門1	2	1	◎	○	○		
MGASC102ｱｼﾞｱ言語圏の文化入門2	2	1	◎	○	○		
MGASC103ｱｼﾞｱ言語圏の文化入門3	2	1	◎	○	○		
MGASC104ｱｼﾞｱ言語圏の文化入門4	2	1	◎	○	○		
MGASC111ｱｼﾞｱ言語圏の文化各論1	2	1	◎	○	○		
MGASC112ｱｼﾞｱ言語圏の文化各論2	2	1	◎	○	○		
MGASC113ｱｼﾞｱ言語圏の文化各論3	2	1	◎	○	○		
MGASC114ｱｼﾞｱ言語圏の文化各論4	2	1	◎	○	○		
MGJPN205日本語3A	1	2		◎	○		
MGJPN206日本語3B	1	2		◎	○		
MGJPN207日本語4A	1	2		◎	○		
MGJPN208日本語4B	1	2		◎	○		
MGJPN211日本語研究1A	2	2		◎	○		
MGJPN212日本語研究1B	2	2		◎	○		
MGJPN213日本語研究2A	2	2		◎	○		
MGJPN214日本語研究2B	2	2		◎	○		
MGJPN215日本語研究3A	2	2		◎	○		
MGJPN216日本語研究3B	2	2		◎	○		
3.情報処理系科目群							
MGCOM101ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ1	2	1	◎	○		○	
MGCOM102ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ2	2	1	◎	○		○	
MGCOM201ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究1A	2	1	◎	○		○	
MGCOM202ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究1B	2	1	◎	○		○	
MGCOM203ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究2A	2	1	◎	○		○	
MGCOM204ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究2B	2	1	◎	○		○	
MGCOM211情報科学1	2	1	◎	○		○	

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
MGCOM212情報科学2	2	1	◎	○		○	
MGCOM213情報科学3	2	1	◎	○		○	
MGCOM214情報科学4	2	1	◎	○		○	
4.諸領域科目群							
1.人文科学系科目群							
MGCHR201聖書の世界1	2	2	◎				
MGCHR202聖書の世界2	2	2	◎				
MGCHR203聖書の世界3	2	2	◎				
MGCHR204聖書の世界4	2	2	◎				
MGCHR211ｷﾘｽﾄ教の思想と文化1	2	1			◎		
MGCHR212ｷﾘｽﾄ教の思想と文化2	2	1			◎		
MGCHR213ｷﾘｽﾄ教の思想と文化3	2	1			◎		
MGCHR214ｷﾘｽﾄ教の思想と文化4	2	1			◎		
MGCHR221宗教史1	2	1	◎				
MGCHR222宗教史2	2	1	◎				
MGCHR223宗教史3	2	1	◎				
MGCHR224宗教史4	2	1	◎				
MGCHR231現代社会とｷﾘｽﾄ教1	2	1				○	◎
MGCHR232現代社会とｷﾘｽﾄ教2	2	1				○	◎
MGCHR233現代社会とｷﾘｽﾄ教3	2	1				○	◎
MGCHR234現代社会とｷﾘｽﾄ教4	2	1				○	◎
MGPHI101哲学史1	2	1	◎	○	○	○	
MGPHI102哲学史2	2	1	◎	○	○	○	
MGPHI201哲学各論1	2	1	○	◎	○	○	
MGPHI202哲学各論2	2	1	○	◎	○	○	
MGPHI211科学思想1	2	1	○	◎	○	○	
MGPHI212科学思想2	2	1	○	◎	○	○	
MGETH101倫理学入門1	2	1	◎	○	○	○	
MGETH102倫理学入門2	2	1	◎	○	○	○	
MGETH201倫理学各論1	2	1	○	◎	○	○	
MGETH202倫理学各論2	2	1	○	◎	○	○	
MGETH203倫理学各論3	2	1	○	◎	○	○	
MGETH204倫理学各論4	2	1	○	◎	○	○	
MGLOG101論理学概論1	2	1	◎	○	○	○	
MGLOG102論理学概論2	2	1	◎	○	○	○	
MGLOG201伝統論理学1	2	1	○	◎	○	○	
MGLOG202伝統論理学2	2	1	○	◎	○	○	
MGLOG211現代論理学1	2	1	○	◎	○	○	
MGLOG212現代論理学2	2	1	○	◎	○	○	
MGLIN101言語科学の基礎1	2	1	◎	○	○	○	
MGLIN102言語科学の基礎2	2	1	◎	○	○	○	
MGLIN103言語科学の基礎3	2	1	◎	○	○	○	
MGLIN104言語科学の基礎4	2	1	◎	○	○	○	
MGPSY101心理学入門1	2	1	◎	○		○	
MGPSY102心理学入門2	2	1	◎	○		○	
MGPSY201心理学各論1	2	2	○	◎		○	
MGPSY202心理学各論2	2	2	○	◎		○	
MGPSY203心理学各論3	2	2	○	◎		○	
MGPSY204心理学各論4	2	2	○	◎		○	
MGEDU101教育学の基礎1	2	1	◎				
MGEDU102教育学の基礎2	2	1	◎				
MGART101芸術学の基礎1	2	1	◎	○			
MGART102芸術学の基礎2	2	1	◎	○			
MGART201芸術学各論1	2	1	◎	○			
MGART202芸術学各論2	2	1	◎	○			
MGART203芸術学各論3	2	1	◎	○			
MGART204芸術学各論4	2	1	◎	○			
MGART205芸術学各論5	2	1	◎	○			
MGART206芸術学各論6	2	1	◎	○			
MGJPL101日本文学概論1	2	1	◎	○	○		
MGJPL102日本文学概論2	2	1	◎	○	○		
MGJPL201日本文学講読1	2	1	○	○	◎		

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
MGJPL202日本文学講読2	2	1	○	○	◎		
MGJPL203日本文学講読3	2	1	○	○	◎		
MGJPL204日本文学講読4	2	1	○	○	◎		
MGJPS101日本文化論入門1	2	1	◎		○		○
MGJPS102日本文化論入門2	2	1	◎		○		○
MGJPS103日本文化論入門3	2	1	◎		○		○
MGJPS104日本文化論入門4	2	1	◎		○		○
MGJPS201日本文化特論1	2	1			◎		○
MGJPS202日本文化特論2	2	1			◎		○
2.社会科学系科目群							
MGLAW101法学(日本国憲法を含む) 1	2	1	◎	○		○	○
MGLAW102法学(日本国憲法を含む) 2	2	1	◎	○		○	○
MGPOS101政治学1	2	1	◎	○		○	○
MGPOS102政治学2	2	1	◎	○		○	○
MGSOC101社会学理論の基礎1	2	1	○	◎	○		
MGSOC102社会学理論の基礎2	2	1	○	◎	○		
MGSOC111文化とﾒﾃﾞｨｱの社会学入門1	2	1		◎	○		
MGSOC112文化とﾒﾃﾞｨｱの社会学入門2	2	1		◎	○		
MGSOC121生命とｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨの社会学入門1	2	1		◎	○		
MGSOC122生命とｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨの社会学入門2	2	1		◎	○		
MGSOC131環境とｺﾐｭﾆﾃｨの社会学入門1	2	1		◎	○		
MGSOC132環境とｺﾐｭﾆﾃｨの社会学入門2	2	1		◎	○		
MGSWS101社会福祉学1	2	1	◎		○		○
MGSWS102社会福祉学2	2	1	◎		○		○
MGECN101経済学1	2	1	◎		○	○	○
MGECN102経済学2	2	1	◎		○	○	○
MGSTA101統計学1	2	1	◎				○
MGSTA102統計学2	2	1	◎				○
MGSTA103統計学3	2	1	◎				○
MGSTA104統計学4	2	1	◎				○
MGHIS201歴史学1	2	1	○	○	◎		○
MGHIS202歴史学2	2	1	○	○	◎		○
MGHIS203歴史学3	2	1	○	○	◎		○
MGHIS204歴史学4	2	1	○	○	◎		○
MGHIS205歴史学5	2	1	○	○	◎		○
MGHIS206歴史学6	2	1	○	○	◎		○
MGHIS211歴史学の世界1	2	1	○	○	◎		○
MGHIS212歴史学の世界2	2	1	○	○	◎		○
MGGEO101人文地理学入門1	2	1	◎	○			
MGGEO102人文地理学入門2	2	1	◎	○			
MGGEO201人文地理学1	2	1	○	◎	○		
MGGEO202人文地理学2	2	1	○	◎	○		
MGGEO203人文地理学3	2	1	○	◎	○		
MGGEO204人文地理学4	2	1	○	◎	○		
MGGEO205人文地理学5	2	1	○	◎	○		
MGGEO206人文地理学6	2	1	○	◎	○		
MGANT101文化人類学入門1	2	1	○	○	◎		○
MGANT102文化人類学入門2	2	1	○	○	◎		○
MGANT201文化人類学各論1	2	1	○	○	◎		○
MGANT202文化人類学各論2	2	1	○	○	◎		○
MGSOS101社会科学概論1	2	1	○	○	◎		○
MGSOS102社会科学概論2	2	1	○	○	◎		○
MGSOS103社会科学概論3	2	1	○	○	◎		○
MGSOS104社会科学概論4	2	1	○	○	◎		○
3.自然科学系科目群							
MGMAT101数学入門1	2	1	◎	○		○	
MGMAT102数学入門2	2	1	◎	○		○	
MGMAT111数学1	2	1	◎	○		○	
MGMAT112数学2	2	1	◎	○		○	
MGMAT113数学3	2	1	◎	○		○	
MGMAT114数学4	2	1	◎	○		○	
MGMAT211数学特論1	2	1	○	○		◎	

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
MGMAT212数学特論2	2	1	○	○		◎	
MGPHY101物理学入門1	2	1	◎	○		○	○
MGPHY102物理学入門2	2	1	◎	○		○	○
MGPHY103物理学入門3	2	1	◎	○		○	○
MGPHY201現代の物理学1	2	1	◎	○		○	○
MGPHY202現代の物理学2	2	1	◎	○		○	○
MGPHY203現代の物理学3	2	1	◎	○		○	○
MGPHY211物理学特論	2	1	○	○		○	◎
MGPHY121物理学方法論A	2	1	○	○		○	◎
MGPHY122物理学方法論B	2	1	○	○		○	◎
MGCHE101化学入門1	2	1	◎	○			
MGCHE102化学入門2	2	1	◎	○			
MGCHE201現代の化学1	2	1	◎	○			
MGCHE202現代の化学2	2	1	◎	○			
MGCHE203現代の化学3	2	1	◎	○			
MGCHE204現代の化学4	2	1	◎	○			
MGCHE121化学方法論A	2	1	○			○	◎
MGCHE122化学方法論B	2	1	○			○	◎
MGBIO101生物学入門1	2	1	◎	○		○	○
MGBIO102生物学入門2	2	1	◎	○		○	○
MGBIO201現代の生物学1	2	1	◎	○		○	○
MGBIO202現代の生物学2	2	1	◎	○		○	○
MGBIO203現代の生物学3	2	1	◎	○		○	○
MGBIO204現代の生物学4	2	1	◎	○		○	○
MGBIO205現代の生物学5	2	1	◎	○		○	○
MGBIO211生物学特論	2	1	○	○		○	◎
MGBIO121生物学方法論A	2	1	○	○		○	◎
MGBIO122生物学方法論B	2	1	○	○		○	◎
MGLIS101生命科学入門1	2	1	◎	○			
MGLIS102生命科学入門2	2	1	◎	○			
MGLIS201生命科学各論1	2	1	◎	○			
MGLIS202生命科学各論2	2	1	◎	○			
MGLIS203生命科学各論3	2	1	◎	○			
MGLIS211生命科学特論	2	1	○	○		○	◎
MGLIS121生命科学方法論A	2	1	○	○		○	◎
MGLIS122生命科学方法論B	2	1	○	○		○	◎
4.健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学系科目群							
MGHSS101健康科学概論1	2	1	◎			○	○
MGHSS102健康科学概論2	2	1	◎			○	○
MGHSS111ｽﾎﾟｰﾂ科学概論1	2	1	◎			○	○
MGHSS112ｽﾎﾟｰﾂ科学概論2	2	1	◎			○	○
MGHSS121ｽﾎﾟｰﾂ社会学概論1	2	1	◎			○	○
MGHSS122ｽﾎﾟｰﾂ社会学概論2	2	1	◎			○	○
MGHSS131ｽﾎﾟｰﾂ方法学1	2	1		◎	○	○	○
MGHSS132ｽﾎﾟｰﾂ方法学2	2	1		◎	○	○	○
MGHSS133ｽﾎﾟｰﾂ方法学3	2	1		◎	○	○	○
MGHSS134ｽﾎﾟｰﾂ方法学4	2	1		◎	○	○	○
MGHSS201ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ科学理論･実習1	2	1	○		○	○	◎
MGHSS202ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ科学理論･実習2	2	1	○		○	○	◎
MGHSS211ﾊﾞｲｵﾒｶﾆｸｽ理論･実習1	2	1	○			○	◎
MGHSS212ﾊﾞｲｵﾒｶﾆｸｽ理論･実習2	2	1	○			○	◎
MGHSS141ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究1A	2	1		◎	○	○	○
MGHSS143ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究2A	2	1		◎	○	○	○
MGHSS145ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究3A	2	1		◎	○	○	○
MGHSS242ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究1B	2	1		○	◎	○	○
MGHSS244ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究2B	2	1		○	◎	○	○
MGHSS246ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究3B	2	1		○	◎	○	○
5.総合教育系科目群							
MGIND101現代世界と人間1	2	1		○	◎	○	
MGIND102現代世界と人間2	2	1		○	◎	○	
MGIND103現代世界と人間3	2	1		○	◎	○	
MGIND104現代世界と人間4	2	1		○	◎	○	

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝〇				
MGIND105現代世界と人間5	2	1		〇	◎	〇	
MGIND106現代世界と人間6	2	1		〇	◎	〇	
MGIND111現代社会と教養1	2	1		〇	◎	〇	
MGIND112現代社会と教養2	2	1		〇	◎	〇	
MGIND121多文化共生入門1	2	1		〇	◎	〇	〇

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
MGIND122多文化共生入門2	2	1		○	◎	○	○
MGIND201多文化共生各論1	2	1		○	◎	○	○
MGIND202多文化共生各論2	2	1		○	◎	○	○
MGIND203多文化共生各論3	2	1		○	◎	○	○
MGIND204多文化共生各論4	2	1		○	◎	○	○
MGIND131ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ入門1	2	1		○	○	◎	○
MGIND132ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ入門2	2	1		○	○	◎	○
MGIND211ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ各論1	2	1		○	○	◎	○
MGIND212ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ各論2	2	1		○	○	◎	○
MGIND213ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ各論3	2	1		○	○	◎	○
MGIND214ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ各論4	2	1		○	○	◎	○
MGIND141現代平和研究1	2	1	○	○	◎	○	
MGIND142現代平和研究2	2	1	○	○	◎	○	
MGIND143現代平和研究3	2	1	○	○	◎		○
MGIND221ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ1	2	1		◎	○		
MGIND222ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ2	2	1		◎	○		
MGIND223ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ3	2	1		◎	○		
MGIND224ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ4	2	1		◎	○		
MGMGS101明治学院研究1	2	1	◎				
MGMGS202明治学院研究2	2	1	◎				
MGMGS203明治学院研究3	2	1	◎				
MGENV101環境学各論1	2	1	◎	○		○	
MGENV102環境学各論2	2	1	◎	○		○	
MGENV103環境学各論3	2	1	○	○		○	◎
MGENV104環境学各論4	2	1	○	○		○	◎
MGSUS101ｻｽﾃｲﾅﾋﾞﾘﾃｨｰ学1	2	1		◎	○	○	○
MGSUS102ｻｽﾃｲﾅﾋﾞﾘﾃｨｰ学2	2	1		◎	○	○	○
MGSUS103ｻｽﾃｲﾅﾋﾞﾘﾃｨｰ学3	2	1		◎	○	○	○
MGSUS104ｻｽﾃｲﾅﾋﾞﾘﾃｨｰ学4	2	1		◎	○	○	○
MGVOL101ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学入門1	2	1		○	◎		○
MGVOL102ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学入門2	2	1		○	◎		○
MGVOL103ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学入門3	2	1		○	◎		○
MGVOL104ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学入門4	2	1		○	◎		○
MGVOL111ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動入門1	2	1		○	◎	○	○
MGVOL112ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動入門2	2	1		○	◎	○	○
MGVOL201ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動1	2	1		○	○	◎	○
MGVOL202ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動2	2	1		○	○	○	◎
MGVOL121ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論(国内)1A	2	1		○	◎	○	
MGVOL122ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論(海外)2A	2	1		○	◎	○	
MGVOL223ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論(国内)1B	2	2			○	◎	○
MGVOL224ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論(海外)2B	2	2			○	◎	○
MGVOL231ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動実習(国内)	2	2			○	○	◎
MGVOL232ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動実習(海外)	2	2			○	○	◎
MGVOL301ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動研究(国内)	2	2		○		◎	○
MGVOL302ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動研究(海外)	2	2		○		◎	○
MGACW101ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞの基礎	2	1		◎	○	○	
MGACW201ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習1	2	1		◎	○	○	
MGLCD101ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ1	2	1		○	○	◎	○
MGLCD202ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ2	2	2		○	○	◎	○
MGLCD203ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ3	2	3		○	○	◎	○
MGLCD204ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ4	2	3		○	○	◎	○
MGLCD111ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ1	2	2		○	◎	○	○
MGLCD212ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ2	2	2		○	◎	○	○
MGSEM301ｱｼﾞｱ･日本研究A	2	3		◎	○	○	○
MGSEM302ｱｼﾞｱ･日本研究B	2	3		◎	○	○	○
MGSEM311ﾖｰﾛｯﾊﾟ文化圏研究A	2	3		◎	○	○	○
MGSEM312ﾖｰﾛｯﾊﾟ文化圏研究B	2	3		◎	○	○	○
MGSEM321現代科学研究A	2	3		○	○	◎	○
MGSEM322現代科学研究B	2	3		○	○	◎	○
MGSEM331現代社会研究A	2	3		◎	○	○	○
MGSEM332現代社会研究B	2	3		◎	○	○	○
MGPIO101ｵﾙｶﾞﾝ実習1	2	2	◎				

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝〇				
MGPI0202ｵﾙｶﾞﾝ実習2	2	2	◎				

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
MGINT201Japanese Arts and Culture 1	2	1	◎	○	○		
MGINT202Japanese Arts and Culture 2	2	1	◎	○	○		
MGINT203Japanese Arts and Culture 3	2	1	◎	○	○		
MGINT204Japanese Arts and Culture 4	2	1	◎	○	○		
MGINT205Japanese Arts and Culture 5	2	1	◎	○	○		
MGINT206Japanese Arts and Culture 6	2	1	◎	○	○		
MGINT211Japanese History 1	2	1	◎	○	○		
MGINT212Japanese History 2	2	1	◎	○	○		
MGINT213Japanese History 3	2	1	◎	○	○		
MGINT214Japanese History 4	2	1	◎	○	○		
MGINT215Japanese History 5	2	1	◎	○	○		
MGINT216Japanese History 6	2	1	◎	○	○		
MGINT221Japanese Society 1	2	1	◎	○	○		
MGINT222Japanese Society 2	2	1	◎	○	○		
MGINT223Japanese Society 3	2	1	◎	○	○		
MGINT224Japanese Society 4	2	1	◎	○	○		
MGINT225Japanese Society 5	2	1	◎	○	○		
MGINT226Japanese Society 6	2	1	◎	○	○		
MGINT231Multilingualism and Multiculturalism 1	2	1	◎	○	○		
MGINT232Multilingualism and Multiculturalism 2	2	1	◎	○	○		
MGINT233Multilingualism and Multiculturalism 3	2	1	◎	○	○		
MGINT234Multilingualism and Multiculturalism 4	2	1	◎	○	○		
MGINT241Current Issues 1	2	1	◎	○	○		
MGINT242Current Issues 2	2	1	◎	○	○		
MGINT243Current Issues 3	2	1	◎	○	○		
MGINT244Current Issues 4	2	1	◎	○	○		
MGCCS111異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究A	2	1		○	◎	○	
MGCCS112異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究B	2	1		○	◎	○	
留学生関連科目							
MGCCS101日本の社会と文化1A	2	1		○	◎	○	
MGCCS102日本の社会と文化1B	2	1		○	◎	○	
MGCCS103日本の社会と文化2A	2	1		○	◎	○	
MGCCS104日本の社会と文化2B	2	1		○	◎	○	
MGCCS105日本の社会と文化3A	2	1		○	◎	○	
MGCCS106日本の社会と文化3B	2	1		○	◎	○	
MGACW202ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習2(留学生専用)	2	1		◎	○	○	
6.特別学科科目							
SGBAS101社会学概論A	2	1	◎	○	○		
SGBAS102社会学概論B	2	1	◎	○	○		
SGBAS204内なる国際化論A	2	3	○	○	◎		○
SGBAS205内なる国際化論B	2	3	○	○	◎		○
5.単位認定用科目							
1.短期留学認定科目							
MGRES101ﾖｰﾛｯﾊﾟ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○	
MGRES102ｲｷﾞﾘｽ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○	
MGRES103ｽﾍﾟｲﾝ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○	
MGRES104ﾄﾞｲﾂ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○	
MGRES105ﾌﾗﾝｽ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○	
MGRES106ｱﾒﾘｶ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○	
MGRES107ｶﾅﾀﾞ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○	
MGRES108韓国研究(短期留学)	4	1	○	◎		○	
MGRES109中国研究(短期留学)	4	1	○	◎		○	
MGRES110ｵｾｱﾆｱ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○	
MGRES111東南ｱｼﾞｱ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○	
2.中期留学認定科目							
MGRES121ｱﾒﾘｶ研究 （中期留学） 基礎1	1	1	○	◎		○	
MGRES122ｱﾒﾘｶ研究 （中期留学） 基礎2	1	1	○	◎		○	
MGRES123ｱﾒﾘｶ研究 （中期留学） 基礎3	1	1	○	◎		○	
MGRES124ｱﾒﾘｶ研究 （中期留学） 基礎4	1	1	○	◎		○	
MGRES125ｱﾒﾘｶ研究 （中期留学） 基礎5	1	1	○	◎		○	
MGRES126ｱﾒﾘｶ研究 （中期留学） 基礎6	1	1	○	◎		○	
MGRES221ｱﾒﾘｶ研究 （中期留学） 応用1	2	1	○	◎		○	

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
MGRES222ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）応用2	2	1	○	◎		○	

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した 身につく能力			現代社会が抱える 諸問題を捉えるための 幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、 コミュニケーション力	多様性の尊重、 他者貢献、 自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、 社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
MGRES223ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）応用3	2	1	○	◎		○	
MGRES224ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）応用4	2	1	○	◎		○	
MGRES225ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）応用5	2	1	○	◎		○	
MGRES226ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）応用6	2	1	○	◎		○	
MGRES321ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）発展1	3	1	○	◎		○	
MGRES322ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）発展2	3	1	○	◎		○	
MGRES323ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）発展3	3	1	○	◎		○	
MGRES324ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）発展4	3	1	○	◎		○	
MGRES325ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）発展5	3	1	○	◎		○	
MGRES326ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）発展6	3	1	○	◎		○	
3.海ｳﾁｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ　関連科目							
MGITS101海ｳﾁｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ課題研究A	2	1		○	○	○	◎
MGITS102海ｳﾁｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ課題研究B	2	1		○	○	○	◎
MGITS201海ｳﾁｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟA	4	1		○	○	○	◎
MGITS202海ｳﾁｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟB	4	1		○	○	○	◎

［履修上の注意］

①A･Bあるいは1～6はそれぞれ独立した科目である。なお、原則としてA･Bは、同一曜時限の同一担当者のｸﾗｽを履修することとし、同一曜時限に複数ｸﾗｽが開講されている場合にも、いずれか1ｸﾗｽを定めて履修するものとする。

②A･Bは原則としてその順序で履修する（いずれかのみの履修の可否、あるいは両方の履修の要否は科目ごとに指示する）こととするが、1～6は特に指示された場合を除き、どの順序で履修しても差し支えない。また、1～6の全てを履修する必要はない。なお、同学期中に1～6の番号の異なる複数の授業を履修してもよい。

③以下の表の配当年次とは、その科目を履修できる下限の年次を示したものである。1年次配当科目とは、1年次以上の学生が履修できることを意味している。

④特に指示がある科目を除き、同一科目が異なる曜時限に複数開講されている場合でも、履修できるのは1つだけである。

（例:「ｷﾘｽﾄ教の思想と文化1」が月曜1限と月曜2限に開講されている場合、履修できるのは片方のみ）

⑤修得可能な単位数は、学科ごとに定められている。『履修要項』での説明を参照すること。

⑥履修可能なｸﾗｽの開講学期等については、Port Hepburnの時間割表(開講科目情報)で、各自が所属する学科・入学年度の時間割表を参照すること。

⑦学生は自身の興味関心にしたがって所定のﾙｰﾙの範囲内で自由に履修することができるが、関連する科目を有機的に履修することにより、学修の幅をもたせることが可能である。その理想的な「ﾓﾃﾞﾙ」として各ﾃｰﾏに沿った「仮想ｺｰｽ」（「ｱｼﾞｱ地域研究入門ｺｰｽ」・「Do for Others とﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動ｺｰｽ」・「多文化共生ｺｰｽ」・「持続可能な社会ｺｰｽ」）が設定されている。なお、詳細は教養教育ｾﾝﾀｰﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞを参照すること。

［必修科目］

文学部における明治学院共通科目の必修および選択必修、選択科目については、各学科の履修要項〔１〕卒業までに必要な単位数の表も確認の上、履修すること。

1. ［ｺｱ科目］

全学必修のｷﾘｽﾄ教関連科目。A･Bそれぞれ2単位、計4単位を修得しなければならない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCHR	101～102	ｷﾘｽﾄ教の基礎 A･B	1	各 2	1 年次

2. ［言語系科目群］

（文学部各学科の履修一覧）

	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	ﾌﾗﾝｽ語	中国語	ﾄﾞｲﾂ語	ｽﾍﾟｲﾝ語	ﾛｼｱ語	韓国語	日本語
英文学科	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×
	履修不可	いずれか１言語を選択必修						履修不可
ﾌﾗﾝｽ文学科	●	●	○	○	○	○	○	×
	必修	必修	選択科目として履修可能					履修不可
芸術学科	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	留学生対象科目
	必修	いずれか１言語を選択必修						

・表においては、●：必修　◎：選択必修　○：選択　×：履修不可能　を表す。

英文学科 ―ﾌﾗﾝｽ語、中国語、ﾄﾞｲﾂ語、ｽﾍﾟｲﾝ語、ﾛｼｱ語、韓国語のうちから、いずれか1言語を選択し、8単位（言語系科目群「○○語」1A･1B･2A･2Bと「○○語研究」1A･1B･2A･2Bから4単位の計8単位）を修得しなければならない。なお、必修の8単位を超過して修得した場合は、明治学院共通科目の選択（24単位）に算入される。

ﾌﾗﾝｽ文学科 ―言語系科目群「ﾌﾗﾝｽ語」1A･1B･2A･2Bおよび「ﾌﾗﾝｽ語研究」1A･1B･2A･2B（計12単位）と「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」1A･1B･2A･2B（計4単位）を修得しなければならない。必修の「ﾌﾗﾝｽ語」および「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」以外の外国語を修得した場合は、単位群Ⅴ（自由選択）または単位群Ⅵ（明治学院共通科目および学科科目）に算入される。

芸術学科 ―英語4単位（「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」1A･1B･2A･2B）のほか、ﾌﾗﾝｽ語、中国語、ﾄﾞｲﾂ語、ｽﾍﾟｲﾝ語、ﾛｼｱ語、韓国語から1言語を選択し8単位を修得しなければならない（内訳は言語系科目群「○○語」1A･1B･2A･2Bから4単位と「○○語研究」1A･1B･2A･2Bから4単位）。**音楽学コース**、**美術史（西洋）コース**への所属を検討している場合、「初習外国語」として**ドイツ語**もしくは**フランス語**を選択することを**推奨**する。

必修の英語（4単位）および選択必修の外国語（同一言語で8単位）以外の外国語を修得した場合は、単位群Ⅵ（自由選択）または、単位群Ⅶ（明治学院共通科目および学科科目）に算入される。

なお、留学生については、日本語4単位（「日本語」1A･1B･2A･2B）とﾌﾗﾝｽ語、中国語、ﾄﾞｲﾂ語、ｽﾍﾟｲﾝ語、ﾛｼｱ語、韓国語から1言語を選択し8単位を修得すること。「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」については、選択科目として履修可能とする。

※A･Bは独立した科目であるが、可能な限り同一曜時限の同一担当者のｸﾗｽを履修することとし、同一曜時限に複数ｸﾗｽが開講されている場合にも、いずれか1ｸﾗｽを定めて履修するものとする。

「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」「〇〇語」1A・1B・2A・2B

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGENG	101～104	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
MGFRE	101～104	ﾌﾗﾝｽ語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
MGCHN	101～104	中国語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
MGGER	101～104	ﾄﾞｲﾂ語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
MGSPN	101～104	ｽﾍﾟｲﾝ語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
MGRUS	101～104	ﾛｼｱ語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
MGKOR	101～104	韓国語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
MGJPN	101～104	日本語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次

・選択必修科目として選んだ言語を、大学入学以前に既に学習している場合は、必ず教務課窓口に相談すること。相談の結果、許可された者は上記の「〇〇語」1A・1B・2A・2B ではなく、「〇〇語」3A・3B・4A・4B を選択必修科目として履修することになる。

・また、英文学科、芸術学科においては、1 年次に「〇〇語」3A・3B・4A・4B を選択必修科目として履修した者は、2 年次に「〇〇語研究」3A･3B･4A･4B から 4 単位を修得することが必要になる。

・原則として、入学時に選択した言語は変更することができない。ただし、特別の事情があり、ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ期間に申し出た者については、科目責任者が判断する。

「〇〇語研究」・「〇〇語特別研究」

・必修科目、および選択必修科目として選んだ言語について、次年度以降も学修を継続することを希望する学生のためのｲﾝﾃﾝｼﾌﾞｸﾗｽである。「〇〇語研究」1A･1B、2A･2B、3A･3Bは2年次から、「〇〇語研究」4A･4Bは3年次以上から履修が可能となる。いずれも各学期2単位科目である。

・履修に際し一定の語学力が必要とされるため、「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」1A･1B、2A･2Bの計4単位を未修得の者が、以下の「英語研究」を履修することは望ましくない。また、「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」が必修ではない学生が履修を希望する場合は、初回の授業に必ず出席して履修許可を得ることが必要である。

・必修科目、および選択必修科目として選んだ「〇〇語」1A･1B、2A･2Bの計4単位を未修得の者が、以下の「〇〇語研究」を履修することは望ましくない。

・「英語特別研究」A･Bは、1年次で「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」に加えてﾘﾃﾗｼｰ（読み・書き）を強化することを希望する学生のためのｲﾝﾃﾝｼﾌﾞｸﾗｽである（英文学科を除く）。

・これらの科目の単位修得をもって、必修の「〇〇語」1A･1B･2A･2Bに振り替えることはできない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGENG	201～202	英語特別研究 A･B	2	各 2	1 年次
	211～216	英語研究 1A･1B･2A･2B･3A･3B	2	各 2	2 年次
MGFRE	211～214	ﾌﾗﾝｽ語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	2 年次
	315～316	ﾌﾗﾝｽ語研究 3A･3B	3	各 2	2 年次
	317～318	ﾌﾗﾝｽ語研究 4A･4B	3	各 2	3 年次
MGCHN	211～214	中国語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	2 年次
	315～316	中国語研究 3A･3B	3	各 2	2 年次
	317～318	中国語研究 4A･4B	3	各 2	3 年次

MGGER	211～214	ﾄﾞｲﾂ語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	2 年次
	315～316	ﾄﾞｲﾂ語研究 3A･3B	3	各 2	2 年次
	317～318	ﾄﾞｲﾂ語研究 4A･4B	3	各 2	3 年次
MGSPN	211～214	ｽﾍﾟｲﾝ語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	2 年次
	315～316	ｽﾍﾟｲﾝ語研究 3A･3B	3	各 2	2 年次
	317～318	ｽﾍﾟｲﾝ語研究 4A･4B	3	各 2	3 年次
MGRUS	211～214	ﾛｼｱ語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	2 年次
	315～316	ﾛｼｱ語研究 3A･3B	3	各 2	2 年次
	317～318	ﾛｼｱ語研究 4A･4B	3	各 2	3 年次
MGKOR	211～214	韓国語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	2 年次
	315～316	韓国語研究 3A･3B	3	各 2	2 年次
	317～318	韓国語研究 4A･4B	3	各 2	3 年次

「〇〇語」3A・3B・4A・4B

・必修科目として選択した言語の既習者用のｲﾝﾃﾝｼﾌﾞｸﾗｽであり、国際学科生以外は自由に履修できない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGFRE	205～208	ﾌﾗﾝｽ語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	1 年次
MGCHN	205～208	中国語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	1 年次
MGGER	205～208	ﾄﾞｲﾂ語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	1 年次
MGSPN	205～208	ｽﾍﾟｲﾝ語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	1 年次
MGRUS	205～208	ﾛｼｱ語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	1 年次
MGKOR	205～208	韓国語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	1 年次

「〇〇語演習」

・必修科目として選択した初習語と同じ言語について、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力向上を目指す。

・この科目の単位修得をもって、必修の「〇〇語」1A・1B・2A・2Bに振り替えることはできない。

・「〇〇語」3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修を許可された者は、同一言語の「〇〇語演習初級」A・Bは履修できない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGFRE	111～112	ﾌﾗﾝｽ語演習初級 A･B	1	各 1	1 年次
	221～222	ﾌﾗﾝｽ語演習中級 A･B	2	各 1	1 年次
MGCHN	111～112	中国語演習初級 A･B	1	各 1	1 年次
	221～222	中国語演習中級 A･B	2	各 1	1 年次
MGGER	111～112	ﾄﾞｲﾂ語演習初級 A･B	1	各 1	1 年次
	221～222	ﾄﾞｲﾂ語演習中級 A･B	2	各 1	1 年次
MGSPN	111～112	ｽﾍﾟｲﾝ語演習初級 A･B	1	各 1	1 年次
	221～222	ｽﾍﾟｲﾝ語演習中級 A･B	2	各 1	1 年次
MGKOR	111～112	韓国語演習初級 A･B	1	各 1	1 年次
	221～222	韓国語演習中級 A･B	2	各 1	1 年次

「〇〇語の基礎」および西洋古典語研究

・必修および選択必修以外の言語について、基礎的な学修を希望する学生のためのｲﾝﾃﾝｼﾌﾞｸﾗｽである。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGITA	101～102	ｲﾀﾘｱ語の基礎 A･B	1	各 1	1 年次
MGARB	101～102	ｱﾗﾋﾞｱ語の基礎 A･B	1	各 1	1 年次
MGTHA	101～102	ﾀｲ語の基礎 A･B	1	各 1	1 年次
MGGRE	101～102	ｷﾞﾘｼｱ語研究 A･B	1	各 2	1 年次
MGLAT	101～102	ﾗﾃﾝ語研究 A･B	1	各 2	1 年次

手話

・手話の知識を学び、基本的な運用能力を身につける。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGSIG	101	手話 1	1	2	1 年次
	202	手話 2	2	2	1 年次

外国文化論科目

・それぞれの国の文化、社会について知識を深め、言語学習への興味を持たせるための入門的科目と、当該言語の資料にも触れながら、社会、文化についての知識を深める各論科目である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGEUC	101～106	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門 1･2･3･4･5･6	1	各 2	1 年次
	111～116	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論 1･2･3･4･5･6	1	各 2	1 年次
MGASC	101～104	ｱｼﾞｱ言語圏の文化入門 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
	111～114	ｱｼﾞｱ言語圏の文化各論 1･2･3･4	1	各 2	1 年次

留学生関連科目

・以下は留学生のための科目であり、一般学生は履修できない。

・留学生の履修については、別途ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ等の説明を参照し、その指導に従うこと。

・「日本語研究」3A・3Bは、2年次生でも白金校舎での履修が可能である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGJPN	205～208	日本語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	2 年次
	211～216	日本語研究 1A･1B･2A･2B･3A･3B	2	各 2	2 年次

3. ［情報処理系科目群］

ｺﾝﾋﾟｭｰﾀに関する選択必修科目。

・「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ」 1は入門ｸﾗｽ、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ」 2は初級ｸﾗｽである。**学生は、自らの習熟度を判断して1または2を選択し、2単位を修得しなければならない。**なお、それぞれの授業内容については、ｼﾗﾊﾞｽを参照すること。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCOM	101～102	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ 1･2	1	各 2	1 年次

・以下は「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ」 1および2の発展的学修科目である。入学時に中級以上の技能を有する学生については、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究」 1A･1B･2A･2Bから2単位を修得することにより、必修の2単位に振り替えることができる。ただし、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ」 1・2と 「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究」 1A・1Bは同時に履修することはできない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCOM	201～204	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	1 年次
	211～214	情報科学 1･2･3･4	2	各 2	1 年次

4. ［諸領域科目群］

以下の諸科目から自由に選択して履修することができる。多様な科目を選択してもよいし、同一分野の科目を集中的に選択してもよい。学生それぞれの関心に即して履修計画を立てることが可能である。

・各科目ごとの内容は、ｼﾗﾊﾞｽに（授業ﾃｰﾏを付して）公表される。履修に際してはそれらを参照すること。

・履修者数が制限されることがあるので、履修希望者はｼﾗﾊﾞｽを参照すること。

1. 人文科学系科目群

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCHR	201～204	聖書の世界 1･2･3･4	2	各 2	2 年次
	211～214	ｷﾘｽﾄ教の思想と文化 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
	221～224	宗教史 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
	231～234	現代社会とｷﾘｽﾄ教 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
MGPHI	101～102	哲学史 1･2	1	各 2	1 年次
	201～202	哲学各論 1･2	2	各 2	1 年次
	211～212	科学思想 1･2	2	各 2	1 年次
MGETH	101～102	倫理学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	201～204	倫理学各論 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
MGLOG	101～102	論理学概論 1･2	1	各 2	1 年次
	201～202	伝統論理学 1･2	2	各 2	1 年次
	211～212	現代論理学 1･2	2	各 2	1 年次
MGLIN	101～104	言語科学の基礎 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
MGPSY	101～102	心理学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	201～204	心理学各論 1･2･3･4	2	各 2	2 年次
MGEDU	101～102	教育学の基礎 1･2	1	各 2	1 年次
MGART	101～102	芸術学の基礎 1･2	1	各 2	1 年次
	201～206	芸術学各論 1･2･3･4･5･6	2	各 2	1 年次
MGJPL	101～102	日本文学概論 1･2	1	各 2	1 年次
	201～204	日本文学講読 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
MGJPS	101～104	日本文化論入門 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
	201～202	日本文化特論 1･2	2	各 2	1 年次

※ 3 年次以上で「哲学（専）」1・2 を履修するためには、「MGPHI」（哲学）、「MGETH」（倫理学）、「MGLOG」（論理学）の中から、ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞのｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄが同一の 2 科目（計 4 単位）を修得済みでなければならない。

※ 「心理学各論」1～4 を履修するためには、「心理学入門」1・2 の単位修得が望ましい。

2. 社会科学系科目群

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGLAW	101～102	法学(日本国憲法を含む) 1・2	1	各 2	1 年次
MGPOS	101～102	政治学 1・2	1	各 2	1 年次
MGSOC	101～102	社会学理論の基礎 1・2	1	各 2	1 年次
	111～112	文化とﾒﾃﾞｨｱの社会学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	121～122	生命とｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨの社会学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	131～132	環境とｺﾐｭﾆﾃｨの社会学入門 1・2	1	各 2	1 年次
MGSWS	101～102	社会福祉学 1・2	1	各 2	1 年次
MGECN	101～102	経済学 1・2	1	各 2	1 年次
MGSTA	101～104	統計学 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MGHIS	201～206	歴史学 1・2・3・4・5・6	2	各 2	1 年次
	211～212	歴史学の世界 1・2	2	各 2	1 年次
MGGEO	101～102	人文地理学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～206	人文地理学 1・2・3・4・5・6	2	各 2	1 年次
MGANT	101～102	文化人類学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～202	文化人類学各論 1・2	2	各 2	1 年次
MGSOS	101～104	社会科学概論 1・2・3・4	1	各 2	1 年次

3. 自然科学系科目群

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGMAT	101～102	数学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	111～114	数学 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
	211～212	数学特論 1・2	2	各 2	1 年次
MGPHY	101～103	物理学入門 1・2・3	1	各 2	1 年次
	201～203	現代の物理学 1・2・3	2	各 2	1 年次
	211	物理学特論	2	2	1 年次
	121～122	物理学方法論 A・B	1	各 2	1 年次
MGCHE	101～102	化学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～204	現代の化学 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	121～122	化学方法論 A・B	1	各 2	1 年次
MGBIO	101～102	生物学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～205	現代の生物学 1・2・3・4・5	2	各 2	1 年次
	211	生物学特論	2	2	1 年次
	121～122	生物学方法論 A・B	1	各 2	1 年次
MGLIS	101～102	生命科学入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～203	生命科学各論 1・2・3	2	各 2	1 年次
	211	生命科学特論	2	2	1 年次
	121～122	生命科学方法論 A・B	1	各 2	1 年次

4. 健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学系科目群

・履修に際しては、ｼﾗﾊﾞｽ、『明治学院共通科目　履修の手引き』を参照すること。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGHSS	101～102	健康科学概論 1･2	1	各 2	1 年次
	111～112	ｽﾎﾟｰﾂ科学概論 1･2	1	各 2	1 年次
	121～122	ｽﾎﾟｰﾂ社会学概論 1･2	1	各 2	1 年次
	131～134	ｽﾎﾟｰﾂ方法学 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
	201～202	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ科学理論･実習 1･2	2	各 2	1 年次
	211～212	ﾊﾞｲｵﾒｶﾆｸｽ理論･実習 1･2	2	各 2	1 年次
	141･143･145	ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究 1A･2A･3A	1	各 2	1 年次
	242･244･246	ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究 1B･2B･3B	2	各 2	1 年次

5. 総合教育系科目群

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGIND	101～106	現代世界と人間 1･2･3･4･5･6	1	各 2	1 年次
	111～112	現代社会と教養 1･2	1	各 2	1 年次
	121～122	多文化共生入門 1･2	1	各 2	1 年次
	201～204	多文化共生各論 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
	131～132	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ入門 1･2	1	各 2	1 年次
	211～214	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ各論 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
	141～143	現代平和研究 1･2･3	1	各 2	1 年次
	221～224	ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ 1･2･3･4 （注 1）	2	各 2	1 年次
MGMGS	101	明治学院研究 1	1	2	1 年次
	202～203	明治学院研究 2･3	2	各 2	1 年次
MGENV	101～104	環境学各論 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
MGSUS	101～104	ｻｽﾃｲﾅﾋﾞﾘﾃｨｰ学 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
MGVOL	101～104	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学入門 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
	111～112	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動入門 1･2	1	各 2	1 年次
	201～202	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動 1･2	2	各 2	1 年次
	121	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論（国内）1A	1	2	1 年次
	122	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論（海外）2A	1	2	1 年次
	223	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論（国内）1B	2	2	1 年次
	224	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論（海外）2B	2	2	2 年次
	231	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動実習（国内）	2	2	1 年次
	232	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動実習（海外）	2	2	2 年次
	301	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動研究（国内）	3	2	2 年次
	302	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動研究（海外）	3	2	2 年次
MGACW	101	ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞの基礎 （注 2）	1	2	1 年次
	201	ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習 1 （注 2）	2	2	1 年次
MGLCD	101	ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ 1	1	2	1 年次
	202	ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ 2	2	2	2 年次
	203～204	ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ 3･4	2	各 2	3 年次
	111	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ 1	1	2	2 年次
	212	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ 2	2	2	2 年次

MGSEM	301～302	ｱｼﾞｱ･日本研究 A･B	3	各 2	3 年次
	311～312	ﾖｰﾛｯﾊﾟ文化圏研究 A･B	3	各 2	3 年次
	321～322	現代科学研究 A･B	3	各 2	3 年次
	331～332	現代社会研究 A･B	3	各 2	3 年次
MGPIO	101	ｵﾙｶﾞﾝ実習 1（注 3）	1	2	2 年次
	202	ｵﾙｶﾞﾝ実習 2（注 3）	2	2	2 年次
MGINT	201～206	Japanese Arts and Culture 1･2･3･4･5･6	2	各 2	1 年次
	211～216	Japanese History 1･2･3･4･5･6	2	各 2	1 年次
	221～226	Japanese Society 1･2･3･4･5･6	2	各 2	1 年次
	231～234	Multilingualism and Multiculturalism 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
	241～244	Current Issues 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
MGCCS	111～112	異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究 A･B（注 4）	1	各 2	1 年次

注 1：「ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ」1･2･3･4 は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。
注 2：「ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞの基礎」と「ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習 1」は同学期に履修することができない。また、「ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習 1」の単位を修得後に「ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞの基礎」を履修することはできない。
注 3：「ｵﾙｶﾞﾝ実習」1･2 は実習体験型の科目であり、その実施時期や授業形態について特別な条件が付されている 。
注 4：この科目は、「日本の社会と文化」1A・1B・2A・2B・3A・3B において、留学生の授業に一般学生が参加するために設けられた科目である。この科目の履修資格と履修上の要件については、ｼﾗﾊﾞｽを参照すること。

留学生関連科目

・以下は留学生のための科目であり、一般学生は履修できない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCCS	101～106	日本の社会と文化 1A･1B･2A･2B･3A･3B	1	各 2	1 年次
MGACW	202	ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習 2（留学生専用）	2	2	1 年次

6. 特別学科科目

・学科によっては、(注 5)に記載された資格の要件単位となる。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
SGBAS	101～102	社会学概論 A･B		各 2	1 年次
SGBAS	204～205	内なる国際化論 A･B		各 2	3 年次

注 5：中学（社会）、高校（公民）教育職員免許状取得のために履修する場合は、「教職課程履修要項（諸資格）」も参照すること。

5. ［単位認定用科目］

以下の諸科目は、授業として行われる科目ではなく、留学やｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等が実施された後に、本学の単位として認定するための科目である。予め履修登録をすることはできないので注意すること。

1. 短期留学認定科目

・以下は、本学と協定を結ぶ海外校への短期留学について、本学が単位を認定するための科目である。短期留学を行った者以外が単位を修得することはできない。
・留学先によって別途配当年次が定められている場合があるので、必ず「留学ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ」を確認すること。
・これらの科目は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGRES	101	ﾖｰﾛｯﾊﾟ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	102	ｲｷﾞﾘｽ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	103	ｽﾍﾟｲﾝ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	104	ﾄﾞｲﾂ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	105	ﾌﾗﾝｽ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	106	ｱﾒﾘｶ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	107	ｶﾅﾀﾞ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	108	韓国研究（短期留学）	1	4	1 年次
	109	中国研究（短期留学）	1	4	1 年次
	110	ｵｾｱﾆｱ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	111	東南ｱｼﾞｱ研究（短期留学）	1	4	1 年次

2. 中期留学認定科目

・以下は、本学と協定を結ぶ海外校への中期留学について、本学が単位を認定するための科目である。中期留学を行った者以外が単位を修得することはできない。
・留学先によって別途配当年次が定められている場合があるので、必ず「留学ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ」を確認すること。
・これらの科目は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGRES	121～126	ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）基礎 1～6	1	各 1	1 年次
	221～226	ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）応用 1～6	2	各 2	1 年次
	321～326	ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）発展 1～6	3	各 3	1 年次

3. 海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ関連科目

・以下は、学生が参加した各種の海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟについて、本学が単位を認定するための科目である。海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ参加の例としては、「国連ﾕｰｽﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ」などがあるが、詳細は国際ｾﾝﾀｰ等の発信する掲示を参照すること。

・実際に海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟに参加することが決まった段階で教務課窓口に相談し、単位認定を希望する者は、科目責任者の許可を得ること。

・すべての海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟが単位認定の対象となるわけではない点に留意すること。

・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先によって別途配当年次が決められている場合があるので、必ず出願時に確認すること。

・これらの科目は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。

・これらの科目はP・F評価となるため、GPAには含まれない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGITS	101～102	海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ課題研究 A・B	1	各 2	1 年次
	201～202	海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ A・B	2	各 4	1 年次

英文学科

《文 学 部》

人材養成上の目的・教育目標

文学部は、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

文学部においては、さまざまな時代や状況においてなされた人間の創造行為や表現活動の諸相を学生に教授し、他者を理解するとともにまた自らを知る力を培う。そうして、新たな文化を構想する知的分析力や創造力をもった人材を養成してゆく。その過程において、問題を発見する力やそれを伝達する言語能力の涵養も重視し、将来自らが関わる社会のさまざまな局面において、柔軟かつ斬新な思考を展開できる人間を育てる。

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに所定の単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

1　人類の歴史・文化・社会および自然・健康に関する基礎的な教養を身につけている。
2　言語や文化・歴史、あるいはさまざまな表現ジャンルの芸術に関する体系的な知識を有している。
3　個別専門的な領域における新たな問題提起と、その解決を提案する分析力および構想力を有し、またそれを明快に伝達する表現能力を備えている。
4　さまざまな時代・環境における他者の営みを理解し、その認識をより良い社会の構築に結びつける志向をもっている。

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、文学部の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

1　各学科の専門科目の理解に必要な基本的な知識・技能を身につける授業を、初年次から多く設置する。
2　体系的な知識を教授する講義科目と同時並行的に、個別特殊な課題を扱う授業を多く開講し、具体的な課題を思考し、ともに議論する機会を学生に授ける。
3　さまざまな言語や文化、あるいは表現活動に触れることによって、自らを他へと開いてゆく経験を与える。
4　自らの視点から問題を提起し、またそれを的確に表現する力を養う過程として、少人数のゼミや卒業論文制作などを重視する。

■英 文 学 科

人材養成上の目的・教育目標

文学部英文学科は、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、英文学科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

英文学科の教育目標は、一つには、英語による文学や文化の読解と分析を通じて、人間性への洞察と英語圏社会の理解を深めることである。またもう一つに、英語という言語を様々な側面から科学的に研究することにより、人間の相互交流に不可欠なことばの本質・機能についての洞察を深めることも、目標として掲げる。さらに、以上の目標到達と連動して、実践的な英語コミュニケーション能力をみがくことを目指す。国際語である英語の運用能力を身につけることは、他者と意思疎通し、他者を理解しともに生きること、自己と他者の社会や文化の深い理解と洞察に到達するための前提条件である。

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部英文学科は、文学部の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、英文学科の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに 130 単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

1　英語による文学、英語圏の文化に関する基礎的知識、幅広い教養を身につけている。
2　英語という言語に関しての科学的基礎知識、応用知識を身につけている。
3　グローバル化社会で使える英語の４技能（読む、書く、話す、聴く）を身につけている。
4　異文化社会に対する深い理解と分析力をもち、グローバル化社会の情報や現実に対応できる能力を身につけている。

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部英文学科は、文学部の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、英文学科の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

グローバル化社会で通用する実践的な英語コミュニケーション能力を習得させるために、１年次に英語関連基礎科目、２・３年次には英語関連発展科目を必修として設け、基礎から発展レベルまで、４技能を統合して総合的に教授する。英米の文学、そして英語学についての基礎知識、幅広い教養を身につけるために、１・２年次にそれぞれ３分野の「入門」と「概論」の専門基礎科目を、３・４年次には、基礎知識を発展させるべく専門コース科目と少人数制の各種「演習」（ゼミ）を選択必修として設ける。これらの専門科目は、英語関連発展科目や多彩な専門コース科目と連動しながら、最終的には、人間や言語や異なる文化のあり方に対して学生が獲得した理解と洞察力の成果の一端として、ゼミ論や卒論の執筆へと導くことになる。なお、学修成果の評価は、筆記試験、レポートの提出など、各科目のシラバスに定められた方法によって行う。

その他、所定単位を修得することによって多文化共生ファシリテーター/サポーターの認証資格取得も可能である。

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)

学士力				知識・理解		汎用的技能			態度・志向性		統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				英文学科1	英文学科2	英文学科3	英文学科4	文学部3	文学部4	英文学科3	文学部3	文学部3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				英語圏の文学・文化の基礎知識と幅広い教養	英語の科学的基礎知識、応用知識	グローバル化社会で使える英語の４技能	異文化理解と分析力	課題解決の為の分析力・構想力・表現力	よりよい社会の構築に結びつける志向	グローバル化社会への対応能力	専門領域において新たに問題提起する力	専門領域において解決を提案する力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○								
学科基礎科目												
LEBRL101イギリス文学入門	必修	2	1	◎		○	○			○		
LEBRL201イギリス文学概論Ａ	選択必修or選択	2	2	◎		○	○			○		
LEBRL202イギリス文学概論Ｂ	選択必修or選択	2	2	◎		○	○			○		
LEAML101アメリカ文学入門	必修	2	1	◎		○	○			○		
LEAML201アメリカ文学概論Ａ	選択必修or選択	2	2	◎		○	○			○		
LEAML202アメリカ文学概論Ｂ	選択必修or選択	2	2	◎		○	○			○		
LELIN101英語学入門	必修	2	1	○	◎		○		○			
LELIN201英語学概論Ａ	選択必修or選択	2	2	○	◎		○					○
LELIN202英語学概論Ｂ	選択必修or選択	2	2	○	◎		○					○
英語基礎科目												
LEBES101基礎演習１	必修	2	1	○		◎						
LEBES102Listening and Pronunciation A	必修	1	1			◎						
LEBES103Listening and Pronunciation B	必修	1	1			◎						
LEBES104Reading A	必修	1	1			◎						
LEBES105Reading B	必修	1	1			◎						
LEBES106英文法Ａ	必修	1	1		◎	○						
LEBES107英文法Ｂ	必修	1	1		◎	○						
LEBES108Writing A	必修	1	1			◎						
LEBES109Writing B	必修	1	1			◎						
LEBES201基礎演習２	必修	2	2	○		◎						
LEBES202Listening and Speaking A	必修	1	2			◎						
LEBES203Listening and Speaking B	必修	1	2			◎						
LEBES204Academic Reading A	必修	1	2			◎						
LEBES205Academic Reading B	必修	1	2			◎						
LEBES206Academic Writing A	必修	1	2			◎						
LEBES207Academic Writing B	必修	1	2			◎						
英語発展科目Ａ群												
LEAES101英語ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝＡ	選択	2	1			◎	○			○		
LEAES102英語ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝＢ	選択	2	1			◎	○			○		
LEAES103英語文章読解法Ａ	選択	2	1			◎						
LEAES104英語文章読解法Ｂ	選択	2	1			◎						
LEAES105英語文章作成法Ａ	選択	2	1			◎						
LEAES106英語文章作成法Ｂ	選択	2	1			◎						
KCGEN102Current Affairs A	選択	2	1			◎	○			○		
KCGEN103Current Affairs B	選択	2	1			◎	○			○		
イギリス文学コース科目												
LEBRL301イギリス詩Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL302イギリス詩Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL303イギリス小説Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL304イギリス小説Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL305イギリス演劇Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL306イギリス演劇Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL307イギリス文学史Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL308イギリス文学史Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL309イギリス文学批評Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL310イギリス文学批評Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL311イギリス文学特講Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL312イギリス文学特講Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL313イギリス文化研究Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL314イギリス文化研究Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL315Topics in British Culture A	選択必修or選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL316Topics in British Culture B	選択必修or選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL317イギリス文学３年次演習	選択必修	2	3			○	◎			○	○	
LEBRL401イギリス文学４年次演習	選択必修	2	4			○	◎			○	○	
アメリカ文学コース科目												
LEAML301アメリカ詩Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML302アメリカ詩Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML303アメリカ小説Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML304アメリカ小説Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML305アメリカ演劇Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML306アメリカ演劇Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML307アメリカ文学史Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML308アメリカ文学史Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML309アメリカ文学批評Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML310アメリカ文学批評Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML311アメリカ文学特講Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML312アメリカ文学特講Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML313アメリカ文化研究Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML314アメリカ文化研究Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML315Topics in American Culture A	選択必修or選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML316Topics in American Culture B	選択必修or選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML317アメリカ文学３年次演習	選択必修	2	3			○	◎			○	○	
LEAML401アメリカ文学４年次演習	選択必修	2	4			○	◎			○	○	
英語学コース科目												
LELIN301音声学Ａ	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN302音声学Ｂ	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN303英語史Ａ	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN304英語史Ｂ	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN305音韻論Ａ	選択	2	3	○	◎			○				○

学士力				知識・理解		汎用的技能			態度・志向性		統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				英文学科1	英文学科2	英文学科3	英文学科4	文学部3	文学部4	英文学科3	文学部3	文学部3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				英語圏の文学・文化の基礎知識と幅広い教養	英語の科学的基礎知識、応用知識	グローバル化社会で使える英語の４技能	異文化理解と分析力	課題解決の為の分析力・構想力・表現力	よりよい社会の構築に結びつける志向	グローバル化社会への対応能力	専門領域において新たに問題提起する力	専門領域において解決を提案する力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○								
LELIN306音韻論Ｂ	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN307統語論Ａ	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN308統語論Ｂ	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN309意味論Ａ	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN310意味論Ｂ	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN311語用論Ａ	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN312語用論Ｂ	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN313心理言語学Ａ	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN314心理言語学Ｂ	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN315社会言語学Ａ	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN316社会言語学Ｂ	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN317英語学特講Ａ	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN318英語学特講Ｂ	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN319Topics in Linguistics A	選択必修or選択	2	3	○	◎					○		
LELIN320Topics in Linguistics B	選択必修or選択	2	3	○	◎					○		
LELIN321英語学３年次演習	選択必修	2	3	○				○			○	◎
LELIN401英語学４年次演習	選択必修	2	4	○				○			○	◎
関連科目												
LECRS301英米宗教文学Ａ	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS302英米宗教文学Ｂ	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS303英語聖書Ａ	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS304英語聖書Ｂ	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS305英米児童文学Ａ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LECRS306英米児童文学Ｂ	選択	2	3			○	◎	○		○		
LECRS307イギリス研究Ａ	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS308イギリス研究Ｂ	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS309アメリカ研究Ａ	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS310アメリカ研究Ｂ	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS311Intercultural Communication A	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS312Intercultural Communication B	選択	2	3			○	◎		○	○		
英語発展科目Ｂ群												
LEAES301Business English A	選択	2	3			◎				○		
LEAES302Business English B	選択	2	3			◎				○		
LEAES303翻訳技法Ａ	選択	2	3		◎	○		○		○		
LEAES304翻訳技法Ｂ	選択	2	3		◎	○		○		○		
LEAES305通訳技法Ａ	選択	2	3		◎	○		○		○		
LEAES306通訳技法Ｂ	選択	2	3		◎	○		○		○		
LEAES307Academic English Skills A	必修	2	3			◎				○		
LEAES308Academic English Skills B	必修	2	3			◎				○		
LEAES309Advanced Academic Writing	選択	2	3			◎						
英語教育科目												
LEETE201英語教育基礎論Ａ	選択	2	2	○	◎							
LEETE202英語教育基礎論Ｂ	選択	2	2	○	◎							
LEETE203TESOL Seminar(短期留学)	選択	2	2		◎	○	○					○
LEETE301英語教育方法論Ａ	選択	2	3		◎							○
LEETE302英語教育方法論Ｂ	選択	2	3		◎							○
LEETE303英語教育実践論Ａ	選択	2	3		◎							○
LEETE304英語教育実践論Ｂ	選択	2	3		◎							○
LEETE305英語教育評価論Ａ	選択	2	3		◎						○	
LEETE306英語教育評価論Ｂ	選択	2	3		◎						○	
LEETE307Current Topics in ELT A	選択	2	3		◎							○
LEETE308Current Topics in ELT B	選択	2	3		◎							○
LEETE309英語教育３年次演習	選択必修	2	3		◎			○			○	○
LEETE401英語教育４年次演習	選択必修	2	4		◎			○			○	○
卒業論文												
LEGRA401卒業論文	選択	6	4			○		○			◎	○
文学部共通科目												
LFLTJ301日本文学（専）Ａ	選択	2	3					◎				
LFLTJ302日本文学（専）Ｂ	選択	2	3					◎				
LAGEN101中国文学Ａ	選択	2	3				◎					
LAGEN102中国文学Ｂ	選択	2	3				◎					
LAGEN103ドイツ文学Ａ	選択	2	3				◎					
LAGEN104ドイツ文学Ｂ	選択	2	3				◎					
LFLTE301西洋文学Ａ	選択	2	3				◎					
LFLTE302西洋文学Ｂ	選択	2	3				◎					
LECRS201異文化理解１	選択	2	2				◎		○	○		
LECRS202異文化理解２	選択	2	2				◎		○	○		
LFCIN301異文化理解３	選択	2	3				◎		○	○		
LFCIN302異文化理解４	選択	2	3				◎		○	○		
ＬXCRS301哲学（専）１	選択	2	3					◎				
ＬXCRS302哲学（専）２	選択	2	3					◎				
LECRS313言語学Ａ	選択	2	3		◎							
LECRS314言語学Ｂ	選択	2	3		◎							
LFLAT301ラテン語１Ａ	選択	2	3				◎					
LFLAT302ラテン語１Ｂ	選択	2	3				◎					
LFLAT303ラテン語２Ａ	選択	2	3				◎					
LFLAT304ラテン語２Ｂ	選択	2	3				◎					
LECRS315小説技法Ａ	選択	2	3				○	◎	○			
LECRS316小説技法Ｂ	選択	2	3				○	◎	○			
LECRS317翻訳論Ａ	選択	2	3		○	○	◎			○		
LECRS318翻訳論Ｂ	選択	2	3		○	○	◎			○		
LECRS319Practical Career English A	選択	2	3			◎				○		

学士力				知識・理解		汎用的技能			態度・志向性		統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				英文学科1	英文学科2	英文学科3	英文学科4	文学部3	文学部4	英文学科3	文学部3	文学部3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				英語圏の文学・文化の基礎知識と幅広い教養	英語の科学的基礎知識、応用知識	グローバル化社会で使える英語の４技能	異文化理解と分析力	課題解決の為の分析力・構想力・表現力	よりよい社会の構築に結びつける志向	グローバル化社会への対応能力	専門領域において新たに問題提起する力	専門領域において解決を提案する力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○								
LECRS320Practical Career English B	選択	2	3			◎				○		
LAGEN105文化史Ａ	選択	2	3					◎				
LAGEN106文化史Ｂ	選択	2	3					◎				
LAGEN107民俗学Ａ	選択	2	3					◎				
LAGEN108民俗学Ｂ	選択	2	3					◎				
他学科科目												
LFEFB101フランス学概説Ａ	選択	2	1				◎					
LFEFB102フランス学概説Ｂ	選択	2	1				◎					
LFEFB103フランスの歴史Ａ	選択	2	1				◎					
LFEFB104フランスの歴史Ｂ	選択	2	1				◎					
LFEFB105フランス文化研究Ａ	選択	2	1				◎					
LFEFB106フランス文化研究Ｂ	選択	2	1				◎					
LFEFB201フランス文学史Ａ	選択	2	2				◎					
LFEFB202フランス文学史Ｂ	選択	2	2				◎					
LFELF103Exercices Pratiques １Ａ	選択	1	1				◎					
LFELF104Exercices Pratiques １Ｂ	選択	1	1				◎					
LFELF201Exercices Pratiques ２Ａ	選択	1	2				◎					
LFELF202Exercices Pratiques ２Ｂ	選択	1	2				◎					
LFELF303Exercices Pratiques ３Ａ	選択	1	3				◎					
LFELF304Exercices Pratiques ３Ｂ	選択	1	3				◎					
LFELF305Exercices Pratiques ４Ａ	選択	1	3				◎					
LFELF306Exercices Pratiques ４Ｂ	選択	1	3				◎					
LFELF307フランス語表現法２Ａ	選択	1	3				◎					
LFELF308フランス語表現法２Ｂ	選択	1	3				◎					
LFELF309仏会話１Ａ	選択	1	3				◎					
LFELF310仏会話１Ｂ	選択	1	3				◎					
LFELF311仏会話２Ａ	選択	1	3				◎					
LFELF312仏会話２Ｂ	選択	1	3				◎					
LFELF313実用フランス語Ａ	選択	1	3				◎					
LFELF314実用フランス語Ｂ	選択	1	3				◎					
LFELF315時事フランス語Ａ	選択	1	3				◎					
LFELF316時事フランス語Ｂ	選択	1	3				◎					
LFELF317観光フランス語Ａ	選択	1	3				◎					
LFELF318観光フランス語Ｂ	選択	1	3				◎					
LFELF105検定対策フランス語１Ａ	選択	1	1				◎					
LFELF106検定対策フランス語１Ｂ	選択	1	1				◎					
LFELF107検定対策フランス語２Ａ	選択	1	1				◎					
LFELF108検定対策フランス語２Ｂ	選択	1	1				◎					
LFELF319検定対策フランス語３Ａ	選択	1	3				◎					
LFELF320検定対策フランス語３Ｂ	選択	1	3				◎					
LFELF321Préparation au DELF Ａ	選択	1	3				◎					
LFELF322Préparation au DELF Ｂ	選択	1	3				◎					
LFELF323Préparation au TCF Ａ	選択	1	3				◎					
LFELF324Préparation au TCF Ｂ	選択	1	3				◎					
LFELF109Communication niveau avancé	選択	2	1				◎					
LFFAL301フランス語の諸相Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAL302フランス語の諸相Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAL303フランス語史Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAL304フランス語史Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAL305現代翻訳論Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAL306現代翻訳論Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAL307中世･ルネサンス文学Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAL308中世･ルネサンス文学Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAL309１７・１８世紀文学Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAL310１７・１８世紀文学Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAL311近現代の文学Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAL312近現代の文学Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAL313詩と演劇Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAL314詩と演劇Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAL315小説と批評Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAL316小説と批評Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAL317フランス学特講１Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAL318フランス学特講１Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAP301歴史記述論Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAP302歴史記述論Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAP303フランス現代史Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAP304フランス現代史Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAP305日仏比較論Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAP306日仏比較論Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAP307フランコフォニー研究Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAP308フランコフォニー研究Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAP309フランス社会の諸相Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAP310フランス社会の諸相Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAP311現代思想Ａ	選択	2	3					◎				
LFFAP312現代思想Ｂ	選択	2	3					◎				
LFFAP313哲学と人間Ａ	選択	2	3					◎				
LFFAP314哲学と人間Ｂ	選択	2	3					◎				
LFFAP315精神分析入門Ａ	選択	2	3					◎				
LFFAP316精神分析入門Ｂ	選択	2	3					◎				
LFFAP317フランス学特講２Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAP318フランス学特講２Ｂ	選択	2	3				◎					
LFFAA301現代芸術Ａ	選択	2	3						◎			
LFFAA302現代芸術Ｂ	選択	2	3						◎			
LFFAA303映画芸術Ａ	選択	2	3						◎			
LFFAA304映画芸術Ｂ	選択	2	3						◎			

学士力				知識・理解		汎用的技能			態度・志向性		統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				英文学科1	英文学科2	英文学科3	英文学科4	文学部3	文学部4	英文学科3	文学部3	文学部3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				英語圏の文学・文化の基礎知識と幅広い教養	英語の科学的基礎知識、応用知識	グローバル化社会で使える英語の４技能	異文化理解と分析力	課題解決の為の分析力・構想力・表現力	よりよい社会の構築に結びつける志向	グローバル化社会への対応能力	専門領域において新たに問題提起する力	専門領域において解決を提案する力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○								
LFFAA305写真芸術Ａ	選択	2	3						◎			
LFFAA306写真芸術Ｂ	選択	2	3						◎			
LFFAA307舞台表現論Ａ	選択	2	3						◎			
LFFAA308舞台表現論Ｂ	選択	2	3						◎			
LFFAA309身体と芸術Ａ	選択	2	3						◎			
LFFAA310身体と芸術Ｂ	選択	2	3						◎			
LFFAA311フランス美術Ａ	選択	2	3				○		◎			
LFFAA312フランス美術Ｂ	選択	2	3				○		◎			
LFFAA313表象メディア論Ａ	選択	2	3						◎			
LFFAA314表象メディア論Ｂ	選択	2	3						◎			
LFFAA315フランスの音楽Ａ	選択	2	3				○		◎			
LFFAA316フランスの音楽Ｂ	選択	2	3				○		◎			
LFFAA317フランス学特講３Ａ	選択	2	3				◎					
LFFAA318フランス学特講３Ｂ	選択	2	3				◎					
LAFIL105映像芸術学序説Ｐ	選択	2	1						◎			
LAFIL106映像芸術学序説Ｓ	選択	2	1						◎			
LAFIL305映像文化研究	選択	4	3						◎			
LAFIL306映画史特講１Ａ	選択	2	3						◎			
LAFIL307映画史特講１Ｂ	選択	2	3						◎			
LAMED307デジタルアート論Ａ	選択	2	3						◎			
LAMED308デジタルアート論Ｂ	選択	2	3						◎			
LAMED309メディア実践論Ａ	選択	2	3						◎			
LAMED310メディア実践論Ｂ	選択	2	3						◎			
LAMED315デザイン論Ａ	選択	2	3						◎			
LAMED316デザイン論Ｂ	選択	2	3						◎			
LAMED319芸術メディア論特講１Ａ	選択	2	3						◎			
LAMED320芸術メディア論特講１Ｂ	選択	2	3						◎			
LAMED321芸術メディア論特講２Ａ	選択	2	3						◎			
LAMED322芸術メディア論特講２Ｂ	選択	2	3						◎			
LATHE313バレエ研究Ａ	選択	2	3						◎			
LATHE314バレエ研究Ｂ	選択	2	3						◎			
LATHE321舞台芸術論Ａ	選択	2	3						◎			
LATHE322舞台芸術論Ｂ	選択	2	3						◎			
LACOM303思想と芸術Ａ	選択	2	3						◎			
LACOM304思想と芸術Ｂ	選択	2	3						◎			
LACOM305現代社会と芸術１Ａ	選択	2	3						◎			
LACOM306現代社会と芸術１Ｂ	選択	2	3						◎			
LACOM307現代社会と芸術２Ａ	選択	2	3						◎			
LACOM308現代社会と芸術２Ｂ	選択	2	3						◎			
LACOM309現代社会と芸術３Ａ	選択	2	3						◎			
LACOM310現代社会と芸術３Ｂ	選択	2	3						◎			
LACOM311芸術表現論	選択	2	3						◎			
LACOM312アートマネジメント論	選択	2	3						◎			
教職に関する科目												
TCTEA901英語科指導法1	選択	2	3		◎			○				○
TCTEA902英語科指導法2	選択	2	3		◎			○				○
TCTEA903英語科指導法3	選択	2	2		◎			○				
TCTEA904英語科指導法4	選択	2	2		◎			○				

※卒業要件外科目は、学科のディプロマ・ポリシーに基づく「身につく能力」との関連がないため記載していません。

英文学科

（履修の方法）

指導の方針――英語の言語学的研究と、英・米文学および文化的背景の研究に対する学生の欲求に応えられるよう、充分な授業科目を用意配当している。教室以外における図書館やオンライン学習での勉学をも奨励している。

１・２年次においては、主に読解力・作文力・聴解力・発表能力の増強に力点を置く。併せて、初習外国語を含む明治学院共通科目を多岐にわたって履修し、幅広く人間性を形成するとともに、情報化社会に対処しうる国際感覚を身につけることができるよう、カリキュラムを編成している。学生は主体的に自分の将来の希望・進路に応じて多彩な講義を聴き、知的能力を延ばしつつ、専門課程に至る準備としての学識を修得することになる。

３・４年次においては、コース科目を中心として専門化された諸々の講義に接し、自分の専攻分野に関する研究方法を会得し、参考文献に通暁し、以て高度の専門知識を探究してゆくことになる。併せて、将来のキャリアにつながる多様な英語運用能力をみがくことができるようカリキュラムを用意している。

(ディプロマ・ポリシーを観点とした卒業要件)

1. 所定の期間在学し、「卒業までに必要な単位数（130 単位)」を修得する。
2. 幅広い教養およびグローバル化社会で使える英語の 4 技能（読む、書く、話す、聴く）を身につけるために、「明治学院共通科目」「必修科目（英語関連基礎・発展科目）」を履修して必要単位を修得する。
3. 英語による文学、英語圏の文化に関する基礎的知識、英語という言語に関しての科学的基礎知識、応用知識および異文化社会に対する深い理解と分析力をもち、グローバル化社会の情報や現実に対応できる能力を身につけるために、「必修科目（3 分野の入門科目）」「コース必修科目（概論科目）」「選択必修科目（演習科目）」「選択科目（専門コース科目）」を履修して必要単位を修得する。

〔１〕卒業までに必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="3">部　　門</th><th colspan="2">卒業に必要な単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="5">明治学院
共通科目</td><td rowspan="4">必修
・
選択必修</td><td>ｺｱ科目　「ｷﾘｽﾄ教の基礎 A・B」</td><td>2 科目 4 単位</td><td rowspan="5">計 38 単位</td></tr>
<tr><td>言語系科目群
「〇〇語 1A・1B・2A・2B」
（ﾌﾗﾝｽ語・中国語・ﾄﾞｲﾂ語・ｽﾍﾟｲﾝ語・ﾛｼｱ語・韓国語から 1 言語を選択）</td><td>4 科目 4 単位
（注１）</td></tr>
<tr><td>言語系科目群
「〇〇語研究 1A・1B・2A・2B」から 2 科目
（「〇〇語 1A・1B・2A・2B と同一言語を選択）</td><td>2 科目 4 単位
（注１）</td></tr>
<tr><td>情報処理系科目群
「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ 1・2」のいずれか 1 科目</td><td>1 科目 2 単位
（注２）</td></tr>
<tr><td>選択</td><td></td><td>24 単位</td></tr>
<tr><td rowspan="8">学科科目</td><td>必修</td><td>※を付した科目
〔６〕学科科目の項を参照すること。</td><td>21 科目 28 単位</td><td rowspan="8">計 92 単位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コース
必修</td><td>所属コースの「〇〇概論 A・B」</td><td>2 科目 4 単位
（注３）</td></tr>
<tr><td>所属コースの「Topics in 〇〇A・B」</td><td>2 科目 4 単位
（注４）</td></tr>
<tr><td>選択
必修</td><td>所属コースの「3 年次演習」・「4 年次演習」または
「英語教育 3 年次演習」・「英語教育 4 年次演習」</td><td>2 科目 4 単位
（注５）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">選択</td><td>所属コース科目（注６）</td><td>6 科目 12 単位</td></tr>
<tr><td>所属コース以外の科目、文学部共通科目</td><td rowspan="2">40 単位</td></tr>
<tr><td>所定の文学部他学科の学科科目および教職に関する科目「英語科指導法 1・2・3・4」を 16 単位まで含めることができる。</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td colspan="4">130 単位</td></tr>
</table>

（注１）　選択した言語を大学入学以前に既に学習している場合は、必ず教務課窓口に相談すること。相談の結果、許可された者は、「〇〇語」１Ａ・１Ｂ・２Ａ・２Ｂではなく「〇〇語」３Ａ・３Ｂ・４Ａ・４Ｂを履修することになる。また、「〇〇語」３Ａ・３Ｂ・４Ａ・４Ｂを履修した者は、２年次に「〇〇語研究」３Ａ・３Ｂ・４Ａ・４Ｂから２科目４単位を修得すること。

（注２）　「コンピュータリテラシー研究１Ａ・１Ｂ・２Ａ・２Ｂ」から１科目２単位を修得することにより、必修の２単位に振り替えることもできる。上記必修２単位よりも多く修得した場合、超過分の単位は明治学院共通科目の選択科目２４単位に含まれる。

（注３）　所属コース以外の「〇〇概論Ａ・Ｂ」を修得した場合、その単位は学科科目の選択科目（所属コース以外の科目）４０単位に含まれる。

（注４）　所属コースの「Topics in〇〇Ａ・Ｂ」を複数回修得した場合、もしくは所属コース以外の「Topics in〇〇Ａ・Ｂ」を修得した場合、その単位は学科科目の選択科目（所属コース以外の科目）４０単位に含まれる。

（注５）　所属コース選択時に「英語教員養成プログラム」の履修希望を出した学生については、所属コースの「３年次演習」「４年次演習」の代わりに「英語教育３年次演習」「英語教育４年次演習」を選択することができる。

（注６）　所属コース科目を１２単位よりも多く修得した場合、超過分の単位は学科科目の選択科目（所属コース以外の科目）４０単位に含まれる。

〔２〕年間履修制限単位数等について

・英文学科において１年間に履修できる単位数は、49単位とする（「教職に関する科目」に限り、16単位までの超過履修を認める）。ただし、「TESOL Seminar（短期留学）」の単位は、この中に含めない。
・「学科科目」の「イギリス文学コース科目」、「アメリカ文学コース科目」、「英語学コース科目」、「関連科目」の諸科目は、担当教員の異なる限り、複数回履修できる。そのほかは、特に指定された科目を除き、同一授業科目を重複履修することはできない。
・転学科の学生および編入学生の履修方法は個々の事情により異なるので、年度初めに教務課の指導を必ず受けること。特に、転学科生の場合、新学科では転学科をしたことによる履修における特別な処置を約束するものではないことを承知しておくこと。従って、場合によっては、４年間では卒業できないこと、白金校舎と横浜校舎両方の科目の履修の必要から自分の希望するような履修ができないこと、などが起こり得る。

〔３〕履修中止除外科目について

「学修の手引き」12ページ記載の「７．履修中止制度」において、履修中止ができない科目（a）～（g）のうち、（g）各学科において定めている履修中止の申請ができない科目は以下のとおりである。

イギリス文学概論Ａ・Ｂ	アメリカ文学概論Ａ・Ｂ	英語学概論Ａ・Ｂ
Topics in British Culture A·B	Topics in American Culture A·B	Topics in Linguistics A·B

〔４〕再試験

卒業年次生のうち、卒業に必要な単位数を学科科目１科目（卒業論文は除く）の範囲内で満たすことができなかった学生につき、当該年度のＤ評価の科目を対象として再試験の機会を設ける場合がある。該当者の発表は３月の卒業者発表と同時に行い、試験は３月に実施する。ただし、９月卒業申請者に対する再試験は実施しない。

〔５〕明治学院共通科目

『明治学院共通科目履修の方法』を参照のこと。

〔６〕学科科目

英文学科の学生は、３年次から「イギリス文学コース」、「アメリカ文学コース」、「英語学コース」のいずれかに所属する。各コースに所属するためには、２年次にそのコースの概論（「イギリス文学概論Ａ・Ｂ」、「アメリカ文学概論Ａ・Ｂ」、または「英語学概論Ａ・Ｂ」）の単位を修得しているか、３年次以降に修得する必要がある。

各コースに所属の学生は、３・４年次で、「Topics in ～ Ａ・Ｂ」、「～３年次演習」、「～４年次演習」のうち、所属するコースのものが選択必修となる（ただし「英語教員養成プログラム」を履修する学生は「〔７〕英語教員養成プログラム」の履修モデルを参照のこと）。さらに、所属するコースの選択科目から12単位以上を修得しなければならない。また、卒業論文を選択する場合、原則として所属コースの教員の指導のもとで作成する。

自分の所属するコース以外の科目も履修でき、卒業単位数に数えられる。

なお４年次でコースを変更することはできるが、そのコースの概論（「イギリス文学概論Ａ・Ｂ」、「アメリカ文学概論Ａ・Ｂ」、または「英語学概論Ａ・Ｂ」）の２科目４単位を卒業までに修得しなければならない。また学生は、３年次にそのコースの演習の単位を修得していない場合には、４年次に３年次の演習をも履修することになる。コース変更する前に修得した「～演習」の単位は、卒業要件に含まれない。

また、卒業に必要な学科科目選択52単位の中に、次のフランス文学科、芸術学科の学科科目及び教職に関する科目を16単位まで含めることができる。履修条件が付されている場合があるので、履修の際は各学科の項を参照すること。

フランス文学科　※下記の科目を除く学科科目を含めることができる。

フランス語講読１Ａ・Ｂ	フランス語講読２Ａ・Ｂ	基礎研究Ａ・Ｂ
フランス語表現法１Ａ・Ｂ	３年次演習	４年次演習
卒業論文		

芸術学科　※下記の科目を含めることができる。

映像芸術学序説Ｐ・Ｓ	映像文化研究	映画史特講１Ａ・Ｂ
デジタルアート論Ａ・Ｂ	メディア実践論Ａ・Ｂ	デザイン論Ａ・Ｂ
芸術メディア論特講１Ａ・Ｂ	芸術メディア論特講２Ａ・Ｂ	舞台芸術論Ａ・Ｂ
バレエ研究Ａ・Ｂ	思想と芸術Ａ・Ｂ	現代社会と芸術１Ａ・Ｂ
現代社会と芸術２Ａ・Ｂ	現代社会と芸術３Ａ・Ｂ	芸術表現論
アートマネジメント論		

教職に関する科目　※下記の科目を含めることができる。

英語科指導法１・２・３・４	「英語科指導法１・２」、「英語科指導法３・４」は、それぞれの組み合わせについて同一曜時限・同一教員の春・秋学期開講科目を合わせて履修すること。

Ａ・Ｂに分割された科目が必修科目や選択必修科目である場合は、当然Ａ・Ｂの両方を履修しなければならない。
また、履修について特別の規定がある場合には、それに従わなければならない。
これ以外の場合でも、内容的には通年で完結するものなので、Ａ・Ｂを連続して履修することが望ましい。

※印は必修科目、○印はコース必修科目、◇印は選択必修科目とする。

１年次				
ナンバリング		科　目　名	単位	開講
学科基礎科目				
LEBRL	101	※ イギリス文学入門	2	学期
LEAML	101	※ アメリカ文学入門	2	学期
LELIN	101	※ 英語学入門	2	学期
英語基礎科目				
LEBES	101	※ 基礎演習１	2	通年
LEBES	102・103	※ Listening and Pronunciation Ａ・Ｂ	１・１	学期
LEBES	104・105	※ Reading Ａ・Ｂ	１・１	学期
LEBES	106・107	※ 英文法Ａ・Ｂ	１・１	学期
LEBES	108・109	※ Writing Ａ・Ｂ	１・１	学期
英語発展科目Ａ群				
LEAES	101・102	英語ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝＡ・Ｂ（注１）	２・２	学期
LEAES	103・104	英語文章読解法Ａ・Ｂ	２・２	学期
LEAES	105・106	英語文章作成法Ａ・Ｂ	２・２	学期
KCGEN	102	Current Affairs A（注２）	2	学期
KCGEN	103	Current Affairs B（注２）	2	学期

２年次				
ナンバリング		科　目　名	単位	開講
学科基礎科目（注３）				
LEBRL	201・202	○ イギリス文学概論Ａ・Ｂ	２・２	学期
LEAML	201・202	○ アメリカ文学概論Ａ・Ｂ	２・２	学期
LELIN	201・202	○ 英語学概論Ａ・Ｂ	２・２	学期
英語基礎科目				
LEBES	201	※ 基礎演習２	2	通年
LEBES	202・203	※ Listening and Speaking Ａ・Ｂ	１・１	学期
LEBES	204・205	※ Academic Reading Ａ・Ｂ	１・１	学期
LEBES	206・207	※ Academic Writing Ａ・Ｂ	１・１	学期
英語教育科目（注４）				
LEETE	201・202	英語教育基礎論 Ａ・Ｂ	２・２	学期
LEETE	203	TESOL Seminar（短期留学）（注５）	2	集中

文学部共通科目~~（注６）~~				
LECRS	201	異文化理解１	２	学期
LECRS	202	異文化理解２	２	学期

（注１） 英語ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝＢの履修は英語ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝＡを履修していることが前提である。従って、「Ｂ」の履修は前年度までに「Ａ」の単位を修得しているか、今年度に「Ａ・Ｂ」の両方を履修する場合にのみ可能である。

（注２） Current Affairs A、Current Affairs Bは他学部配当科目である。

（注３） 学生は、イギリス文学概論Ａ・Ｂ、アメリカ文学概論Ａ・Ｂ、英語学概論Ａ・Ｂの６科目のうちの各自の希望コースの概論Ａ・Ｂ２科目は必修科目であるので、必ず修得しなければならない。３科目以上履修した場合に、３科目めからの単位は、学科科目の選択科目（所属コース以外の科目）40単位に算入される。

（注４） 「英語教員養成プログラム」の修了を目指す学生は、これらの科目から16単位以上修得すること。

（注５） 「TESOL Seminar（短期留学)」は、本学と協定を結ぶ海外校への短期留学について、本学が単位を認定するための科目である。短期留学を行った者以外が単位を修得することはできない。詳細は、必ず「留学ハンドブック」を確認すること。また、この科目は年間履修単位数の上限には含まれない。

（注６） ~~「異文化理解１・２」は、横浜校舎では外国人教員が担当する。~~

○印と◇印（Topics in～・演習）は、選択科目のうち所属コース科目で修得すべき12単位には含まれないので注意すること。

3年次				
ナンバリング		科　目　名	単位	開講
イギリス文学コース科目（注７）				
LEBRL	301・302	イギリス詩Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEBRL	303・304	イギリス小説Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEBRL	305・306	イギリス演劇Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEBRL	307・308	イギリス文学史Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEBRL	309・310	イギリス文学批評Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEBRL	311・312	イギリス文学特講Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEBRL	313・314	イギリス文化研究Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEBRL	315・316	○ Topics in British Culture A・B(注８)	2・2	学期
LEBRL	317	◇ イギリス文学３年次演習(注９)	2	通年
アメリカ文学コース科目（注７）				
LEAML	301・302	アメリカ詩Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEAML	303・304	アメリカ小説Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEAML	305・306	アメリカ演劇Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEAML	307・308	アメリカ文学史Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEAML	309・310	アメリカ文学批評Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEAML	311・312	アメリカ文学特講Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEAML	313・314	アメリカ文化研究Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEAML	315・316	○ Topics in American Culture A・B(注８)	2・2	学期
LEAML	317	◇ アメリカ文学３年次演習(注９)	2	通年
英語学コース科目（注７）				
LELIN	301・302	音声学Ａ・Ｂ	2・2	学期
LELIN	303・304	英語史Ａ・Ｂ	2・2	学期
LELIN	305・306	音韻論Ａ・Ｂ	2・2	学期
LELIN	307・308	統語論Ａ・Ｂ	2・2	学期
LELIN	309・310	意味論Ａ・Ｂ	2・2	学期
LELIN	311・312	語用論Ａ・Ｂ	2・2	学期
LELIN	313・314	心理言語学Ａ・Ｂ	2・2	学期
LELIN	315・316	社会言語学Ａ・Ｂ	2・2	学期
LELIN	317・318	英語学特講Ａ・Ｂ	2・2	学期
LELIN	319・320	○ Topics in Linguistics A・B（注８）	2・2	学期
LELIN	321	◇ 英語学３年次演習(注９)	2	通年

関連科目（注７）				
LECRS	301・302	英米宗教文学Ａ・Ｂ	2・2	学期
LECRS	303・304	英語聖書Ａ・Ｂ	2・2	学期
LECRS	305・306	英米児童文学Ａ・Ｂ	2・2	学期
LECRS	307・308	イギリス研究Ａ・Ｂ	2・2	学期
LECRS	309・310	アメリカ研究Ａ・Ｂ	2・2	学期
LECRS	311・312	Intercultural Communication A・B	2・2	学期
英語発展科目Ｂ群				
LEAES	301・302	Business English A・B	2・2	学期
LEAES	303・304	翻訳技法Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEAES	305・306	通訳技法Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEAES	307・308	※ Academic English Skills A・B(注10)	2・2	学期
LEAES	309	Advanced Academic Writing(注 11)	2	学期
英語教育科目（注３）				
LEETE	301・302	英語教育方法論Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEETE	303・304	英語教育実践論Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEETE	305・306	英語教育評価論Ａ・Ｂ	2・2	学期
LEETE	307・308	Current Topics in ELT A・B	2・2	学期
LEETE	309	◇ 英語教育３年次演習(注９)	2	通年

（注７） 「イギリス文学コース科目」、「アメリカ文学コース科目」、「英語学コース科目」、「関連科目」の諸科目は、同一科目であっても担当教員が異なる場合に限り複数回履修でき（同一教員による同一科目は１回しか単位修得できない）、卒業単位数に数えられる（所属コース科目であれば所属コース科目の12単位に含められる）。

（注８） Topics in British Culture A・B、Topics in American Culture A・B、Topics in Linguistics A・Bの６科目のうち、２科目（同一コースのＡ・Ｂ）は、各コースに所属する学生にとっては必修科目である。３科目以上履修した場合は、学科科目の選択科目（所属コース以外の科目）40単位に算入される。但し、所属コース科目で修得すべき12単位には含めない。

（注９） ３年次演習の履修手続きは前年度の11月から12月にかけて行う。原則として志望を尊重してクラス分けをする。クラス履修者は原則として15名を限度とする。３年次、４年次の演習科目（「イギリス文学３・４年次演習」、「アメリカ文学３・４年次演習」、「英語学３・４年次演習」、「英語教育３・４年次演習」）は、学生の希望するクラスの所属学生数が過大でない場合に、複数回履修できる。（ただし卒業要件単位としては認められない。）これを希望する学生は、担当教員の面接を受け許可を得なければならない（通常の必修科目としての履修の場合には、面接は行わない）。その場合、４年次の学生が３年次の演習を履修することもできる。

（注10） Academic English Skills A・B(必修：Ａ・Ｂ各２単位)の履修手続きは学生各自が春学期履修登録時に行う。登録の際、学科及び教務課からの掲示に注意し確認すること。クラス履修者は原則25名を限度とし、履修者数が過大でなく担当教員が異なる場合にかぎり複数回履修できる。複数回履修の上限は、３年次から卒業年次においてＡ・Ｂ６単位ずつとし卒業要件の選択科目（所属コース以外の科目）40単位に含めることができる。再履修や複数回履修の可能なクラスについては、履修登録直前の３月以降教務課からの掲示をPort Hepburn等で確認し、初回授業で担当教員の許可を得ること。

3年次（つづき）				
ナンバリング		科　目　名	単位	開講
文学部共通科目				
LFLTJ	301・302	日本文学(専)Ａ・Ｂ	2・2	学期
LAGEN	101・102	中国文学Ａ・Ｂ	2・2	学期
LAGEN	103・104	ドイツ文学Ａ・Ｂ	2・2	学期
LFLTE	301・302	西洋文学Ａ・Ｂ	2・2	学期
LFCIN	301・302	異文化理解３・４	2・2	学期
LXCRS	301・302	哲学(専)１・２(注12)	2・2	学期
LECRS	313・314	言語学Ａ・Ｂ	2・2	学期
LFLAT	301・302	ラテン語１Ａ・Ｂ(注13)	2・2	学期
LFLAT	303・304	ラテン語２Ａ・Ｂ	2・2	学期
LECRS	315・316	小説技法Ａ・Ｂ	2・2	学期
LECRS	317・318	翻訳論Ａ・Ｂ	2・2	学期
LECRS	319・320	Practical Career English A・B	2・2	学期
LAGEN	105・106	文化史Ａ・Ｂ	2・2	学期
LAGEN	107・108	民俗学Ａ・Ｂ	2・2	学期

４年次				
ナンバリング		科　目　名	単位	開講
イギリス文学コース科目				
LEBRL	401	◇ イギリス文学４年次演習(注9･14)	2	通年
アメリカ文学コース科目				
LEAML	401	◇ アメリカ文学４年次演習(注9･14)	2	通年
英語学コース科目				
LELIN	401	◇ 英語学４年次演習(注9･14)	2	通年
英語教育科目（注３）				
LEETE	401	◇ 英語教育４年次演習(注9･14)	2	通年
卒業論文				
LEGRA	401	卒業論文(注11･15)	6	通年

（注11）卒業論文を執筆する者は、Advanced Academic Writingを履修することが望ましい。
（注12）哲学(専)１・２を履修するためには、明治学院共通科目の「MGPHI」（哲学)、「MGETH」（倫理学)、「MGLOG」（論理学）の中から、ナンバリングのアルファベットが同一の２科目（計４単位）を修得済みでなければならない。
（注13）明治学院共通科目の「ラテン語研究Ａ・Ｂ」を修得した者は、文学部共通科目「ラテン語１Ａ・Ｂ」を履修できない。
（注14）４年次演習は卒業論文の指導を行わず、テキストの演習を主とする。履修手続きは前年度の１１月から１２月にかけて行う。原則として志望を尊重してクラス分けをする。クラス履修者は原則として１５名を限度とする。なお３年生の秋学期から、１年間認定留学をする者については、３年次演習の履修手続きを行う際に、４年次演習の履修手続きも合わせて行い、留学前に３・４年次演習の春学期分を、留学後に秋学期分を履修して所定の単位を修得すること。
（注15）卒業論文について（次頁参照）

(注15) 卒業論文について

イ．卒業論文は選択・許可制であるが、当該年度春学期に、

１）　自分の書こうとするテーマについて適当な指導教員を訪ね、許可を受けること。

２）　所定の卒業論文執筆申込用紙に必要事項を記入し、英文学科共同研究室に提出すること。提出期間は、Port Hepburn の掲示を確認すること。

３）　卒業論文の履修登録は、１）、２）の手続きを済ませた者に対して、教務課で登録を行う。

ロ．３年生の秋学期、または４年生の秋学期から１年間認定留学をする者についての取扱い。

１）　原則として、留学開始前の春学期履修登録期間に登録すること。

２）　留学中に意思が変わり履修希望となった場合、指導教員の許可を得た上で、春学期履修登録期間に速やかに英文学科共同研究室にメール（english@ltr.meijigakuin.ac.jp）し、学科主任の承諾を得ること。

３）　２）の承諾を得た後、教務課にて登録を行う。留学中である春学期間中は遠隔指導となる。

４）　一度履修登録した場合、履修削除・履修中止は一切認められない。

ハ．卒業論文の指導は本学の専任教員がこれに当たり、卒業論文のためのクラスは特に設けないので、学生は各自研究室を訪ね、指導・助言を受けることになる。

ニ．卒業論文の審査は、指導教員が行う。評価項目と評価基準を以下に示す。

１）「論文」については、以下の項目を総合的に評価する。

・論文としての構成・体裁が整っているか。
・研究の焦点が定まっていて、研究内容が具体的に示されているか。
・研究の結果は適切な資料やデータに裏付けられているか。
・研究の意義・成果は簡潔にまとめられているか。
・論文としての独創性が認められるか。
・文章は用語・文法表現などが適切で、論理的に書かれているか。
・文献などの引用は適切で、的確に標記されているか。

２）「研究プロセス」については、以下の項目を総合的に評価する。

・研究課題に対する理解度
・研究の計画性と実行能力
・研究に対する取り組み姿勢

ホ．論文作成上の注意

１）　すべて英語で書くこと（手書き不可）。

２）　ファイル（大学生協で販売）・表紙（教務課で配布）は大学指定のものを使用し、用紙はＡ４版。

３）　フォントサイズは11～12ポイントで、行数は１ページにつき25行に指定する。本文のみで30枚以上50枚以下にまとめること。ただし、作品原文の引用は論文全体の３分の１を越えてはならない。

ヘ．疑問点、詳細については指導教員および英文学科共同研究室に相談すること。

ト．在学５年目以上の学生が、下記条件を満たしている場合、９月卒業の申請科目に「卒業論文」を含めることができる。この場合履修手続きは、４月となる。

１）　前年度までに得た「卒業論文」の評価が「Ｄ」（提出したが不合格）であること。

２）　卒業希望年度に「卒業論文」と春学期科目の履修で卒業見込みが立つこと。

３）　卒論指導担当者（それが不可能な場合は学科主任）から、９月卒業を前提とした卒業論文履修者として、履修の許可を得ていること。

＊　申請者は、卒業論文を７月第一火又は水曜日に教務課へ提出し、審査の上合格した場合、春学期末に単位を修得できる。

＊　上記期日までに未提出又は審査が不合格の場合、一般学生と同じ１月の期日に改めて提出することができる。

＊　希望者は、教務課指定の履修許可書に卒業論文指導担当者の署名と捺印を受け、他の申請書類とあわせて教務課に提出すること。

〔７〕英語教員養成プログラム

英語教員を志望する英文学科の学生は、所属コースの別なく、希望により「英語教員養成プログラム」の科目を履修することができます。また「英語教育科目(英語教育基礎論・方法論・実践論・評価論、Current Topics in ELT、TESOL Seminar（短期留学）および英語教育３・４年次演習)」から 16 単位以上修得することにより、プログラム修了の認定が受けられます。
所属コースごとの履修モデルは下記 1)～3)の通りです。

1) イギリス文学コース(英語教員養成プログラム)の履修モデル

コース必修・選択必修科目	学科科目の選択科目（52 単位）
・イギリス文学入門(２単位) ・イギリス文学概論Ａ・Ｂ(４単位) ・Topics in British Culture A・B(４単位) ・イギリス文学３年次演習(２単位)※ ・イギリス文学４年次演習(２単位)※	■イギリス文学コース科目(12 単位以上) ・イギリス詩Ａ・Ｂ ・イギリス小説Ａ・Ｂ ・イギリス演劇Ａ・Ｂ ・イギリス文学史Ａ・Ｂ ・イギリス文学批評Ａ・Ｂ ・イギリス文学特講Ａ・Ｂ ・イギリス文化研究Ａ・Ｂ
	■英語教育科目(16 単位以上)※ ■学科科目 ■他学科科目[英語科指導法１・２・３・４（８単位)を含めることも可能]

（※）英語教育科目（16 単位以上）に「英語教育３・４年次演習（４単位)」が含まれる場合には、「イギリス文学３・４年次演習（４単位）」に代えて「卒業までに必要な単位数」としてカウントすることができる。

2) アメリカ文学コース(英語教員養成プログラム)の履修モデル

コース必修・選択必修科目	学科科目の選択科目（52 単位）
・アメリカ文学入門(２単位) ・アメリカ文学概論Ａ・Ｂ(４単位) ・Topics in American Culture A・B(４単位) ・アメリカ文学３年次演習(２単位)※ ・アメリカ文学４年次演習(２単位)※	■アメリカ文学コース科目(12 単位以上) ・アメリカ詩Ａ・Ｂ ・アメリカ小説Ａ・Ｂ ・アメリカ演劇Ａ・Ｂ ・アメリカ文学史Ａ・Ｂ ・アメリカ文学批評Ａ・Ｂ ・アメリカ文学特講Ａ・Ｂ ・アメリカ文化研究Ａ・Ｂ
	■英語教育科目(16 単位以上)※ ■学科科目 ■他学科科目[英語科指導法１・２・３・４（８単位)を含めることも可能]

（※）英語教育科目（16 単位以上）に「英語教育３・４年次演習（４単位)」が含まれる場合には、「アメリカ文学３・４年次演習（４単位）」に代えて「卒業までに必要な単位数」としてカウントすることができる。

3) 英語学コース(英語教員養成プログラム)の履修モデル

コース必修・選択必修科目	学科科目の選択科目(52 単位)
・英語学入門(２単位) ・英語学概論Ａ・Ｂ(４単位) ・Topics in Linguistics A・B(４単位) ・英語学３年次演習(２単位)※ ・英語学４年次演習(２単位)※	■英語学コース科目(12 単位以上) ・音声学Ａ・Ｂ ・英語史Ａ・Ｂ ・音韻論Ａ・Ｂ ・統語論Ａ・Ｂ ・意味論Ａ・Ｂ ・語用論Ａ・Ｂ ・社会言語学Ａ・Ｂ ・心理言語学Ａ・Ｂ ・英語学特講Ａ・Ｂ
	■英語教育科目(16 単位以上)※ ■学科科目 ■他学科科目[英語科指導法１・２・３・４ （８単位)を含めることも可能]

（※）英語教育科目（16 単位以上）に「英語教育３・４年次演習（４単位)」が含まれる場合には、「英語学３・４年次演習（４単位)」 に代えて「卒業までに必要な単位数」としてカウントすることができる。

なお、「英語教員養成プログラム」の履修登録は、３年次演習の履修手続きの際に、「イギリス文学」「アメリカ文学」「英語学」３コースから１コースを選択すると同時に「英語教員養成プログラム」履修希望の有無を記入することによって行われます。
また、「希望有り」の学生は、選んだコースとは関係なく２つの「英語教育」ゼミを５つの希望の中に含めて申告することができます。

〔８〕大学独自の認証資格について

内なる国際化プロジェクト

文化、宗教、民族性など、多様な価値観を理解する学生をはぐくむこと、そして外国につながる人たちを包摂した共生社会の担い手として、人権問題などに対して鋭い洞察力を持った学生をはぐくむことを目的としています。(『内なる国際化プロジェクト』冊子より)

・このプロジェクトを通じ、所定の教室での学びを修めた学生は「多文化共生サポーター」として認証されます。その上でさらに、支援実践参加の学びを修めた学生は「多文化共生ファシリテーター」として認証されます。

・【教室での学び】明治学院大学共通科目と文学部が開講する科目のうち、指定された科目を 12 単位以上修得した者が申請を行った場合に「多文化共生サポーター」として認証されます。開講科目はプロジェクト公式 WEB サイト（http://internal-i18n-meijigakuin.org/）で確認してください。

・【支援実践参加の学び】「多文化共生ファシリテーター」の認証に必要な支援実践の場への参加を希望する者は、3)・4)「多文化共生各論 1・2」を必ず履修してください。

英文学科学科科目一覧　※は必修科目、○はコース必修科目、◇は選択必修科目をあらわす。

ナンバリング		科　目　名	単位	開講	年次
学科基礎科目					
LEBRL	101	※ イギリス文学入門	2	学期	1
LEBRL	201	○ イギリス文学概論Ａ	2	学期	2
LEBRL	202	○ イギリス文学概論Ｂ	2	学期	2
LEAML	101	※ アメリカ文学入門	2	学期	1
LEAML	201	○ アメリカ文学概論Ａ	2	学期	2
LEAML	202	○ アメリカ文学概論Ｂ	2	学期	2
LELIN	101	※ 英語学入門	2	学期	1
LELIN	201	○ 英語学概論Ａ	2	学期	2
LELIN	202	○ 英語学概論Ｂ	2	学期	2
英語基礎科目					
LEBES	101	※ 基礎演習１	2	通年	1
LEBES	102	※ Listening and Pronunciation A	1	学期	1
LEBES	103	※ Listening and Pronunciation B	1	学期	1
LEBES	104	※ Reading A	1	学期	1
LEBES	105	※ Reading B	1	学期	1
LEBES	106	※ 英文法Ａ	1	学期	1
LEBES	107	※ 英文法Ｂ	1	学期	1
LEBES	108	※ Writing A	1	学期	1
LEBES	109	※ Writing B	1	学期	1
LEBES	201	※ 基礎演習２	2	通年	2
LEBES	202	※ Listening and Speaking A	1	学期	2
LEBES	203	※ Listening and Speaking B	1	学期	2
LEBES	204	※ Academic Reading A	1	学期	2
LEBES	205	※ Academic Reading B	1	学期	2
LEBES	206	※ Academic Writing A	1	学期	2
LEBES	207	※ Academic Writing B	1	学期	2
英語発展科目Ａ群					
LEAES	101	英語ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝＡ	2	学期	1
LEAES	102	英語ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝＢ	2	学期	1
LEAES	103	英語文章読解法Ａ	2	学期	1
LEAES	104	英語文章読解法Ｂ	2	学期	1
LEAES	105	英語文章作成法Ａ	2	学期	1
LEAES	106	英語文章作成法Ｂ	2	学期	1
KCGEN	102	Current Affairs A	2	学期	1
KCGEN	103	Current Affairs B	2	学期	1
イギリス文学コース科目					
LEBRL	301	イギリス詩Ａ	2	学期	3
LEBRL	302	イギリス詩Ｂ	2	学期	3

LEBRL	303	イギリス小説Ａ	2	学期	3
LEBRL	304	イギリス小説Ｂ	2	学期	3
LEBRL	305	イギリス演劇Ａ	2	学期	3
LEBRL	306	イギリス演劇Ｂ	2	学期	3
LEBRL	307	イギリス文学史Ａ	2	学期	3
LEBRL	308	イギリス文学史Ｂ	2	学期	3
LEBRL	309	イギリス文学批評Ａ	2	学期	3
LEBRL	310	イギリス文学批評Ｂ	2	学期	3
LEBRL	311	イギリス文学特講Ａ	2	学期	3
LEBRL	312	イギリス文学特講Ｂ	2	学期	3
LEBRL	313	イギリス文化研究Ａ	2	学期	3
LEBRL	314	イギリス文化研究Ｂ	2	学期	3
LEBRL	315	○ Topics in British Culture A	2	学期	3
LEBRL	316	○ Topics in British Culture B	2	学期	3
LEBRL	317	◇ イギリス文学３年次演習	2	通年	3
LEBRL	401	◇ イギリス文学４年次演習	2	通年	4
アメリカ文学コース科目					
LEAML	301	アメリカ詩Ａ	2	学期	3
LEAML	302	アメリカ詩Ｂ	2	学期	3
LEAML	303	アメリカ小説Ａ	2	学期	3
LEAML	304	アメリカ小説Ｂ	2	学期	3
LEAML	305	アメリカ演劇Ａ	2	学期	3
LEAML	306	アメリカ演劇Ｂ	2	学期	3
LEAML	307	アメリカ文学史Ａ	2	学期	3
LEAML	308	アメリカ文学史Ｂ	2	学期	3
LEAML	309	アメリカ文学批評Ａ	2	学期	3
LEAML	310	アメリカ文学批評Ｂ	2	学期	3
LEAML	311	アメリカ文学特講Ａ	2	学期	3
LEAML	312	アメリカ文学特講Ｂ	2	学期	3
LEAML	313	アメリカ文化研究Ａ	2	学期	3
LEAML	314	アメリカ文化研究Ｂ	2	学期	3
LEAML	315	○ Topics in American Culture A	2	学期	3
LEAML	316	○ Topics in American Culture B	2	学期	3
LEAML	317	◇ アメリカ文学３年次演習	2	通年	3
LEAML	401	◇ アメリカ文学４年次演習	2	通年	4
英語学コース科目					
LELIN	301	音声学Ａ	2	学期	3
LELIN	302	音声学Ｂ	2	学期	3
LELIN	303	英語史Ａ	2	学期	3
LELIN	304	英語史Ｂ	2	学期	3
LELIN	305	音韻論Ａ	2	学期	3
LELIN	306	音韻論Ｂ	2	学期	3

LELIN	307	統語論Ａ	2	学期	3
LELIN	308	統語論Ｂ	2	学期	3
LELIN	309	意味論Ａ	2	学期	3
LELIN	310	意味論Ｂ	2	学期	3
LELIN	311	語用論Ａ	2	学期	3
LELIN	312	語用論Ｂ	2	学期	3
LELIN	313	心理言語学Ａ	2	学期	3
LELIN	314	心理言語学Ｂ	2	学期	3
LELIN	315	社会言語学Ａ	2	学期	3
LELIN	316	社会言語学Ｂ	2	学期	3
LELIN	317	英語学特講Ａ	2	学期	3
LELIN	318	英語学特講Ｂ	2	学期	3
LELIN	319	○ Topics in Linguistics A	2	学期	3
LELIN	320	○ Topics in Linguistics B	2	学期	3
LELIN	321	◇ 英語学３年次演習	2	通年	3
LELIN	401	◇ 英語学４年次演習	2	通年	4
関連科目					
LECRS	301	英米宗教文学Ａ	2	学期	3
LECRS	302	英米宗教文学Ｂ	2	学期	3
LECRS	303	英語聖書Ａ	2	学期	3
LECRS	304	英語聖書Ｂ	2	学期	3
LECRS	305	英米児童文学Ａ	2	学期	3
LECRS	306	英米児童文学Ｂ	2	学期	3
LECRS	307	イギリス研究Ａ	2	学期	3
LECRS	308	イギリス研究Ｂ	2	学期	3
LECRS	309	アメリカ研究Ａ	2	学期	3
LECRS	310	アメリカ研究Ｂ	2	学期	3
LECRS	311	Intercultural Communication A	2	学期	3
LECRS	312	Intercultural Communication B	2	学期	3
英語発展科目Ｂ群					
LEAES	301	Business English A	2	学期	3
LEAES	302	Business English B	2	学期	3
LEAES	303	翻訳技法Ａ	2	学期	3
LEAES	304	翻訳技法Ｂ	2	学期	3
LEAES	305	通訳技法Ａ	2	学期	3
LEAES	306	通訳技法Ｂ	2	学期	3
LEAES	307	※ Academic English Skills A	2	学期	3
LEAES	308	※ Academic English Skills B	2	学期	3
LEAES	309	Advanced Academic Writing	2	学期	3

英語教育科目					
LEETE	201	英語教育基礎論Ａ	2	学期	2
LEETE	202	英語教育基礎論Ｂ	2	学期	2
LEETE	203	TESOL Seminar（短期留学）	2	集中	2
LEETE	301	英語教育方法論Ａ	2	学期	3
LEETE	302	英語教育方法論Ｂ	2	学期	3
LEETE	303	英語教育実践論Ａ	2	学期	3
LEETE	304	英語教育実践論Ｂ	2	学期	3
LEETE	305	英語教育評価論Ａ	2	学期	3
LEETE	306	英語教育評価論Ｂ	2	学期	3
LEETE	307	Current Topics in ELT A	2	学期	3
LEETE	308	Current Topics in ELT B	2	学期	3
LEETE	309	◇ 英語教育３年次演習	2	通年	3
LEETE	401	◇ 英語教育４年次演習	2	通年	4
卒業論文					
LEGRA	401	卒業論文	6	通年	4
文学部共通科目					
LFLTJ	301	日本文学（専）Ａ	2	学期	3
LFLTJ	302	日本文学（専）Ｂ	2	学期	3
LAGEN	101	中国文学Ａ	2	学期	3
LAGEN	102	中国文学Ｂ	2	学期	3
LAGEN	103	ドイツ文学Ａ	2	学期	3
LAGEN	104	ドイツ文学Ｂ	2	学期	3
LFLTE	301	西洋文学Ａ	2	学期	3
LFLTE	302	西洋文学Ｂ	2	学期	3
LECRS	201	異文化理解１	2	学期	2
LECRS	202	異文化理解２	2	学期	2
LFCIN	301	異文化理解３	2	学期	3
LFCIN	302	異文化理解４	2	学期	3
LXCRS	301	哲学（専）１	2	学期	3
LXCRS	302	哲学（専）２	2	学期	3
LECRS	313	言語学Ａ	2	学期	3
LECRS	314	言語学Ｂ	2	学期	3
LFLAT	301	ラテン語１Ａ	2	学期	3
LFLAT	302	ラテン語１Ｂ	2	学期	3
LFLAT	303	ラテン語２Ａ	2	学期	3
LFLAT	304	ラテン語２Ｂ	2	学期	3
LECRS	315	小説技法Ａ	2	学期	3
LECRS	316	小説技法Ｂ	2	学期	3
LECRS	317	翻訳論Ａ	2	学期	3
LECRS	318	翻訳論Ｂ	2	学期	3

LECRS	319	Practical Career English A	2	学期	3
LECRS	320	Practical Career English B	2	学期	3
LAGEN	105	文化史Ａ	2	学期	3
LAGEN	106	文化史Ｂ	2	学期	3
LAGEN	107	民俗学Ａ	2	学期	3
LAGEN	108	民俗学Ｂ	2	学期	3

フランス文学科

《文 学 部》

人材養成上の目的・教育目標

文学部は、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

文学部においては、さまざまな時代や状況においてなされた人間の創造行為や表現活動の諸相を学生に教授し、他者を理解するとともにまた自らを知る力を培う。そうして、新たな文化を構想する知的分析力や創造力をもった人材を養成してゆく。その過程において、問題を発見する力やそれを伝達する言語能力の涵養も重視し、将来自らが関わる社会のさまざまな局面において、柔軟かつ斬新な思考を展開できる人間を育てる。

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに所定の単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

1　人類の歴史・文化・社会および自然・健康に関する基礎的な教養を身につけている。
2　言語や文化・歴史、あるいはさまざまな表現ジャンルの芸術に関する体系的な知識を有している。
3　個別専門的な領域における新たな問題提起と、その解決を提案する分析力および構想力を有し、またそれを明快に伝達する表現能力を備えている。
4　さまざまな時代・環境における他者の営みを理解し、その認識をより良い社会の構築に結びつける志向をもっている。

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、文学部の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

1　各学科の専門科目の理解に必要な基本的な知識・技能を身につける授業を、初年次から多く設置する。
2　体系的な知識を教授する講義科目と同時並行的に、個別特殊な課題を扱う授業を多く開講し、具体的な課題を思考し、ともに議論する機会を学生に授ける。
3　さまざまな言語や文化、あるいは表現活動に触れることによって、自らを他へと開いてゆく経験を与える。
4　自らの視点から問題を提起し、またそれを的確に表現する力を養う過程として、少人数のゼミや卒業論文制作などを重視する。

■フ ラ ン ス 文 学 科

人材養成上の目的・教育目標

文学部フランス文学科は、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、フランス文学科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

フランス文学科は、フランスさらにはヨーロッパ全域へと視野を広げることで、ともすれば画一化されがちな日本社会に向けてユニークな発想を提言できるような、斬新な視点をもった創造性あふれる人材を養成することを目的とする。このような目的のもと、本学科では、フランスおよびフランス語圏の言語および文学・芸術・歴史・思想の研究を通じて、感性と知性を養うとともに、自らの着想を他の人々に確かに伝える表現力を鍛え、真に豊かな文明のありようを追求することを教育目標として定める。

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部フランス文学科は、文学部の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、フランス文学科の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに 126 単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

1　フランス語の文法や発音の基礎を習得し、読み、書き、聞き、話すための実践的な運用能力を身につけている。

2　フランス語圏の言語・文化・文学・芸術・歴史・思想について、個別的で広汎な知識を身につけるとともに、自らの思考を相対化する術を習得している。

3　異なる背景をもつ人々の意見に耳を傾け、現代社会における多様な文化のあり方をともに追究する姿勢を身につけている。

4　自分自身で問題を提起し、資料を探索・収集して立論に必要かつ有効な情報を選び出して、論理的かつ説得的に自らの見解を述べる力を獲得している。

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部フランス文学科は、文学部の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、フランス文学科の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

フランス文学科では、フランス語およびフランス文化の基礎を学ぶ科目から専門科目群へと、学生の関心を段階的、継続的に引き出し、その深化を促す、一貫した積み上げ方式のカリキュラムを編成する。

1　１年次・２年次には、日本人教員とネイティブの教員の担当するクラス制の授業（必修）で、重点的にフランス語の基礎（文法・講読・会話・作文）を学ぶ。フランス語力の指標となる外部検定試験・実用フランス語技能検定試験（仏検）対策の授業も、１年次より設置している。

2　１年次・２年次には、専門教育への導入的な科目（必修・選択）を設ける。フランス語圏の文学、文化、歴史、社会についての概説的な授業を講義形式で行うとともに、個別特殊な問題を扱う演習形式の授業を設ける。

3　３年次・４年次には、そうした一連の授業で培われた個別的な関心を深められるよう、さまざまな時代や地域、分野を専門とする教員による、多彩な専門教育科目（選択必修）を配置する。「ことばと文学」、「思想と社会」、「芸術と文化」の３つの系列に分類されるこれらの専門科目を、学生は主体的に選択して履修し、体系的な知識を身につける。

4　３年次・４年次には、少人数制の「演習」（必修ゼミ）に所属する。「演習」ではフランス語圏の言語・文学・芸術・歴史・思想の諸問題をテーマに掲げ、グループ学習や議論を通じて、他人の意見を尊重しつつ、自らの見解を説得的に述べるためのコミュニケーション能力を身につけることを目指す。

５　４年次必修の「卒業論文」では、指導教官の指導のもとに関心分野をしぼりこみ、論文のテーマを決定する。学生は資料探索、プランの作成、執筆のすべての段階にわたり、指導教官の助言を得ながら、自ら見つけた課題について、資料を探索・収集し、自らの着想を論理的かつ説得的に組み立てる術を学ぶ。

６　１年次・２年次に引き続き３年次・４年次でも、 読み、書き、聞き、話すための実践的なフランス語の訓練を行う。中級講読の授業（必修）やネイティブの教員による会話中心の授業（選択必修・選択）を通じ、中級、上級へのレベルアップをはかる。仏検対策の授業に加え、 ３年次以降は、フランス語圏の大学機関への留学に際して取得を要請される DELF（フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格）対策の授業も設置する。

学習成果の評価については授業の性格に応じ、レポート・筆記試験に加え、 口頭発表（プレゼンテーション）を通じて、目標達成度や主体的な学びの姿勢を評価する。また、卒業論文に関しては、主査と副査の２名による厳正な審査を通して、主題に関する知識および理解度、問題解決力、創造的思考力を総合的に評価する。

その他、所定単位を修得することによって多文化共生ファシリテーター/サポーターの認証資格取得も可能である。

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○						
(1)フランス学基礎科目										
LFEFB101フランス学概説Ａ	必修	2	1	◎		○		○		
LFEFB102フランス学概説Ｂ	必修	2	1	◎		○		○		
LFEFB103フランスの歴史Ａ	必修	2	1	◎		○				
LFEFB104フランスの歴史Ｂ	必修	2	1	◎		○				
LFEFB105フランス文化研究Ａ	選択	2	1	◎		○				
LFEFB106フランス文化研究Ｂ	選択	2	1	◎		○				
LFEFB201フランス文学史Ａ	必修	2	2	◎		○				
LFEFB202フランス文学史Ｂ	必修	2	2	◎		○				
LFEFB203基礎研究Ａ	必修	2	2		○	○			○	◎
LFEFB204基礎研究Ｂ	必修	2	2		○	○			○	◎
(2)フランス語科目										
LFELF101フランス語講読１Ａ	必修	1	1		◎					
LFELF102フランス語講読１Ｂ	必修	1	1		◎					
LFELF301フランス語講読２Ａ	必修	1	3				◎			
LFELF302フランス語講読２Ｂ	必修	1	3				◎			
LFELF103Exercices Pratiques １Ａ	必修	1	1		◎					
LFELF104Exercices Pratiques １Ｂ	必修	1	1		◎					
LFELF201Exercices Pratiques ２Ａ	必修	1	2				◎			
LFELF202Exercices Pratiques ２Ｂ	必修	1	2				◎			
LFELF303Exercices Pratiques ３Ａ	選択必修	1	3				◎			
LFELF304Exercices Pratiques ３Ｂ	選択必修	1	3				◎			
LFELF305Exercices Pratiques ４Ａ	選択必修	1	3				◎			○
LFELF306Exercices Pratiques ４Ｂ	選択必修	1	3				◎			○
LFELF203フランス語表現法１Ａ	必修	1	2		◎					
LFELF204フランス語表現法１Ｂ	必修	1	2		◎					
LFELF307フランス語表現法２Ａ	選択必修	1	3				◎			○
LFELF308フランス語表現法２Ｂ	選択必修	1	3				◎			○
LFELF309仏会話１Ａ	選択必修	1	3		◎					
LFELF310仏会話１Ｂ	選択必修	1	3		◎					
LFELF311仏会話２Ａ	選択必修	1	3				◎			○
LFELF312仏会話２Ｂ	選択必修	1	3				◎			○
LFELF313実用フランス語Ａ	選択必修	1	3		○		◎			
LFELF314実用フランス語Ｂ	選択必修	1	3		○		◎			
LFELF315時事フランス語Ａ	選択必修	1	3		○		◎			
LFELF316時事フランス語Ｂ	選択必修	1	3		○		◎			
LFELF317観光フランス語Ａ	選択必修	1	3		○		◎			
LFELF318観光フランス語Ｂ	選択必修	1	3		○		◎			
LFELF105検定対策フランス語１Ａ	選択	1	1		◎					
LFELF106検定対策フランス語１Ｂ	選択	1	1		◎					
LFELF107検定対策フランス語２Ａ	選択	1	1				◎			
LFELF108検定対策フランス語２Ｂ	選択	1	1				◎			
LFELF319検定対策フランス語３Ａ	選択	1	3				◎			○
LFELF320検定対策フランス語３Ｂ	選択	1	3				◎			○
LFELF321Préparation au DELF A	選択	1	3				◎			○
LFELF322Préparation au DELF B	選択	1	3				◎			○
LFELF323Préparation au TCF A	選択	1	3				◎			
LFELF324Préparation au TCF B	選択	1	3				◎			
LFELF109Communication niveau avancé	選択	2	1				◎			○
(3)フランス学発展科目										
①ことばと文学										
LFFAL301フランス語の諸相Ａ	選択必修	2	3		◎		○			
LFFAL302フランス語の諸相Ｂ	選択必修	2	3		◎		○			
LFFAL303フランス語史Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAL304フランス語史Ｂ	選択必修	2	3		◎					
LFFAL305現代翻訳論Ａ	選択必修	2	3		○		◎			
LFFAL306現代翻訳論Ｂ	選択必修	2	3		○		◎			
LFFAL307中世･ルネサンス文学Ａ	選択必修	2	3		◎		○			
LFFAL308中世･ルネサンス文学Ｂ	選択必修	2	3		◎		○			
LFFAL309１７・１８世紀文学Ａ	選択必修	2	3		◎		○			
LFFAL310１７・１８世紀文学Ｂ	選択必修	2	3		◎		○			
LFFAL311近現代の文学Ａ	選択必修	2	3		◎		○			
LFFAL312近現代の文学Ｂ	選択必修	2	3		◎		○			
LFFAL313詩と演劇Ａ	選択必修	2	3		◎		○			
LFFAL314詩と演劇Ｂ	選択必修	2	3		◎		○			
LFFAL315小説と批評Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAL316小説と批評Ｂ	選択必修	2	3		◎					
LFFAL317フランス学特講１Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAL318フランス学特講１Ｂ	選択必修	2	3		◎					
②思想と社会										
LFFAP301歴史記述論Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP302歴史記述論Ｂ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP303フランス現代史Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP304フランス現代史Ｂ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP305日仏比較論Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP306日仏比較論Ｂ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP307フランコフォニー研究Ａ	選択必修	2	3		◎		○	○		
LFFAP308フランコフォニー研究Ｂ	選択必修	2	3		◎		○	○		

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○						
LFFAP309フランス社会の諸相Ａ	選択必修	2	3		◎			○		
LFFAP310フランス社会の諸相Ｂ	選択必修	2	3		◎			○		
LFFAP311現代思想Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP312現代思想Ｂ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP313哲学と人間Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP314哲学と人間Ｂ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP315精神分析入門Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP316精神分析入門Ｂ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP317フランス学特講２Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAP318フランス学特講２Ｂ	選択必修	2	3		◎					
③芸術と文化										
LFFAA301現代芸術Ａ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA302現代芸術Ｂ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA303映画芸術Ａ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA304映画芸術Ｂ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA305写真芸術Ａ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA306写真芸術Ｂ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA307舞台表現論Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAA308舞台表現論Ｂ	選択必修	2	3		◎					
LFFAA309身体と芸術Ａ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA310身体と芸術Ｂ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA311フランス美術Ａ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA312フランス美術Ｂ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA313表象メディア論Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAA314表象メディア論Ｂ	選択必修	2	3		◎					
LFFAA315フランスの音楽Ａ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA316フランスの音楽Ｂ	選択必修	2	3		◎	○				
LFFAA317フランス学特講３Ａ	選択必修	2	3		◎					
LFFAA318フランス学特講３Ｂ	選択必修	2	3		◎					
（４）専門演習										
LFSEM301 ３年次演習	必修	2	3		○	○			○	◎
LFSEM401 ４年次演習	必修	2	4		○	○			○	◎
（５）卒業論文										
LFMEM401卒業論文	必修	6	4			○			○	◎
（６）文学部共通科目										
LFLTJ301日本文学（専）Ａ	選択	2	3			○		◎		
LFLTJ302日本文学（専）Ｂ	選択	2	3			○		◎		
LAGEN101中国文学Ａ	選択	2	3			○		◎		
LAGEN102中国文学Ｂ	選択	2	3			○		◎		
LAGEN103ドイツ文学Ａ	選択	2	3			○		◎		
LAGEN104ドイツ文学Ｂ	選択	2	3			○		◎		
LFLTE301西洋文学Ａ	選択	2	3			○		◎		
LFLTE302西洋文学Ｂ	選択	2	3			○		◎		
LECRS201異文化理解１	選択	2	2					◎	○	
LECRS202異文化理解２	選択	2	2					◎	○	
LFCIN301異文化理解３	選択	2	3					◎	○	
LFCIN302異文化理解４	選択	2	3					◎	○	
LXCRS301哲学（専）１	選択	2	3			○			◎	
LXCRS302哲学（専）２	選択	2	3			○			◎	
LECRS313言語学Ａ	選択	2	3			○		◎		
LECRS314言語学Ｂ	選択	2	3			○		◎		
LFLAT301ラテン語１Ａ	選択	2	3		◎					
LFLAT302ラテン語１Ｂ	選択	2	3		◎					
LFLAT303ラテン語２Ａ	選択	2	3		◎					
LFLAT304ラテン語２Ｂ	選択	2	3		◎					
LECRS315小説技法Ａ	選択	2	3			○		◎		
LECRS316小説技法Ｂ	選択	2	3			○		◎		
LECRS317翻訳論Ａ	選択	2	3			○		◎		
LECRS318翻訳論Ｂ	選択	2	3			○		◎		
LECRS319Practical Career English A	選択	2	3				◎			
LECRS320Practical Career English B	選択	2	3				◎			
LAGEN105文化史Ａ	選択	2	3			○		◎		
LAGEN106文化史Ｂ	選択	2	3			○		◎		
LAGEN107民俗学Ａ	選択	2	3			○		◎		
LAGEN108民俗学Ｂ	選択	2	3			○		◎		
文学部他学科の学科科目										
LEBRL101イギリス文学入門	選択	2	1					◎		
LEAML101アメリカ文学入門	選択	2	1					◎		
LELIN101英語学入門	選択	2	1				◎			
LEBRL201イギリス文学概論Ａ	選択	2	2					◎		
LEBRL202イギリス文学概論Ｂ	選択	2	2					◎		
LEAML201アメリカ文学概論Ａ	選択	2	2					◎		
LEAML202アメリカ文学概論Ｂ	選択	2	2					◎		
LELIN201英語学概論Ａ	選択	2	2				◎			
LELIN202英語学概論Ｂ	選択	2	2				◎			
LEBES106英文法Ａ	選択	1	1				◎			
LEBES107英文法Ｂ	選択	1	1				◎			
LEBES108Writing A	選択	1	1				◎			
LEBES109Writing B	選択	1	1				◎			
LEAES101英語ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝＡ	選択	2	1				◎			
LEAES102英語ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝＢ	選択	2	1				◎			

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝〇						
LEAES103英語文章読解法Ａ	選択	2	1				◎			
LEAES104英語文章読解法Ｂ	選択	2	1				◎			
LEAES105英語文章作成法Ａ	選択	2	1				◎			
LEAES106英語文章作成法Ｂ	選択	2	1				◎			
LEBRL301イギリス詩Ａ	選択	2	3					◎		
LEBRL302イギリス詩Ｂ	選択	2	3					◎		
LEBRL303イギリス小説Ａ	選択	2	3					◎		
LEBRL304イギリス小説Ｂ	選択	2	3					◎		
LEBRL305イギリス演劇Ａ	選択	2	3					◎		
LEBRL306イギリス演劇Ｂ	選択	2	3					◎		
LEBRL307イギリス文学史Ａ	選択	2	3					◎		
LEBRL308イギリス文学史Ｂ	選択	2	3					◎		
LEBRL309イギリス文学批評Ａ	選択	2	3					◎		
LEBRL310イギリス文学批評Ｂ	選択	2	3					◎		
LEBRL311イギリス文学特講Ａ	選択	2	3					◎		
LEBRL312イギリス文学特講Ｂ	選択	2	3					◎		
LEBRL313イギリス文化研究Ａ	選択	2	3					◎		
LEBRL314イギリス文化研究Ｂ	選択	2	3					◎		
LEAML301アメリカ詩Ａ	選択	2	3					◎		
LEAML302アメリカ詩Ｂ	選択	2	3					◎		
LEAML303アメリカ小説Ａ	選択	2	3					◎		
LEAML304アメリカ小説Ｂ	選択	2	3					◎		
LEAML305アメリカ演劇Ａ	選択	2	3					◎		
LEAML306アメリカ演劇Ｂ	選択	2	3					◎		
LEAML307アメリカ文学史Ａ	選択	2	3					◎		
LEAML308アメリカ文学史Ｂ	選択	2	3					◎		
LEAML309アメリカ文学批評Ａ	選択	2	3					◎		
LEAML310アメリカ文学批評Ｂ	選択	2	3					◎		
LEAML311アメリカ文学特講Ａ	選択	2	3					◎		
LEAML312アメリカ文学特講Ｂ	選択	2	3					◎		
LEAML313アメリカ文化研究Ａ	選択	2	3					◎		
LEAML314アメリカ文化研究Ｂ	選択	2	3					◎		
LELIN301音声学Ａ	選択	2	3				◎			
LELIN302音声学B	選択	2	3				◎			
LELIN303英語史A	選択	2	3				◎			
LELIN304英語史Ｂ	選択	2	3				◎			
LELIN305音韻論Ａ	選択	2	3				◎			
LELIN306音韻論Ｂ	選択	2	3				◎			
LELIN307統語論Ａ	選択	2	3				◎			
LELIN308統語論Ｂ	選択	2	3				◎			
LELIN309意味論Ａ	選択	2	3				◎			
LELIN310意味論Ｂ	選択	2	3				◎			
LELIN311語用論Ａ	選択	2	3				◎			
LELIN312語用論Ｂ	選択	2	3				◎			
LELIN313心理言語学Ａ	選択	2	3				◎			
LELIN314心理言語学Ｂ	選択	2	3				◎			
LELIN315社会言語学Ａ	選択	2	3				◎			
LELIN316社会言語学Ｂ	選択	2	3				◎			
LELIN317英語学特講Ａ	選択	2	3				◎			
LELIN318英語学特講Ｂ	選択	2	3				◎			
LECRS301英米宗教文学Ａ	選択	2	3					◎		
LECRS302英米宗教文学Ｂ	選択	2	3					◎		
LECRS303英語聖書Ａ	選択	2	3					◎		
LECRS304英語聖書Ｂ	選択	2	3					◎		
LECRS305英米児童文学Ａ	選択	2	3					◎		
LECRS306英米児童文学Ｂ	選択	2	3					◎		
LECRS307イギリス研究Ａ	選択	2	3					◎		
LECRS308イギリス研究Ｂ	選択	2	3					◎		
LECRS309アメリカ研究Ａ	選択	2	3					◎		
LECRS310アメリカ研究Ｂ	選択	2	3					◎		
LECRS311Intercultural Communication A	選択	2	3					◎		
LECRS312Intercultural Communication B	選択	2	3					◎		
LEAES301Business English A	選択	2	3				◎			
LEAES302Business English B	選択	2	3				◎			
LEAES303翻訳技法Ａ	選択	2	3				◎			
LEAES304翻訳技法Ｂ	選択	2	3				◎			
LEAES305通訳技法Ａ	選択	2	3				◎			
LEAES306通訳技法Ｂ	選択	2	3				◎			
LEETE203TESOL Seminar（短期留学）	選択	2	2				◎			
LAMUS306音楽学特講１Ａ	選択	2	2			◎				
LAMUS307音楽学特講１Ｂ	選択	2	3			◎				
LAMUS308音楽学特講２Ａ	選択	2	3			◎				
LAMUS309音楽学特講２Ｂ	選択	2	3			◎				
LAMUS310音楽学特講３Ａ	選択	2	3			◎				
LAMUS311音楽学特講３Ｂ	選択	2	3			◎				
LAMUS312音楽学特講４	選択	2	3			◎				

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝〇						
LAMUS313音楽学特講５	選択	2	3			◎				
LAMUS314音楽学特講６	選択	2	3			◎				
LAMUS315音楽学特講７	選択	2	3			◎				
LAFIL101映画史通説Ｐ	選択	2	1			◎				
LAFIL102映画史通説Ｓ	選択	2	1			◎				
LAFIL103映像基礎研究Ｐ	選択	2	1			◎				
LAFIL104映像基礎研究Ｓ	選択	2	1			◎				
LAFIL105映像芸術学序説Ｐ	選択	2	1			◎				
LAFIL106映像芸術学序説Ｓ	選択	2	1			◎				
LAFIL304映画史演習	選択	4	3			◎				
LAFIL305映像文化研究	選択	4	3			◎				
LAFIL306映画史特講１Ａ	選択	2	3			◎				
LAFIL307映画史特講１Ｂ	選択	2	3			◎				
LAFIL308映画史特講２Ａ	選択	2	3			◎				
LAFIL309映画史特講２Ｂ	選択	2	3			◎				
LAFIL310映像芸術学特講１Ａ	選択	2	3			◎				
LAFIL311映像芸術学特講１Ｂ	選択	2	3			◎				
LAFIL312映像芸術学特講２Ａ	選択	2	3			◎				
LAFIL313映像芸術学特講２Ｂ	選択	2	3			◎				
LAFIL314映像芸術学特講３Ａ	選択	2	3			◎				
LAFIL315映像芸術学特講３Ｂ	選択	2	3			◎				
LAFAH101西洋美術通史Ｐ	選択	2	1			◎				
LAFAH102西洋美術通史Ｓ	選択	2	1			◎				
LAFAH203日本・東洋美術史資料講読Ａ	選択	1	2			◎				
LAFAH204日本・東洋美術史資料講読Ｂ	選択	1	2			◎				
LAFAH205美術史の理論と方法Ａ	選択	2	3			◎				
LAFAH206美術史の理論と方法Ｂ	選択	2	3			◎				
LAFAH303西洋美術史特講１Ａ	選択	2	3			◎				
LAFAH304西洋美術史特講１Ｂ	選択	2	3			◎				
LAFAH305西洋美術史特講２Ａ	選択	2	3			◎				
LAFAH306西洋美術史特講２Ｂ	選択	2	3			◎				
LAFAH307日本・東洋美術史研究Ａ	選択	2	3					◎		
LAFAH308日本・東洋美術史研究Ｂ	選択	2	3					◎		
LAFAH309日本美術史特講１Ａ	選択	2	3					◎		
LAFAH310日本美術史特講１Ｂ	選択	2	3					◎		
LAFAH311日本美術史特講２Ａ	選択	2	3					◎		
LAFAH312日本美術史特講２Ｂ	選択	2	3					◎		
LAFAH207日本近代美術史Ａ	選択	2	3					◎		
LAFAH208日本近代美術史Ｂ	選択	2	3					◎		
LAFAH209現代美術論Ａ	選択	2	3			◎				
LAFAH210現代美術論Ｂ	選択	2	3			◎				
LAMED307デジタルアート論Ａ	選択	2	3			◎				
LAMED308デジタルアート論Ｂ	選択	2	3			◎				
LAMED309メディア実践論Ａ	選択	2	3			◎				
LAMED310メディア実践論Ｂ	選択	2	3			◎				
LAMED311ポピュラーカルチャー論Ａ	選択	2	3			◎				
LAMED312ポピュラーカルチャー論Ｂ	選択	2	3			◎				
LAMED313建築・都市空間論Ａ	選択	2	3			◎				
LAMED314建築・都市空間論Ｂ	選択	2	3			◎				
LAMED315デザイン論Ａ	選択	2	3			◎				
LAMED316デザイン論Ｂ	選択	2	3			◎				
LAMED317メディア産業論Ａ	選択	2	3			◎				
LAMED318メディア産業論Ｂ	選択	2	3			◎				
LAMED319芸術メディア論特講１Ａ	選択	2	3			◎				
LAMED320芸術メディア論特講１Ｂ	選択	2	3			◎				
LAMED321芸術メディア論特講２Ａ	選択	2	3			◎				
LAMED322芸術メディア論特講２Ｂ	選択	2	3			◎				
LATHE103身体表現論概説Ｐ	選択	2	1			◎				
LATHE104身体表現論概説Ｓ	選択	2	1			◎				
LATHE311演劇学Ａ	選択	2	3			◎				
LATHE312演劇学Ｂ	選択	2	3			◎				
LATHE313バレエ研究Ａ	選択	2	3			◎				
LATHE314バレエ研究Ｂ	選択	2	3			◎				
LATHE317パフォーマンス理論Ａ	選択	2	3			◎				
LATHE318パフォーマンス理論Ｂ	選択	2	3			◎				
LATHE321舞台芸術論Ａ	選択	2	3			◎				
LATHE322舞台芸術論Ｂ	選択	2	3			◎				
LACOM303思想と芸術Ａ	選択	2	3			◎				
LACOM304思想と芸術Ｂ	選択	2	3			◎				
LACOM305現代社会と芸術１Ａ	選択	2	3			◎				
LACOM306現代社会と芸術１Ｂ	選択	2	3			◎				
LACOM307現代社会と芸術２Ａ	選択	2	3			◎				
LACOM308現代社会と芸術２Ｂ	選択	2	3			◎				
LACOM309現代社会と芸術３Ａ	選択	2	3			◎				
LACOM310現代社会と芸術３Ｂ	選択	2	3			◎				
LACOM311芸術表現論	選択	2	3			◎				
LACOM312アートマネジメント論	選択	2	3			◎				

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく 身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝〇						
教職に関する科目										
TCTEA911フランス語科指導法1	選択	2	3			〇	◎		〇	〇
TCTEA912フランス語科指導法2	選択	2	3			〇	◎		〇	〇
TCTEA913フランス語科指導法3	選択	2	2			〇	◎		〇	〇
TCTEA914フランス語科指導法4	選択	2	2			〇	◎		〇	〇

※卒業要件外科目は、学科のディプロマ・ポリシーに基づく「身につく能力」との関連がないため記載していません。

フランス文学科

（履修の方法）

指導の方針――フランス文学科は、次の３点を指導の眼目としている。
（１） 現代的な方法と新鮮な感覚にもとづいて、フランス語学・文学の研究・教育を行い、的確な問題意識をつちかう。
（２） フランス文化の多様性とその可能性を考察しつつ、豊かな創造性と批判精神を養う。
（３） フランス文化の理解に必要なフランス語力の向上をはかり、徹底した語学教育を実践する。

〔1〕卒業までに必要な単位数

部門			単位群	卒業に必要な単位数	
明治学院共通科目	必修・選択必修	ｺｱ科目 「ｷﾘｽﾄ教の基礎 A・B」	Ⅰ	2 科目 4 単位	計 36 単位
		言語系科目群 「ﾌﾗﾝｽ語 1A・1B・2A・2B」 「ﾌﾗﾝｽ語研究 1A・1B・2A・2B」	Ⅱ	8 科目 12 単位	
		言語系科目群 「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 1A・1B・2A・2B」	Ⅲ	4 科目 4 単位	
		情報処理系科目群 「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ 1・2」のいずれか 1 科目	Ⅳ	1 科目 2 単位 （注１）	
	選択		Ⅴ	14 単位	
	明治学院共通科目・学科科目より選択		Ⅵ	18 単位（注２）	計 18 単位
学科科目	必修	基礎研究 A・B(各 2 単位) ﾌﾗﾝｽ文学史 A・B(各 2 単位) Exercices Pratiques1A・1B・2A・2B(各 1 単位) ﾌﾗﾝｽ語表現法 1A・1B(各 1 単位) ﾌﾗﾝｽ学概説 A・B(各 2 単位) ﾌﾗﾝｽの歴史 A・B(各 2 単位) ﾌﾗﾝｽ語講読 1A・1B(各 1 単位) ﾌﾗﾝｽ語講読 2A・2B(各 1 単位) 3 年次演習(2 単位) 4 年次演習(2 単位) 卒業論文(6 単位)	Ⅶ	21 科目 36 単位	計 72 単位
	選択必修	△：4 科目 4 単位　◇：8 科目 16 単位 ※〔7〕学科科目の(2)(3)の各項を参照。	Ⅷ	12 科目 20 単位	
	選択	(1) 学科科目※〔7〕学科科目の項を参照。 (2) 文学部共通科目	Ⅸ	16 単位	
		(3)所定の文学部他学科の学科科目および教職に関する科目「ﾌﾗﾝｽ語科指導法 1･2･3･4」を 12 単位まで含めることができる。 13 単位目からは【Ⅵ】に数えられる。 ※〔8〕文学部他学科の学科科目と〔9〕教職に関する科目の項を参照。	Ⅹ		
合計					126 単位

ディプロマ・ポリシーを観点とした卒業要件
1. 所定の期間在学し、「卒業までに必要な単位数（126 単位）」を取得する。
2. 幅広い教養およびフランス語圏にかんする基礎的知識と実践的に運用できるフランス語能力（読み、書き、聞き、話す）を身につけるために、「明治学院共通科目」「フランス学基礎科目」「フランス語科目」を履修して必要単位を取得する。
3. フランス語圏の言語・文化・文学・芸術・歴史・思想についての個別的で広汎な知識を身につけ、現代社会における多様な文化のあり方を追求する姿勢を身につけるために、「フランス学発展科目」を履修して必要単位を取得する。
４．自分自身で問題を提起し、資料や情報を有効に探索・収集しながら、論理的かつ説得的に自らの見解を述べる力を身につけるために、「専門演習」「卒業論文」を履修して必要単位を取得する。

（注１）「コンピュータリテラシー研究１Ａ・１Ｂ・２Ａ・２Ｂ」のうち１科目２単位を修得することにより、必修の２単位に振り替えることもできる。

（注２）明治学院共通科目・フランス文学科科目・文学部共通科目・文学部他学科の学科科目から自由に選択して履修できる。ただし、他学科科目については〔８〕の「文学部他学科の学科科目」の項で、「履修できない科目」に指定されているものを除く。

〔2〕超過して修得した単位の扱い

Ⅰ～Ⅸの各単位群の必要単位数を超過して修得した単位で、他の枠の単位群の単位として扱えるものは、下表のとおりである。

単位群	必要単位	超過単位の扱われる群	備　　考
Ⅳ	2	ⅤまたはⅥ	
Ⅴ	14	Ⅵ	
Ⅶ	36	ⅥまたはⅨ	「基礎研究Ａ」と「基礎研究Ｂ」をそれぞれ２科目以上修得した場合の２科目めからと、「３年次演習」を必修のほかに選択でも修得した場合。
Ⅷ	20	ⅥまたはⅨ	「フランス語科目」のうち△を付した選択必修科目を５科目以上修得した場合の５科目めからの単位と、「フランス学発展科目」のうち◇を付した選択必修科目を９科目以上修得した場合の９科目めからの単位。
Ⅸ	16	Ⅵ	

〔３〕年間履修制限単位数等について

・１年間に履修できる単位数の上限は、49単位とする（「教職に関する科目」に限り、16単位までの超過履修を認める）。ただし、「TESOL Seminar（短期留学）」の単位は、この中に含めない。
・特に指定された科目を除き、同一科目の重複履修は認められない。
・転学科生と編入生は、各人の事情に応じて最も適した履修計画をたてるために、年度はじめに必ず学科主任教授と面談して指導を受け、これにしたがって教務課窓口で手続きを行うこと。転学科生にしても編入生にしても、それまでの修得単位の内容によっては、４年間で卒業できないことがあり得る。また、白金校舎と横浜校舎の両方で履修する必要がある場合など、希望どおりの履修ができるとはかぎらない。いずれにしても、教務課なり主任教授によく相談し、納得のいく履修を心がけられたい。

〔４〕履修中止除外科目について

「学修の手引き」12 ページ記載の「７．履修中止制度」において、「履修中止ができない科目」(a) ～ (g) のうち、フランス文学科においては (g) 各学科において定めている履修中止の申請ができない科目はない。
※ (a) 必修科目に該当する基礎研究Ａ・Ｂ及び３年次演習については、必修科目１科目に加えて選択科目１科目を履

修した場合に限り、２科目のうち１科目を履修中止可とする。必修科目なので単位修得漏れに十分注意すること。

〔５〕再試験

卒業年次生のうち、卒業に必要な単位数を学科科目１科目（卒業論文は除く）の範囲内で満たすことができなかった学生につき、当該年度のD評価の科目を対象として再試験の機会を設ける場合がある。該当者の発表は３月の卒業者発表と同時に行い、試験は３月に実施する。ただし、９月卒業申請者に対する再試験は実施しない。

〔６〕明治学院共通科目（明学科目）

『明治学院共通科目履修の方法』を参照のこと。

〔７〕学科科目

１・２年次配当科目（２年次再履修科目を除く）は横浜校舎、３・４年次配当科目および２年次再履修科目は白金校舎で履修

- **○を付した科目は必修科目である。**
- 配当年次欄の数字１、２などは、履修可能になる年次を示す。たとえば、「３」とある科目は、３年次の配当科目であるが、「３年次演習」および、「フランス語講読２Ａ・Ｂ」を除き、４年次になってから履修してもよい。ただし、１年次配当科目および２年次配当科目はそれぞれ必ず配当年次に履修すること。
- 学科科目（３）の中には、明学科目「フランス語研究３」として履修可能な科目もあるが、フランス文学科の学科科目（選択必修科目）として履修することが望ましい。
- 「３・４年次演習」および「卒業論文」は通年科目（１年を通して講義され、年度の終わりに１回評価される）である。
- Ａ・Ｂを付した科目は、○印のついた必修科目を除いて、片方のみ修得することも可能な学期科目であるが、Ａ・Ｂを続けて履修することが教育効果上望ましい。
- **△および◇を付した科目はともに選択必修科目である。**△と◇では単位数が異なる。
- △のものは「フランス語科目」におかれている。
  △のついた科目の中から４科目を選択して修得すること。（たとえば、「仏会話１Ａ」で１科目、「仏会話１Ｂ」で１科目として計算される）。フランス語既習者は〔10〕フランス語既習者の履修を参照すること。
- ◇は「フランス学発展科目」におかれている。
  三科目群（「ことばと文学」、「思想と社会」、「芸術と文化」）の区別にかかわりなく、**◇のついた科目のなかから、８科目を選択する。**いずれの科目も同一名称のものを２回履修してよい。ただし、同一名称科目の２回目の修得単位は選択科目の扱いとなる。
- 科目によっては、学科が指定したクラス単位で授業が行なわれる。原則として、そのクラスを変更することはできない。

１年次

ナンバリング		年次	科　目　名	単位	開講方式	備考
（１）フランス学基礎科目						
LFEFB	101・102	1	○ フランス学概説Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFEFB	103・104	1	○ フランスの歴史Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFEFB	105・106	1	フランス文化研究Ａ・Ｂ	2・2	学期	（注１）
（２）フランス語科目						
LFELF	101・102	1	○ フランス語講読１Ａ・Ｂ	1・1	学期	
LFELF	103・104	1	○ Exercices Pratiques１Ａ・Ｂ	1・1	学期	
LFELF	105・106	1	検定対策フランス語１Ａ・Ｂ	1・1	学期	（注２）
LFELF	107・108	1	検定対策フランス語２Ａ・Ｂ	1・1	学期	（注３）
LFELF	109	1	Communication niveau avancé	2	学期	（注４）

（注１）担当教員が異なる場合に限り２度まで修得することができる。
（注２）仏語検定用フランス語演習（5 級・4 級程度）。
（注３）仏語検定用フランス語演習（3 級・準 2 級程度）。
（注４）中級程度。4 度まで修得することができる。

2 年次

ナンバリング		年次	科　目　名	単位	開講方式	備考
（１）フランス学基礎科目						
LFEFB	201・202	2	○ フランス文学史Ａ・Ｂ	2・2	学期	（注５）
LFEFB	203・204	2	○ 基礎研究Ａ・Ｂ	2・2	学期	（注６）
（２）フランス語科目						
LFELF	201・202	2	○ Exercices Pratiques２Ａ・Ｂ	1・1	学期	
LFELF	203・204	2	○ フランス語表現法１Ａ・Ｂ	1・1	学期	
（６）文学部共通科目						
LECRS	201・202	2	異文化理解１・２	2・2	学期	

（注５）「㊐フランス文学史」は白金校舎で開講される。
（注６）複数履修できる。ただし、必修科目としての認定はＡ・Ｂ各１科目、計２科目のみである。２回目以降の修得単位は選択科目の扱いとなる。「㊐基礎研究」は白金校舎で開講される。

3 年次

ナンバリング		年次	科　目　名	単位	開講方式	備考
（２）フランス語科目						
LFELF	301・302	3	○ フランス語講読２Ａ・Ｂ	1・1	学期	
LFELF	319・320	3	検定対策フランス語３Ａ・Ｂ	1・1	学期	（注７）
LFELF	321・322	3	Préparation au DELFＡ・Ｂ	1・1	学期	（注８）
LFELF	323・324	3	Préparation au TCFＡ・Ｂ	1・1	学期	（注９）
LFELF	307・308	3	△ フランス語表現法２Ａ・Ｂ	1・1	学期	
LFELF	309・310	3	△ 仏会話１Ａ・Ｂ	1・1	学期	（注 10）
LFELF	311・312	3	△ 仏会話２Ａ・Ｂ	1・1	学期	（注 11）
LFELF	303・304	3	△ Exercices Pratiques３Ａ・Ｂ	1・1	学期	（注 12）
LFELF	305・306	3	△ Exercices Pratiques４Ａ・Ｂ	1・1	学期	（注 13）
LFELF	313・314	3	△ 実用フランス語Ａ・Ｂ	1・1	学期	
LFELF	315・316	3	△ 時事フランス語Ａ・Ｂ	1・1	学期	
LFELF	317・318	3	△ 観光フランス語Ａ・Ｂ	1・1	学期	
（３）フランス学発展科目						
①ことばと文学						
LFFAL	301・302	3	◇ フランス語の諸相Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAL	303・304	3	◇ フランス語史Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAL	305・306	3	◇ 現代翻訳論Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAL	307・308	3	◇ 中世･ルネサンス文学Ａ･Ｂ	2・2	学期	
LFFAL	309・310	3	◇ １７・１８世紀文学Ａ･Ｂ	2・2	学期	

LFFAL	311・312	3	◇ 近現代の文学Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAL	313・314	3	◇ 詩と演劇Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAL	315・316	3	◇ 小説と批評Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAL	317・318	3	◇ フランス学特講１Ａ・Ｂ	2・2	学期	
②思想と社会						
LFFAP	301・302	3	◇ 歴史記述論Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAP	303・304	3	◇ フランス現代史Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAP	305・306	3	◇ 日仏比較論Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAP	307・308	3	◇ フランコフォニー研究Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAP	309・310	3	◇ フランス社会の諸相Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAP	311・312	3	◇ 現代思想Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAP	313・314	3	◇ 哲学と人間Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAP	315・316	3	◇ 精神分析入門Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAP	317・318	3	◇ フランス学特講２Ａ・Ｂ	2・2	学期	
③芸術と文化						
LFFAA	301・302	3	◇ 現代芸術Ａ･Ｂ	2・2	学期	
LFFAA	303・304	3	◇ 映画芸術Ａ･Ｂ	2・2	学期	
LFFAA	305・306	3	◇ 写真芸術Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAA	307・308	3	◇ 舞台表現論Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAA	309・310	3	◇ 身体と芸術Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAA	311・312	3	◇ フランス美術Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAA	313・314	3	◇ 表象メディア論Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAA	315・316	3	◇ フランスの音楽Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFFAA	317・318	3	◇ フランス学特講３Ａ・Ｂ	2・2	学期	
（４）専門演習						
LFSEM	301	3	○ ３年次演習	2	通年	(注 14)
（６）文学部共通科目						
LFLTJ	301・302	3	日本文学(専)Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LAGEN	101・102	3	中国文学Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LAGEN	103・104	3	ドイツ文学Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFLTE	301・302	3	西洋文学Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFCIN	301・302	3	異文化理解３・４	2・2	学期	
LXCRS	301・302	3	哲学(専)１・２	2・2	学期	(注 15)
LECRS	313・314	3	言語学Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LFLAT	301・302	3	ラテン語１Ａ・Ｂ	2・2	学期	(注 16)
LFLAT	303・304	3	ラテン語２Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LECRS	315・316	3	小説技法Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LECRS	317・318	3	翻訳論Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LECRS	319・320	3	Practical Career English A・B	2・2	学期	
LAGEN	105・106	3	文化史Ａ・Ｂ	2・2	学期	
LAGEN	107・108	3	民俗学Ａ・Ｂ	2・2	学期	

（注７）仏語検定用フランス語演習（準 2 級・2 級程度）。

（注８）DELF 試験用フランス語演習（A2 レベル程度）。

（注９）TCF 試験用フランス語演習。

（注 10）中級程度。２Ａ･Ｂとの同時履修可。

（注 11）上級程度。１Ａ･Ｂとの同時履修可。

（注 12）中級程度。４Ａ･Ｂとの同時履修可。

（注 13）上級程度。３Ａ･Ｂとの同時履修可。

（注 14）

- 必修１科目のほかに選択１科目履修可。
- 11月上旬に説明会、中旬から下旬にかけて所属を決定する。
- 第一次募集分については可能なかぎり希望にそった所属の決定を行う。
- 第二次募集分については、第一次募集決定後、定員に余裕のあるクラスについて募集する。

（注15）「哲学(専)１・２」を履修するためには、明治学院共通科目の「MGPHI」（哲学)、「MGETH」（倫理学)、「MGLOG」（論理学）の中から、ナンバリングのアルファベットが同一の２科目（計４単位）を修得済みでなければならない。

（注16）明治学院共通科目の「ラテン語研究Ａ・Ｂ」を修得した者は、文学部共通科目「ラテン語１Ａ・Ｂ」を履修できない。

4年次

ナンバリング		年次	科　目　名	単位	開講方式	備考
（４）専門演習						
LFSEM	401	4	○ ４年次演習	2	通年	（注 17）
（５）卒業論文						
LFMEM	401	4	○ 卒業論文	6	通年	（注 18）

（注17）

- **卒業論文の指導をかねる。**
- 11月中旬に説明会、12月上旬に所属を決定する。
- 提出される志望動機書をもとに所属の決定を行うが、動機内容やクラス人数によっては希望にそえないこともある.

（注18）

- **４年次演習担当教員が指導教員となる。**
- 卒業論文は、フランスの文学、思想、言語、芸術、文化、歴史に関わるものを対象とする。
- 指導教員と相談して論文題目を設定し、６月中の別に定める期日までに、所定の用紙でフランス文学科共同研究室に提出すること。
- 提出した題目は原則として変更できない。万一変更する場合は、必ず指導教員と相談し、許可を得なければならない。無許可で変更すると失格になることがある。
- 指導教員の指導、助言を受けながら、論文を作成すること。
- 論文は指定日時に教務課窓口に提出すること。（学暦参照）
- 提出締め切り時間はきわめて厳格であるから、十分に注意すること。
- 提出論文について、所定の口頭試問を受けなければならない。

論文作成上の注意

(1)　使用言語は日本語またはフランス語による。英語など他言語による場合は、指導教員に相談すること。

(2)　日本語で手書きの場合は縦書き、横書きを問わず400字詰原稿用紙を用い、本文〔序論・本論・結論〕を12,000字（30枚）以上、ワープロ使用の場合は、縦書・横書ともにA4判で、12,000字以上になるように字数を計算した上で、読みやすい形式で書くこと。その際、１ページあたりx字×y行を本文最終ページに必ず記すこと。フランス語の場合は、A4版一枚あたり25行を目安とする。詳細は指導教員に相談すること。

(3)　本文のほかに、参考文献表・注・要約（résumé）をつけなければならない。要約は、日本語による論文の場合はフランス語で書くこと。A4版用紙を用い、１枚25行を目安として２枚半程度、フランス語による論文の場合は、日本語で2000字程度にまとめること。

(4)　論文には指定の表紙をつけ、所定の欄に、題目・学籍番号と氏名・指導教員名などを記入すること。

(5)　書式その他の注意事項の詳細は、５月に４年次演習の授業内で配付するパンフレットを見ること。万一受け取れなかった場合は、フランス文学科共同研究室で受け取ること。また、不明の点は指導教員に確認すること。

論文審査について

卒業論文の審査は、主査と副査の２名で行う。主査は指導教員とし、副査はフランス文学科所属の専任教員の中から主査が選出する。以下の項目を評価基準とし、総合的に判断する。

- 対象を深く理解し、明解かつ説得的に書かれているか。
- 論理的に構成されているか。
- 用語や文章は的確で、表現力に優れているか。
- 資料を適切に選択し、有効に活用しているか。
- 論文としての独創性が認められるか。

＜卒業論文と９月卒業＞

・ 在学５年目以上の学生が下記条件をすべて満たしている場合、卒業論文を９月卒業の申請科目にすることができる。
  (1) 前年度までに「４年次演習」の単位を修得していること。
  (2) 前年度までに最低１年は「卒業論文」の履修履歴があること。
  (3) 卒業希望年度に、「卒業論文」の履修、あるいは、「卒業論文」と春学期科目の履修で卒業見込みが立つこと。
  (4) 指導教員または主任教授に、９月卒業のための「卒業論文」履修の許可を得ていること。
・ ９月卒業のための「卒業論文」履修希望者は、所定の「履修許可申込書」に指導教員または主任教授の署名捺印を受け、他の申請書類と合わせて、教務課に提出すること。
・ 履修申請者は、卒業論文を７月第１火曜日・水曜日に教務課に提出する。
・ 審査、口頭試問に合格した場合、春学期末に単位を修得できる。
・ 上記期日に未提出、あるいは審査結果が不合格になった場合、一般の学生と同じ１月の期日に再提出することで、３月卒業の可能性がある。
・ 卒業論文の単位を修得できても、他の卒業要件単位が春学期末に未修得であれば、卒業論文の単位は年度末の修得となる。
・ レンヌ大学、エクスアンプロヴァンス政治学院、ニース・ソフィア・アンティポリス大学への認定留学生で、９月卒業を希望する者は、留学出発前に指導教員および教務課に相談すること。

〔８〕大学独自の認証資格について

多文化共生ファシリテーター／サポーター認証について

本学科では多文化共生ファシリテーター／サポーター認証を取得可能である。入学時の学科ガイダンスにて説明するので出席すること。また、本学 WEB サイトにある「内なる国際化プロジェクト」に詳細な情報が掲載されているので、随時確認すること。

〔９〕文学部他学科の学科科目

下記の科目を除き、文学部他学科の学科科目をⅥ（明学科目および学科科目部門）の単位として18単位まで、またⅩ（学科科目・選択科目部門）の単位として12単位まで、卒業要件単位に含めることができる。履修条件が付されている場合があるので、履修の際は各学科の項を参照すること。

（１）英文学科

基礎演習１	Topics in American Culture A	英語教育基礎論Ａ
基礎演習２	Topics in American Culture B	英語教育基礎論Ｂ
Listening and Pronunciation A	Topics in Linguistics A	英語教育方法論Ａ
Listening and Pronunciation B	Topics in Linguistics B	英語教育方法論Ｂ
Reading A	イギリス文学３年次演習	英語教育実践論Ａ
Reading B	イギリス文学４年次演習	英語教育実践論Ｂ
Listening and Speaking A	アメリカ文学３年次演習	英語教育評価論Ａ
Listening and Speaking B	アメリカ文学４年次演習	英語教育評価論Ｂ
Academic Reading A	英語学３年次演習	Current Topics in ELT A
Academic Reading B	英語学４年次演習	Current Topics in ELT B
Academic Writing A	Academic English Skills A	英語教育３年次演習
Academic Writing B	Academic English Skills B	英語教育４年次演習
Topics in British Culture A	Advanced Academic Writing	卒業論文
Topics in British Culture B		

（２）芸術学科 音楽学コース

西洋音楽通史Ｐ	音楽学基礎演習	音楽学研究２Ａ
西洋音楽通史Ｓ	音楽学資料講読	音楽学研究２Ｂ
音楽概論	音響表現論演習Ａ	楽書演習Ａ
音楽理論演習１Ａ	音響表現論演習Ｂ	楽書演習Ｂ
音楽理論演習１Ｂ	音楽分析演習	
~~音楽理論演習２Ａ~~音楽理論演習２	音楽学研究１Ａ	
~~音楽理論演習２Ｂ~~	音楽学研究１Ｂ	

芸術学科 映像芸術学コース

映像芸術学演習１	映像芸術学演習３	映像学文献講読Ａ
映像芸術学演習２	映像理論演習	映像学文献講読Ｂ

芸術学科 美術史学コース

日本・東洋美術通史Ｐ	デッサンＡ	西洋美術史演習
日本・東洋美術通史Ｓ	デッサンＢ	日本・東洋美術史演習
西洋美術史資料講読Ａ	西洋美術史研究Ａ	
西洋美術史資料講読Ｂ	西洋美術史研究Ｂ	

芸術学科 芸術メディア論コース

メディア・コミュニケーション論序説	芸術メディア論２年次演習２Ａ	芸術メディア論文献講読１Ａ
メディア・コミュニケーション論序説	芸術メディア論２年次演習２Ｂ	芸術メディア論文献講読１Ｂ
メディア文化社会論序説Ｐ	芸術メディア論３年次演習１	芸術メディア論文献講読２Ａ
メディア文化社会論序説Ｓ	芸術メディア論３年次演習２	芸術メディア論文献講読２Ｂ
芸術メディア論２年次演習１Ａ		
芸術メディア論２年次演習１Ｂ		

芸術学科 演劇身体表現コース

演劇概論Ｐ	演劇身体表現文献講読１Ａ	日本演劇研究Ａ
演劇概論Ｓ	演劇身体表現文献講読１Ｂ	日本演劇研究Ｂ
演劇身体表現論２年次演習１	演劇身体表現文献講読２Ａ	コンテンポラリーダンス論Ａ
演劇身体表現論２年次演習２	演劇身体表現文献講読２Ｂ	コンテンポラリーダンス論Ｂ
演劇身体表現論３年次演習１	西洋演劇研究Ａ	ミュージカル研究Ａ
演劇身体表現論３年次演習２	西洋演劇研究Ｂ	ミュージカル研究Ｂ

芸術学科 総合芸術学コース

キリスト教芸術Ｐ	キリスト教芸術Ｓ

芸術学科 各コース共通

芸術学概論Ｐ	卒業論文
芸術学概論Ｓ	卒論ゼミナール

※学芸員課程は、芸術学科以外の学生は履修できません。(P.131 参照)

〔10〕教職に関する科目

教職に関する科目のうち、「フランス語科指導法１・２・３・４」の科目（８単位）を単位群Ｘの単位として卒業要件単位に含めることができる。

教職課程の履修については別冊の『教職課程履修要項』を参照すること。

〔11〕フランス語既習者の履修

高等学校（帰国生徒の場合はそれにあたるもの）でフランス語を修得し充分な学力を身につけた者は、１年次で明治学院共通科目のフランス語および学科科目(2)フランス語科目のなかの「Exercices Pratiques １Ａ・Ｂ」の単位を下記のクラスで履修すること。ただし、通常クラスを希望する者は、主任教授の許可を得たうえで、通常クラスを履修することができる。

科目名		履修クラス名	
（１） 明治学院共通科目			
MGFRE101	フランス語１Ａ	㊖MGFRE101	フランス語１Ａ
MGFRE102	フランス語１Ｂ	㊖MGFRE102	フランス語１Ｂ
MGFRE103	フランス語２Ａ	㊖MGFRE103	フランス語２Ａ
MGFRE104	フランス語２Ｂ	㊖MGFRE104	フランス語２Ｂ
（２） フランス語科目			
MGELF105	Exercices Pratiques １Ａ	㊖MGELF105	Exercices Pratiques １Ａ
MGELF106	Exercices Pratiques １Ｂ	㊖MGELF106	Exercices Pratiques １Ｂ

〔12〕再履修クラス

フランス文学科では次の必修科目の再履修クラスを開講する。

科　　目　　名		再履修クラス名		開講校地
（１）　フランス学基礎科目				
LFEFB201	フランス文学史Ａ	LFEFB201	㊐フランス文学史Ａ	白金
LFEFB202	フランス文学史Ｂ	LFEFB202	㊐フランス文学史Ｂ	
LFEFB203	基礎研究Ａ	LFEFB203	㊐基礎研究Ａ	
LFEFB204	基礎研究Ｂ	LFEFB204	㊐基礎研究Ｂ	
（２）　フランス語科目				
LFELF101	フランス語講読１Ａ	LFELF101	㊐フランス語講読１Ａ	横浜
LFELF102	フランス語講読１Ｂ	LFELF102	㊐フランス語講読１Ｂ	
LFELF103	Exercices Pratiques１Ａ	LFELF103	㊐Exercices Pratiques１Ａ	
LFELF104	Exercices Pratiques１Ｂ	LFELF104	㊐Exercices Pratiques１Ｂ	
LFELF201	Exercices Pratiques２Ａ	LFELF201	㊐Exercices Pratiques２Ａ	白金
LFELF202	Exercices Pratiques２Ｂ	LFELF202	㊐Exercices Pratiques２Ｂ	
LFELF203	フランス語表現法１Ａ	LFELF203	㊐フランス語表現法１Ａ	
LFELF204	フランス語表現法１Ｂ	LFELF204	㊐フランス語表現法１Ｂ	
（３）　明治学院共通科目・フランス語				
MGFRE101	フランス語１Ａ	LFELF103	㊐Exercices Pratiques １Ａ	横浜
MGFRE102	フランス語１Ｂ	LFELF104	㊐Exercices Pratiques １Ｂ	
MGFRE103	フランス語２Ａ	LFELF101	㊐フランス語講読１Ａ	
MGFRE104	フランス語２Ｂ	LFELF102	㊐フランス語講読１Ｂ	
MGFRE211	フランス語研究１Ａ	LFELF103	㊐Exercices Pratiques１Ａ	白金
MGFRE212	フランス語研究１Ｂ	LFELF104	㊐Exercices Pratiques１Ｂ	
MGFRE213	フランス語研究２Ａ	LFELF201	㊐Exercices Pratiques２Ａ	
MGFRE214	フランス語研究２Ｂ	LFELF202	㊐Exercices Pratiques２Ｂ	

２年次配当科目である「フランス文学史Ａ・Ｂ」「基礎研究Ａ・Ｂ」「Exercices Pratiques ２Ａ・Ｂ」「フランス語表現法１Ａ・Ｂ」「フランス語研究１Ａ・Ｂ」「フランス語研究２Ａ・Ｂ」の再履修者は、原則として白金校舎で開講される各再履修者クラスを受講すること。白金校舎での受講ができない場合は、授業開始日までにフランス文学科共同研究室から許可を得ること。

フランス文学科科目部門別一覧　○は必修科目、△◇は選択必修科目

(1)フランス学基礎科目			単位	開講方式	年次
LFEFB	101	○ フランス学概説Ａ	2	学期	1
LFEFB	102	○ フランス学概説Ｂ	2	学期	1
LFEFB	103	○ フランスの歴史Ａ	2	学期	1
LFEFB	104	○ フランスの歴史Ｂ	2	学期	1
LFEFB	105	フランス文化研究Ａ	2	学期	1
LFEFB	106	フランス文化研究Ｂ	2	学期	1
LFEFB	201	○ フランス文学史Ａ	2	学期	2
LFEFB	202	○ フランス文学史Ｂ	2	学期	2
LFEFB	203	○ 基礎研究Ａ	2	学期	2
LFEFB	204	○ 基礎研究Ｂ	2	学期	2
(2)フランス語科目					
LFELF	101	○ フランス語講読１Ａ	1	学期	1
LFELF	102	○ フランス語講読１Ｂ	1	学期	1
LFELF	301	○ フランス語講読２Ａ	1	学期	3
LFELF	302	○ フランス語講読２Ｂ	1	学期	3
LFELF	103	○ Exercices Pratiques １Ａ	1	学期	1
LFELF	104	○ Exercices Pratiques １Ｂ	1	学期	1
LFELF	201	○ Exercices Pratiques ２Ａ	1	学期	2
LFELF	202	○ Exercices Pratiques ２Ｂ	1	学期	2
LFELF	303	△ Exercices Pratiques ３Ａ	1	学期	3
LFELF	304	△ Exercices Pratiques ３Ｂ	1	学期	3
LFELF	305	△ Exercices Pratiques ４Ａ	1	学期	3
LFELF	306	△ Exercices Pratiques ４Ｂ	1	学期	3
LFELF	203	○ フランス語表現法１Ａ	1	学期	2
LFELF	204	○ フランス語表現法１Ｂ	1	学期	2
LFELF	307	△ フランス語表現法２Ａ	1	学期	3
LFELF	308	△ フランス語表現法２Ｂ	1	学期	3
LFELF	309	△ 仏会話１Ａ	1	学期	3
LFELF	310	△ 仏会話１Ｂ	1	学期	3
LFELF	311	△ 仏会話２Ａ	1	学期	3
LFELF	312	△ 仏会話２Ｂ	1	学期	3
LFELF	313	△ 実用フランス語Ａ	1	学期	3
LFELF	314	△ 実用フランス語Ｂ	1	学期	3
LFELF	315	△ 時事フランス語Ａ	1	学期	3
LFELF	316	△ 時事フランス語Ｂ	1	学期	3
LFELF	317	△ 観光フランス語Ａ	1	学期	3
LFELF	318	△ 観光フランス語Ｂ	1	学期	3
LFELF	105	検定対策フランス語１Ａ	1	学期	1
LFELF	106	検定対策フランス語１Ｂ	1	学期	1
LFELF	107	検定対策フランス語２Ａ	1	学期	1
LFELF	108	検定対策フランス語２Ｂ	1	学期	1
LFELF	319	検定対策フランス語３Ａ	1	学期	3
LFELF	320	検定対策フランス語３Ｂ	1	学期	3
LFELF	109	Communication niveau avancé	2	学期	1
LFELF	321	Préparation au DELF Ａ	1	学期	3
LFELF	322	Préparation au DELF Ｂ	1	学期	3

LFELF	323	Préparation au TCF A	1	学期	3
LFELF	324	Préparation au TCF B	1	学期	3
（３）フランス学発展科目					
①　ことばと文学					
LFFAL	301	◇ フランス語の諸相Ａ	2	学期	3
LFFAL	302	◇ フランス語の諸相Ｂ	2	学期	3
LFFAL	303	◇ フランス語史Ａ	2	学期	3
LFFAL	304	◇ フランス語史Ｂ	2	学期	3
LFFAL	305	◇ 現代翻訳論Ａ	2	学期	3
LFFAL	306	◇ 現代翻訳論Ｂ	2	学期	3
LFFAL	307	◇ 中世･ルネサンス文学Ａ	2	学期	3
LFFAL	308	◇ 中世･ルネサンス文学Ｂ	2	学期	3
LFFAL	309	◇ １７・１８世紀文学Ａ	2	学期	3
LFFAL	310	◇ １７・１８世紀文学Ｂ	2	学期	3
LFFAL	311	◇ 近現代の文学Ａ	2	学期	3
LFFAL	312	◇ 近現代の文学Ｂ	2	学期	3
LFFAL	313	◇ 詩と演劇Ａ	2	学期	3
LFFAL	314	◇ 詩と演劇Ｂ	2	学期	3
LFFAL	315	◇ 小説と批評Ａ	2	学期	3
LFFAL	316	◇ 小説と批評Ｂ	2	学期	3
LFFAL	317	◇ フランス学特講１Ａ	2	学期	3
LFFAL	318	◇ フランス学特講１Ｂ	2	学期	3
②思想と社会					
LFFAP	301	◇ 歴史記述論Ａ	2	学期	3
LFFAP	302	◇ 歴史記述論Ｂ	2	学期	3
LFFAP	303	◇ フランス現代史Ａ	2	学期	3
LFFAP	304	◇ フランス現代史Ｂ	2	学期	3
LFFAP	305	◇ 日仏比較論Ａ	2	学期	3
LFFAP	306	◇ 日仏比較論Ｂ	2	学期	3
LFFAP	307	◇ フランコフォニー研究Ａ	2	学期	3
LFFAP	308	◇ フランコフォニー研究Ｂ	2	学期	3
LFFAP	309	◇ フランス社会の諸相Ａ	2	学期	3
LFFAP	310	◇ フランス社会の諸相Ｂ	2	学期	3
LFFAP	311	◇ 現代思想Ａ	2	学期	3
LFFAP	312	◇ 現代思想Ｂ	2	学期	3
LFFAP	313	◇ 哲学と人間Ａ	2	学期	3
LFFAP	314	◇ 哲学と人間Ｂ	2	学期	3
LFFAP	315	◇ 精神分析入門Ａ	2	学期	3
LFFAP	316	◇ 精神分析入門Ｂ	2	学期	3
LFFAP	317	◇ フランス学特講２Ａ	2	学期	3
LFFAP	318	◇ フランス学特講２Ｂ	2	学期	3
③芸術と文化					
LFFAA	301	◇ 現代芸術Ａ	2	学期	3
LFFAA	302	◇ 現代芸術Ｂ	2	学期	3
LFFAA	303	◇ 映画芸術Ａ	2	学期	3
LFFAA	304	◇ 映画芸術Ｂ	2	学期	3
LFFAA	305	◇ 写真芸術Ａ	2	学期	3
LFFAA	306	◇ 写真芸術Ｂ	2	学期	3
LFFAA	307	◇ 舞台表現論Ａ	2	学期	3

LFFAA	308	◇ 舞台表現論Ｂ	2	学期	3
LFFAA	309	◇ 身体と芸術Ａ	2	学期	3
LFFAA	310	◇ 身体と芸術Ｂ	2	学期	3
LFFAA	311	◇ フランス美術Ａ	2	学期	3
LFFAA	312	◇ フランス美術Ｂ	2	学期	3
LFFAA	313	◇ 表象メディア論Ａ	2	学期	3
LFFAA	314	◇ 表象メディア論Ｂ	2	学期	3
LFFAA	315	◇ フランスの音楽Ａ	2	学期	3
LFFAA	316	◇ フランスの音楽Ｂ	2	学期	3
LFFAA	317	◇ フランス学特講３Ａ	2	学期	3
LFFAA	318	◇ フランス学特講３Ｂ	2	学期	3
（４）専門演習					
LFSEM	301	○ ３年次演習	2	通年	3
LFSEM	401	○ ４年次演習	2	通年	4
（５）卒業論文					
LFMEM	401	○ 卒業論文	6	通年	4
（６）文学部共通科目					
LFLTJ	301	日本文学(専)Ａ	2	学期	3
LFLTJ	302	日本文学(専)Ｂ	2	学期	3
LAGEN	101	中国文学Ａ	2	学期	3
LAGEN	102	中国文学Ｂ	2	学期	3
LAGEN	103	ドイツ文学Ａ	2	学期	3
LAGEN	104	ドイツ文学Ｂ	2	学期	3
LFLTE	301	西洋文学Ａ	2	学期	3
LFLTE	302	西洋文学Ｂ	2	学期	3
LECRS	201	異文化理解１	2	学期	3
LECRS	202	異文化理解２	2	学期	3
LFCIN	301	異文化理解３	2	学期	3
LFCIN	302	異文化理解４	2	学期	3
LXCRS	301	哲学(専)１	2	学期	3
LXCRS	302	哲学(専)２	2	学期	3
LECRS	313	言語学Ａ	2	学期	3
LECRS	314	言語学Ｂ	2	学期	3
LFLAT	301	ラテン語１Ａ	2	学期	3
LFLAT	302	ラテン語１Ｂ	2	学期	3
LFLAT	303	ラテン語２Ａ	2	学期	3
LFLAT	304	ラテン語２Ｂ	2	学期	3
LECRS	315	小説技法Ａ	2	学期	3
LECRS	316	小説技法Ｂ	2	学期	3
LECRS	317	翻訳論Ａ	2	学期	3
LECRS	318	翻訳論Ｂ	2	学期	3
LECRS	319	Practical Career English A	2	学期	3
LECRS	320	Practical Career English B	2	学期	3
LAGEN	105	文化史Ａ	2	学期	3
LAGEN	106	文化史Ｂ	2	学期	3
LAGEN	107	民俗学Ａ	2	学期	3
LAGEN	108	民俗学Ｂ	2	学期	3

芸術学科

《文 学 部》

人材養成上の目的・教育目標

文学部は、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

文学部においては、さまざまな時代や状況においてなされた人間の創造行為や表現活動の諸相を学生に教授し、他者を理解するとともにまた自らを知る力を培う。そうして、新たな文化を構想する知的分析力や創造力をもった人材を養成してゆく。その過程において、問題を発見する力やそれを伝達する言語能力の涵養も重視し、将来自らが関わる社会のさまざまな局面において、柔軟かつ斬新な思考を展開できる人間を育てる。

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに所定の単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

1　人類の歴史・文化・社会および自然・健康に関する基礎的な教養を身につけている。
2　言語や文化・歴史、あるいはさまざまな表現ジャンルの芸術に関する体系的な知識を有している。
3　個別専門的な領域における新たな問題提起と、その解決を提案する分析力および構想力を有し、またそれを明快に伝達する表現能力を備えている。
4　さまざまな時代・環境における他者の営みを理解し、その認識をより良い社会の構築に結びつける志向をもっている。

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、文学部の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

1　各学科の専門科目の理解に必要な基本的な知識・技能を身につける授業を、初年次から多く設置する。
2　体系的な知識を教授する講義科目と同時並行的に、個別特殊な課題を扱う授業を多く開講し、具体的な課題を思考し、ともに議論する機会を学生に授ける。
3　さまざまな言語や文化、あるいは表現活動に触れることによって、自らを他へと開いてゆく経験を与える。
4　自らの視点から問題を提起し、またそれを的確に表現する力を養う過程として、少人数のゼミや卒業論文制作などを重視する。

■芸 術 学 科

人材養成上の目的・教育目標

文学部芸術学科は、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、芸術学科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

芸術学科は音楽学コース、美術史学コース、映像芸術学コース、芸術メディア論コース、演劇身体表現コース、総合芸術学コースの六つのコースで構成されている。いずれのコースにおいても、いわゆる実技者養成を目的とはせず、芸術に関する理論、歴史、それにまつわるコミュニケーションのあり方などを幅広く、かつ深く学ぶ環境を整える。学生それぞれの芸術に対する興味の芽生えを大切に育て、人間・文化・社会に対する知的好奇心と批評的視野を養う教育を通して、芸術・表現活動に対する観察力、自らと他者の関わりへの洞察力、社会における問題を発見し深く考察する思考力、それを様々な表現媒体によって伝達する表現力、柔軟かつ斬新な発想をもって現実に向き合う実践力などを培い、さまざまな時代、状況における人間の創造行為や表現活動の諸相を理解して、新たな文化を構想する分析力や創造力をもった人材を養成することを目標とする。

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部芸術学科は、文学部の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、芸術学科の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに 124 単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

1　人類の芸術・表現活動の歴史および、文化・社会との関わりに関する基礎的な教養を身につけている。

2　芸術に関する総合的な知識を獲得した上で、自らが専攻する個別専門領域における体系的な知識、あるいは領域横断的な知識を有している。

3　芸術についての学びを通し、既存概念にとらわれない幅広い知的好奇心や、様々な対象を自ら見て、聴いて、感じ、考え、理解する柔軟な感性を養い、専攻領域におけるあらたな問題提起と、その解決を提案する分析力および構想力、またそれを効果的に伝達する表現能力を備えている。

4　芸術学科で学んだ知識を基に時代・環境を越えて他者の営みを理解し、様々な表現媒体を活用したコミュニケーション力を活かしてより良い社会の構築に結びつける志向をもっている。

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部芸術学科は、文学部の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、芸術学科の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

芸術学科では、専攻領域における研究を目的とした専門教育と、芸術一般にわたる教養を身につけることを目的とした教養教育という２つの領域をカバーする授業を提供する。４年間のカリキュラムの流れは以下のように編成する。

学修成果については、授業への参画意欲を重視し、各段階および領域において必要な理論的・実践的な思考の深化や能力の蓄積を、レポート、試験、演習等を通して総合的に評価する。

1　１年次には、様々な芸術領域における専門科目の理解に必要な基本的な知識・技能を身につけるために、幅広く入門的な講義を設置する。学生各自が芸術全般に関する基礎力を獲得すると共に、自主的に専攻コースの選択ができるよう科目の配置・指導を行う。

2　２年次以降は、学生が自らの専攻コースを選択する。体系的な知識を教授する講義科目と同時並行的に、専門的な課題を扱う授業を多く開講し、演習や講読、少人数での文献講読やゼミナール形式の授業などを通して、具体的な課題を思考し、考えたことを表現・発表する機会を積極的に設ける。

3　３年次では、各専攻コースの専門的知識を深めることを目的とした「研究」「演習」科目を中心に授業を配置すると共に、さまざまなトピックを専門的に扱う「特講」や、社会における芸術・文化・表現活動に広く触れる機会を設け、芸術を通して自らを他へと開いてゆく経験を与える。

4　専門５コース（音楽学・美術史学・映像芸術学・芸術メディア論・演劇身体表現）の場合、４年次で卒業論文が必須となる。ゼミおよび卒論制作においては、学生たちが独自の視点から問題を提起し、またそれを的確に表現する力を養うために、指導教員は密接なコミュニケーションをもって卒業指導を行う。一方、総合芸術学コースでは卒業論文を課されないが、学生は各自の視点を持ち、教養分野における知識を幅広く充実させるために、総合芸術学コースおよび専門５コースから横断的に授業を履修し卒業要件を満たす。

その他、所定単位を修得することによって多文化共生ファシリテーター/サポーターの認証資格取得も可能である。

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく 身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目＝○					
(1) 各コース共通科目									
LAART101芸術学概論Ｐ	必修	2	1	○	◎				
LAART102芸術学概論Ｓ	必修	2	1	○	◎				
(2) 音楽学コース関係科目									
LAMUS101西洋音楽通史Ｐ	選択必修or選択	2	1	◎	○		○		
LAMUS102西洋音楽通史Ｓ	選択必修or選択	2	1	◎	○		○		
LAMUS103音楽概論	選択必修or選択	2	1	○	○		◎		
LAMUS104音楽理論演習１Ａ	選択必修or選択	1	1	○	◎		○		
LAMUS105音楽理論演習１Ｂ	選択必修or選択	1	1	○	◎		○		
LAMUS201音楽学基礎演習	選択必修or選択	2	2		○	◎	○		
LAMUS202音楽学資料講読	選択必修or選択	2	2	◎	○		○		
LAMUS203~~音楽理論演習２Ａ~~音楽理論演習２	選択必修or選択	1	2	○	○		◎		
~~LAMUS204音楽理論演習２Ｂ~~	~~選択~~	~~1~~	~~2~~	~~○~~	~~○~~		~~◎~~		
LAMUS205音響表現論演習Ａ	選択	1	2	○	○		◎		
LAMUS206音響表現論演習Ｂ	選択	1	2			○	◎		
LAMUS301音楽学研究１Ａ	選択必修or選択	2	3			◎	○	○	
LAMUS302音楽学研究１Ｂ	選択必修or選択	2	3			◎	○	○	
LAMUS303音楽学研究２Ａ	選択必修or選択	2	3		○	◎	○	○	
LAMUS304音楽学研究２Ｂ	選択必修or選択	2	3		○	◎	○	○	
LAMUS305音楽分析演習	選択必修or選択	2	3		○	◎	○		
LAMUS207楽書演習Ａ	選択必修or選択	1	3	○	◎	○			
LAMUS208楽書演習Ｂ	選択必修or選択	1	3	○	◎		○		
LAMUS306音楽学特講１Ａ	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS307音楽学特講１Ｂ	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS308音楽学特講２Ａ	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS309音楽学特講２Ｂ	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS310音楽学特講３Ａ	選択	2	3		○	○	◎		
LAMUS311音楽学特講３Ｂ	選択	2	3		○	○	◎		
LAMUS312音楽学特講４	選択	2	3		○	○	◎		
LAMUS313音楽学特講５	選択	2	3		○		◎		
LAMUS314音楽学特講６	選択	2	3		○		◎		
LAMUS315音楽学特講７	選択	2	3		○	○	◎		
LAGRA401卒業論文	選択必修	6	4		○	○		◎	○
LAGRA402卒論ゼミナール	選択必修	2	4		○	○		◎	○
(3) 映像芸術学コース関係科目									
LAFIL101映画史通説Ｐ	選択必修or選択	2	1		◎	○		○	
LAFIL102映画史通説Ｓ	選択必修or選択	2	1		◎	○		○	
LAFIL103映像基礎研究Ｐ	選択必修or選択	2	1		○	◎	○		
LAFIL104映像基礎研究Ｓ	選択必修or選択	2	1		○	◎	○		
LAFIL105映像芸術学序説Ｐ	選択	2	1	○	○	◎			
LAFIL106映像芸術学序説Ｓ	選択	2	1	○	○	◎			
LAFIL201映像芸術学演習１	選択必修or選択	2	2		◎	○	○		
LAFIL202映像芸術学演習２	選択必修or選択	2	2		◎	○	○		
LAFIL203映像芸術学演習３	選択必修or選択	2	2		◎	○	○		
LAFIL301映像理論演習	選択必修or選択	4	3		◎	○	○		
LAFIL302映像学文献講読Ａ	選択必修or選択	1	3		◎				
LAFIL303映像学文献講読Ｂ	選択必修or選択	1	3		◎	○	○		
LAFIL304映画史演習	選択必修or選択	4	3		◎				
LAFIL305映像文化研究	選択必修or選択	4	3	◎		○	○		
LAFIL306映画史特講１Ａ	選択必修or選択	2	3		◎	○	○		
LAFIL307映画史特講１Ｂ	選択必修or選択	2	3		◎	○	○		
LAFIL308映画史特講２Ａ	選択必修or選択	2	3		◎	○	○		
LAFIL309映画史特講２Ｂ	選択必修or選択	2	3		◎	○	○		
LAFIL310映像芸術学特講１Ａ	選択	2	3		○	◎	○		
LAFIL311映像芸術学特講１Ｂ	選択	2	3		○	◎	○		
LAFIL312映像芸術学特講２Ａ	選択	2	3		○	◎	○		
LAFIL313映像芸術学特講２Ｂ	選択	2	3		○	◎	○		
LAFIL314映像芸術学特講３Ａ	選択	2	3		○	◎	○		
LAFIL315映像芸術学特講３Ｂ	選択	2	3		○	◎	○		
LAGRA401卒業論文	選択必修	6	4		○	○		◎	○
LAGRA402卒論ゼミナール	選択必修	2	4		○	○		◎	○
(4) 美術史学コース関係科目									
LAFAH101西洋美術通史Ｐ	選択必修or選択	2	1	◎	○				
LAFAH102西洋美術通史Ｓ	選択必修or選択	2	1	◎	○				
LAFAH103日本・東洋美術通史Ｐ	選択必修or選択	2	1	◎	○				
LAFAH104日本・東洋美術通史Ｓ	選択必修or選択	2	1	◎	○				
LAFAH201西洋美術史資料講読Ａ	選択必修or選択	1	2			◎	○		
LAFAH202西洋美術史資料講読Ｂ	選択必修or選択	1	2			◎	○		
LAFAH203日本・東洋美術史資料講読Ａ	選択必修or選択	1	2			◎	○		
LAFAH204日本・東洋美術史資料講読Ｂ	選択必修or選択	1	2			◎	○		
LAFAH105デッサンＡ	選択	1	2	◎		○			
LAFAH106デッサンＢ	選択	1	2	◎		○			
LAFAH301西洋美術史研究Ａ	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LAFAH302西洋美術史研究Ｂ	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LAFAH205美術史の理論と方法Ａ	選択必修or選択	2	3			◎	○		
LAFAH206美術史の理論と方法Ｂ	選択必修or選択	2	3			◎	○		
LAFAH303西洋美術史特講１Ａ	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LAFAH304西洋美術史特講１Ｂ	選択必修or選択	2	3			○	◎		

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目＝○					
LAFAH305西洋美術史特講２Ａ	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LAFAH306西洋美術史特講２Ｂ	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LAFAH307日本・東洋美術史研究Ａ	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LAFAH308日本・東洋美術史研究Ｂ	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LAFAH309日本美術史特講１Ａ	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LAFAH310日本美術史特講１Ｂ	選択必修or選択	2	3	○	○		◎		
LAFAH311日本美術史特講２Ａ	選択必修or選択	2	3	○	○		◎		
LAFAH312日本美術史特講２Ｂ	選択必修or選択	2	3	○	○		◎		
LAFAH207日本近代美術史Ａ	選択必修or選択	2	3	○	○		◎		
LAFAH208日本近代美術史Ｂ	選択必修or選択	2	3	○	○		◎		
LAFAH313西洋美術史演習	選択必修or選択	2	3			◎	○		
LAFAH314日本・東洋美術史演習	選択必修or選択	2	3			◎	○		
LAFAH209現代美術論Ａ	選択	2	3					◎	○
LAFAH210現代美術論Ｂ	選択	2	3					◎	○
LAGRA401卒業論文	選択必修	6	4		○	○		◎	○
LAGRA402卒論ゼミナール	選択必修	2	4		○	○		◎	○
(5) 芸術メディア論コース関係科目									
LAMED101メディア・コミュニケーション論序説Ｐ	選択必修or選択	2	1	◎	○	○	○		
LAMED102メディア・コミュニケーション論序説Ｓ	選択必修or選択	2	1	◎	○	○	○		
LAMED103メディア文化社会論序説Ｐ	選択必修or選択	2	1	◎	○	○	○		
LAMED104メディア文化社会論序説Ｓ	選択必修or選択	2	1	◎	○	○	○		
LAMED201芸術メディア論２年次演習１Ａ	選択必修or選択	1	2	○	○	◎	○		
LAMED202芸術メディア論２年次演習１Ｂ	選択必修or選択	1	2	○	○	◎	○		
LAMED203芸術メディア論２年次演習２Ａ	選択必修or選択	1	2	○	○	◎	○		
LAMED204芸術メディア論２年次演習２Ｂ	選択必修or選択	1	2	○	○	◎	○		
LAMED301芸術メディア論３年次演習１	選択必修or選択	2	3		○	○	◎	○	
LAMED302芸術メディア論３年次演習２	選択必修or選択	2	3		○	○	◎	○	
LAMED303芸術メディア論文献講読１Ａ	選択必修or選択	1	3	○	◎		○		
LAMED304芸術メディア論文献講読１Ｂ	選択必修or選択	1	3	○	◎		○		
LAMED305芸術メディア論文献講読２Ａ	選択必修or選択	1	3	○	◎		○		
LAMED306芸術メディア論文献講読２Ｂ	選択必修or選択	1	3	○	◎		○		
LAMED307デジタルアート論Ａ	選択必修or選択	2	3		○	○	◎		
LAMED308デジタルアート論Ｂ	選択必修or選択	2	3		○	○	◎		
LAMED309メディア実践論Ａ	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED310メディア実践論Ｂ	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED311ポピュラーカルチャー論Ａ	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED312ポピュラーカルチャー論Ｂ	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED313建築・都市空間論Ａ	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED314建築・都市空間論Ｂ	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED315デザイン論Ａ	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED316デザイン論Ｂ	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED317メディア産業論Ａ	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED318メディア産業論Ｂ	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED319芸術メディア論特講１Ａ	選択	2	3	○	◎		○		
LAMED320芸術メディア論特講１Ｂ	選択	2	3	○	◎		○		
LAMED321芸術メディア論特講２Ａ	選択	2	3	○	◎		○		
LAMED322芸術メディア論特講２Ｂ	選択	2	3	○	◎		○		
LAGRA401卒業論文	選択必修	6	4		○	○		◎	○
LAGRA402卒論ゼミナール	選択必修	2	4		○	○		◎	○
(6) 演劇身体表現コース関係科目									
LATHE101演劇概論Ｐ	選択必修or選択	2	1	◎	○		○		
LATHE102演劇概論Ｓ	選択必修or選択	2	1	◎	○		○		
LATHE103身体表現論概説Ｐ	選択必修or選択	2	1	◎			○		
LATHE104身体表現論概説Ｓ	選択必修or選択	2	1	◎			○		
LATHE201演劇身体表現論２年次演習１	選択必修or選択	2	2	◎	○	○		○	
LATHE202演劇身体表現論２年次演習２	選択必修or選択	2	2	◎	○	○		○	
LATHE301演劇身体表現論３年次演習１	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE302演劇身体表現論３年次演習２	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE303演劇身体表現文献講読１Ａ	選択必修or選択	1	3	◎		○			
LATHE304演劇身体表現文献講読１Ｂ	選択必修or選択	1	3	◎		○			
LATHE305演劇身体表現文献講読２Ａ	選択必修or選択	1	3	◎	○				
LATHE306演劇身体表現文献講読２Ｂ	選択必修or選択	1	3	◎	○				
LATHE307西洋演劇研究Ａ	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE308西洋演劇研究Ｂ	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE309日本演劇研究Ａ	選択必修or選択	2	3	◎					○
LATHE310日本演劇研究Ｂ	選択必修or選択	2	3	◎					○
LATHE311演劇学Ａ	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE312演劇学Ｂ	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE313バレエ研究Ａ	選択必修or選択	2	3	◎				○	
LATHE314バレエ研究Ｂ	選択必修or選択	2	3	◎				○	
LATHE315コンテンポラリーダンス論Ａ	選択	2	3	◎				○	○
LATHE316コンテンポラリーダンス論Ｂ	選択	2	3	◎				○	○
LATHE317パフォーマンス理論Ａ	選択	2	3	◎				○	○
LATHE318パフォーマンス理論Ｂ	選択	2	3	◎					○
LATHE319ミュージカル研究Ａ	選択	2	3	◎				○	
LATHE320ミュージカル研究Ｂ	選択	2	3	◎				○	
LATHE321舞台芸術論Ａ	選択	2	3	◎		○			
LATHE322舞台芸術論Ｂ	選択	2	3	◎		○			
LAGRA401卒業論文	選択必修	6	4		○	○		◎	○
LAGRA402卒論ゼミナール	選択必修	2	4		○	○		◎	○

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目＝〇					
(7) 総合芸術学コース関係科目									
LACOM301キリスト教芸術Ｐ	選択必修or選択	2	3	◎	〇				
LACOM302キリスト教芸術Ｓ	選択必修or選択	2	3	◎	〇				
LACOM303思想と芸術Ａ	選択必修or選択	2	3	◎	〇				
LACOM304思想と芸術Ｂ	選択必修or選択	2	3	◎	〇		〇		
LACOM305現代社会と芸術１Ａ	選択必修or選択	2	3	◎	〇		〇		
LACOM306現代社会と芸術１Ｂ	選択必修or選択	2	3	◎	〇		〇		
LACOM307現代社会と芸術２Ａ	選択必修or選択	2	3	◎	〇		〇		
LACOM308現代社会と芸術２Ｂ	選択必修or選択	2	3	◎	〇		〇		
LACOM309現代社会と芸術３Ａ	選択必修or選択	2	3	◎	〇		〇		
LACOM310現代社会と芸術３Ｂ	選択必修or選択	2	3	◎	〇		〇		
LACOM311芸術表現論	選択必修or選択	2	3		◎	〇	〇		
LACOM312アートマネジメント論	選択必修or選択	2	3		◎	〇	〇		
(9) 文学部共通科目									
LFLTJ301日本文学（専）Ａ	選択	2	3	◎		〇			
LFLTJ302日本文学（専）Ｂ	選択	2	3	◎		〇			
LAGEN101中国文学Ａ	選択	2	3	◎		〇	〇		
LAGEN102中国文学Ｂ	選択	2	3	◎		〇	〇		
LAGEN103ドイツ文学Ａ	選択	2	3	◎	〇		〇		
LAGEN104ドイツ文学Ｂ	選択	2	3	◎	〇		〇		
LFLTE301西洋文学Ａ	選択	2	3	◎		〇	〇		
LFLTE302西洋文学Ｂ	選択	2	3	◎		〇	〇		
LECRS201異文化理解１	選択	2	2	◎			〇		
LECRS202異文化理解２	選択	2	2	◎			〇		
LFCIN301異文化理解３	選択	2	3	◎			〇		
LFCIN302異文化理解４	選択	2	3	◎			〇		
LXCRS301哲学（専）１	選択	2	3	◎		〇			
LXCRS302哲学（専）２	選択	2	3	◎		〇			
LECRS313言語学Ａ	選択	2	3	◎		〇			
LECRS314言語学Ｂ	選択	2	3	◎		〇			
LFLAT301ラテン語１Ａ	選択	2	3	◎			〇		
LFLAT302ラテン語１Ｂ	選択	2	3	◎			〇		
LFLAT303ラテン語２Ａ	選択	2	3	◎			〇		
LFLAT304ラテン語２Ｂ	選択	2	3	◎			〇		
LECRS315小説技法Ａ	選択	2	3			◎	〇		
LECRS316小説技法Ｂ	選択	2	3			◎	〇		
LECRS317翻訳論Ａ	選択	2	3			◎	〇		
LECRS318翻訳論Ｂ	選択	2	3			◎	〇		
LECRS319Practical Career English A	選択	2	3			◎	〇		
LECRS320Practical Career English B	選択	2	3			◎	〇		
LAGEN105文化史Ａ	選択	2	3	◎		〇			
LAGEN106文化史Ｂ	選択	2	3	◎		〇			
LAGEN107民俗学Ａ	選択	2	3	◎	〇	〇			
LAGEN108民俗学Ｂ	選択	2	3	◎	〇	〇			
文学部他学科の学科科目									
LEBRL101イギリス文学入門	選択	2	1	◎			〇		
LEBRL201イギリス文学概論Ａ	選択	2	2	◎			〇		
LEBRL202イギリス文学概論Ｂ	選択	2	2	◎			〇		
LEAML101アメリカ文学入門	選択	2	1	◎			〇		
LEAML201アメリカ文学概論Ａ	選択	2	2	◎			〇		
LEAML202アメリカ文学概論Ｂ	選択	2	2	◎			〇		
LELIN101英語学入門	選択	2	1	◎			〇		
LELIN201英語学概論Ａ	選択	2	2	◎	〇				
LELIN202英語学概論Ｂ	選択	2	2	◎	〇				
LEBES106英文法Ａ	選択	1	1			◎	〇		
LEBES107英文法Ｂ	選択	1	1			◎	〇		
LEBES108Writing A	選択	1	1			◎	〇		
LEBES109Writing B	選択	1	1			◎	〇		
LEAES101英語ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝＡ	選択	2	1			◎	〇		
LEAES102英語ｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝＢ	選択	2	1			◎	〇		
LEAES103英語文章読解法Ａ	選択	2	1			◎	〇		
LEAES104英語文章読解法Ｂ	選択	2	1			◎	〇		
LEAES105英語文章作成法Ａ	選択	2	1			◎	〇		
LEAES106英語文章作成法Ｂ	選択	2	1			◎	〇		
LEBRL301イギリス詩Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL302イギリス詩Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL303イギリス小説Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL304イギリス小説Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL305イギリス演劇Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL306イギリス演劇Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL307イギリス文学史Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL308イギリス文学史Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL309イギリス文学批評Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL310イギリス文学批評Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL311イギリス文学特講Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL312イギリス文学特講Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL313イギリス文化研究Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LEBRL314イギリス文化研究Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LEAML301アメリカ詩Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LEAML302アメリカ詩Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LEAML303アメリカ小説Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LEAML304アメリカ小説Ｂ	選択	2	3	〇	◎				

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と 創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく 身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目＝○					
LEAML305アメリカ演劇Ａ	選択	2	3	○	◎				
LEAML306アメリカ演劇Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LEAML307アメリカ文学史Ａ	選択	2	3	○	◎				
LEAML308アメリカ文学史Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LEAML309アメリカ文学批評Ａ	選択	2	3		◎	○			
LEAML310アメリカ文学批評Ｂ	選択	2	3		◎	○			
LEAML311アメリカ文学特講Ａ	選択	2	3		◎			○	
LEAML312アメリカ文学特講Ｂ	選択	2	3		◎			○	
LEAML313アメリカ文化研究Ａ	選択	2	3		◎			○	
LEAML314アメリカ文化研究Ｂ	選択	2	3		◎			○	
LELIN301音声学Ａ	選択	2	3	○	◎				
LELIN302音声学B	選択	2	3	○	◎				
LELIN303英語史A	選択	2	3	○	◎				
LELIN304英語史Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LELIN305音韻論Ａ	選択	2	3	○	◎				
LELIN306音韻論Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LELIN307統語論Ａ	選択	2	3	○	◎				
LELIN308統語論Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LELIN309意味論Ａ	選択	2	3	○	◎				
LELIN310意味論Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LELIN311語用論Ａ	選択	2	3	○	◎				
LELIN312語用論Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LELIN313心理言語学Ａ	選択	2	3	○	◎				
LELIN314心理言語学Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LELIN315社会言語学Ａ	選択	2	3	○	◎				
LELIN316社会言語学Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LELIN317英語学特講Ａ	選択	2	3	○	◎				
LELIN318英語学特講Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LECRS301英米宗教文学Ａ	選択	2	3	○	◎				
LECRS302英米宗教文学Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LECRS303英語聖書Ａ	選択	2	3	◎	○				
LECRS304英語聖書Ｂ	選択	2	3	◎	○				
LECRS305英米児童文学Ａ	選択	2	3	○	◎				
LECRS306英米児童文学Ｂ	選択	2	3	○	◎				
LECRS307イギリス研究Ａ	選択	2	3		◎		○		
LECRS308イギリス研究Ｂ	選択	2	3		◎		○		
LECRS309アメリカ研究Ａ	選択	2	3		◎		○		
LECRS310アメリカ研究Ｂ	選択	2	3		◎		○		
LECRS311Intercultural Communication A	選択	2	3			◎			○
LECRS312Intercultural Communication B	選択	2	3			◎			○
LEAES301Business English A	選択	2	3			◎			○
LEAES302Business English B	選択	2	3			◎			○
LEAES303翻訳技法Ａ	選択	2	3			◎			○
LEAES304翻訳技法Ｂ	選択	2	3			◎			○
LEAES305通訳技法Ａ	選択	2	3			◎			○
LEAES306通訳技法Ｂ	選択	2	3			◎			○
LEETE203TESOL Seminar（短期留学）	選択	2	2	○			◎		
LFEFB101フランス学概説Ａ	選択	2	1	◎			○		
LFEFB102フランス学概説Ｂ	選択	2	1	◎			○		
LFEFB103フランスの歴史Ａ	選択	2	1	◎			○		
LFEFB104フランスの歴史Ｂ	選択	2	1	◎			○		
LFEFB105フランス文化研究Ａ	選択	2	1	◎			○		
LFEFB106フランス文化研究Ｂ	選択	2	1	◎			○		
LFEFB201フランス文学史Ａ	選択	2	2	◎			○		
LFEFB202フランス文学史Ｂ	選択	2	2	◎			○		
LFELF103Exercices Pratiques １Ａ	選択	1	1			◎			○
LFELF104Exercices Pratiques １Ｂ	選択	1	1			◎			○
LFELF201Exercices Pratiques ２Ａ	選択	1	2			◎			○
LFELF202Exercices Pratiques ２Ｂ	選択	1	2			◎			○
LFELF303Exercices Pratiques ３Ａ	選択	1	3			◎			○
LFELF304Exercices Pratiques ３Ｂ	選択	1	3			◎			○
LFELF305Exercices Pratiques ４Ａ	選択	1	3			◎			○
LFELF306Exercices Pratiques ４Ｂ	選択	1	3			◎			○
LFELF307フランス語表現法２Ａ	選択	1	3			◎			○
LFELF308フランス語表現法２Ｂ	選択	1	3			◎			○
LFELF309仏会話１Ａ	選択	1	3			◎			○
LFELF310仏会話１Ｂ	選択	1	3			◎			○
LFELF311仏会話２Ａ	選択	1	3			◎			○
LFELF312仏会話２Ｂ	選択	1	3			◎			○
LFELF313実用フランス語Ａ	選択	1	3			◎			○
LFELF314実用フランス語Ｂ	選択	1	3			◎			○
LFELF315時事フランス語Ａ	選択	1	3			◎			○
LFELF316時事フランス語Ｂ	選択	1	3				◎		○
LFELF317観光フランス語Ａ	選択	1	3				◎		○
LFELF318観光フランス語Ｂ	選択	1	3				◎		○
LFELF105検定対策フランス語１Ａ	選択	1	1			◎			○
LFELF106検定対策フランス語１Ｂ	選択	1	1			◎			○
LFELF107検定対策フランス語２Ａ	選択	1	1			◎			○
LFELF108検定対策フランス語２Ｂ	選択	1	1			◎			○
LFELF319検定対策フランス語３Ａ	選択	1	3			◎			○
LFELF320検定対策フランス語３Ｂ	選択	1	3			◎			○
LFELF321Préparation au DELF Ａ	選択	1	3			◎			○

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目＝〇					
LFELF322Préparation au DELF Ｂ	選択	1	3			◎			〇
LFELF323Préparation au TCF Ａ	選択	1	3			◎			〇
LFELF324Préparation au TCF Ｂ	選択	1	3			◎			〇
LFELF109Communication niveau avancé	選択	2	1				◎		〇
LFFAL301フランス語の諸相Ａ	選択	2	3			◎	〇		
LFFAL302フランス語の諸相Ｂ	選択	2	3			◎	〇		
LFFAL303フランス語史Ａ	選択	2	3		◎	〇			
LFFAL304フランス語史Ｂ	選択	2	3		◎	〇			
LFFAL305現代翻訳論Ａ	選択	2	3		◎	〇			
LFFAL306現代翻訳論Ｂ	選択	2	3		◎	〇			
LFFAL307中世･ルネサンス文学Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAL308中世･ルネサンス文学Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAL309１７・１８世紀文学Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAL310１７・１８世紀文学Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAL311近現代の文学Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAL312近現代の文学Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAL313詩と演劇Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAL314詩と演劇Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAL315小説と批評Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAL316小説と批評Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAL317フランス学特講１Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAL318フランス学特講１Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP301歴史記述論Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP302歴史記述論Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP303フランス現代史Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP304フランス現代史Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP305日仏比較論Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP306日仏比較論Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP307フランコフォニー研究Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP308フランコフォニー研究Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP309フランス社会の諸相Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP310フランス社会の諸相Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP311現代思想Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP312現代思想Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP313哲学と人間Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP314哲学と人間Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP315精神分析入門Ａ	選択	2	3	◎			〇		
LFFAP316精神分析入門Ｂ	選択	2	3	◎			〇		
LFFAP317フランス学特講２Ａ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAP318フランス学特講２Ｂ	選択	2	3		◎		〇		
LFFAA301現代芸術Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA302現代芸術Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA303映画芸術Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA304映画芸術Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA305写真芸術Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA306写真芸術Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA307舞台表現論Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA308舞台表現論Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA309身体と芸術Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA310身体と芸術Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA311フランス美術Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA312フランス美術Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA313表象メディア論Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA314表象メディア論Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA315フランスの音楽Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA316フランスの音楽Ｂ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA317フランス学特講３Ａ	選択	2	3	〇	◎				
LFFAA318フランス学特講３Ｂ	選択	2	3	〇	◎				

※卒業要件外科目は、学科のディプロマ・ポリシーに基づく「身につく能力」との関連がないため記載していません。

芸術学科

（履修の方法）

指導の方針――価値の多様化が―芸術にあっても―とどまるところを知らぬげに見える今日、主体的な享受をすすめて創造者と享受者一般との有効・適切な橋渡しに任じる人材が育つよう、本学科は――

(1) 専門性を深める個別的芸術学の研究・教育を主軸とし、

(2) そのなかで、個別を包みこむ基本的な問題意識をも培い、

(3) 加えて可能な限り学際的な視野をあわせて与えることにつとめたい。

さらに研究者の進路をめざす者には、そのために必要な基礎となるものを修得させる。

芸術が術 ars であるからには、その ars に触れる上で不可欠な実習は行うが、実技者養成を目的とする実技指導は行わない。

（所属コースについて）

本学科は、音楽学コース、映像芸術学コース、美術史学コース、芸術メディア論コース、演劇身体表現コース、総合芸術学コースの６コースによって構成される。学生は全員、１年次の秋学期の定められた期間に２年次以降どのコースに属したいか希望を提出する。コースの定員は総合芸術学コースを除き各約 30 名とし、定員を超過した場合は所定の審査に基づき決定される。なお、期限までにコース希望を提出しなかった場合には本学科がコースを指定するので注意すること。

また、各コースで１年次配当の必修科目が複数設定されているため、２年次からの所属コースを見越して、１年次から履修計画をたてることが望ましい。

所属コースの変更は、原則として２年次の秋学期の定められた期間に、定められた条件を満たす場合に限って申請することができ、所定の審査の上、決定される。なお、例外的に３年次の秋学期の定められた期間に、定められた条件を満たす場合に限り、申請を受け付ける場合がある。その場合も、決定は所定の審査を経てなされる。

［1］卒業までに必要な単位数

部門			単位群	卒業に必要な単位数	
明治学院共通科目	必修・選択必修	コア科目「キリスト教の基礎 A・B」	Ⅰ	2 科目 4 単位	
		言語系科目群 「英語コミュニケーション 1A・1B・2A・2B」	Ⅱ	4 科目 4 単位 （注１）	
		言語系科目群 「〇〇語 1A・1B・2A・2B」 （フランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、韓国語から１言語選択）	Ⅲ	4 科目 4 単位 （注１）	
		言語系科目群 「〇〇語研究 1A・1B・2A・2B」から 2 科目 （「〇〇語 1A・1B・2A・2B と同一言語を選択）	Ⅳ	2 科目 4 単位 （注１）	
		情報処理系科目群 「コンピュータリテラシー１・2」のいずれか１科目	Ⅴ	1 科目 2 単位 （注２）	
	選択		Ⅵ	8 単位（注３）	計 26 単位
	明治学院共通科目・学科科目より選択		Ⅶ	24 単位（注４）	計 24 単位
学科科目（注５）	必修・選択必修	音楽学コース	Ⅷ	44 単位	
		映像芸術学コース		46 単位	
		美術史学コース		46 単位	
		芸術メディア論コース		44 単位	
		演劇身体表現コース		44 単位	
		総合芸術学コース		32 単位	
	選択（注６）	音楽学コース	Ⅸ	30 単位（注７）	
		映像芸術学コース		28 単位（注７）	
		美術史学コース		28 単位（注７）	
		芸術メディア論コース		30 単位（注７）	
		演劇身体表現コース		30 単位（注７）	
		総合芸術学コース		42 単位（注７）	計 74 単位
				合　計	124 単位

（注１）必修の英語（４単位）および選択必修のフランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、韓国語（同一言語で８単位）以外の外国語を修得した場合は、ⅥまたはⅦの単位に算入される。
なお、留学生については、日本語４単位（日本語１Ａ・１Ｂ・２Ａ・２Ｂ）とフランス語、ドイツ語、中国語から１言語で８単位を修得すること。「英語コミュニケーション」については、スペイン語、ロシア語、韓国語と同様に選択科目として履修可能とする。
選択必修科目として選んだ言語を大学入学以前に既に学習している場合は、必ず教務課窓口に相談すること。相談の結果、許可された者は、「〇〇語」１Ａ・１Ｂ・２Ａ・２Ｂではなく「〇〇語」３Ａ・３Ｂ・４Ａ・４Ｂを履修することになる。また、「〇〇語」３Ａ・３Ｂ・４Ａ・４Ｂを履修した者は、２年次に「〇〇語研究」３Ａ・３Ｂ・４Ａ・４Ｂから２科目４単位を修得すること。
（注２）「コンピュータリテラシー研究１Ａ・１Ｂ・２Ａ・２Ｂ」のうち１科目２単位を修得することにより、必修の２単位に振り替えることもできる。
（注３）Ⅵの選択８単位は、明治学院共通科目から修得すること。９単位以上の単位は、Ⅶの単位として扱われる。
（注４）Ⅶは、明治学院共通科目、芸術学科科目（文学部共通科目を含む）、文学部他学科の学科科目から２４単位修得すること。ただし、〔７〕文学部他学科の学科科目の項に記載の科目を除く。
（注５）必修科目、選択必修科目、選択科目については、〔６〕学科科目の項を参照すること。
（注６）Ⅸの学科科目（選択科目）中に、文学部共通科目と文学部他学科の学科科目を合わせて１６単位まで含めることができる。ただし、〔７〕文学部他学科の学科科目の項に記載の科目を除く。なお、文学部共通科目と文学部他学科の学科科目を合わせて１７単位以上修得した場合、１７単位めからはⅦの単位として扱われる。

（注７）《音楽学コース・芸術メディア論コース・演劇身体表現コース》
Ⅸの学科科目（選択科目）は、３０単位修得すること。３１単位以上の単位は、Ⅶの単位として扱われる。
《映像芸術学コース・美術史学コース》
Ⅸの学科科目（選択科目）は、２８単位修得すること。２９単位以上の単位は、Ⅶの単位として扱われる。
《総合芸術学コース》
Ⅸの学科科目（選択科目）は、４２単位修得すること。４３単位以上の単位は、Ⅶの単位として扱われる。

ディプロマシー・ポリシーを観点とした卒業要件

1．所定の期間在学し、「卒業までに必要な単位数（124 単位）」を修得する。
2．人類の芸術・表現活動の歴史および、文化・社会との関わりに関する基礎的な教養を身につけるために、「明治学院共通科目」「必修科目（コース必修科目・各コース共通科目）」を履修して必要単位を修得する。
3．芸術に関する総合的な知識を獲得した上で、自らが専攻する個別専門領域における体系的な知識、あるいは領域横断的な知識を身につけ、既存概念にとらわれない幅広い知的好奇心や柔軟な感性を養い、あらたな問題提起とその解決を提案する分析力および構想力、またそれを効果的に伝達する表現能力を身につけるために、「コース必修科目」「コース選択必修科目」「コース選択科目」を履修して必要単位を修得する。

《音楽学コース 学科科目》

	種別	ナンバリング		科目名	単位	開講	年次	備考
Ⅷ必修科目	コース共通	LAART	101・102	芸術学概論Ｐ・Ｓ	２・２	学期	１	卒業論文と卒論ゼミナールは一度履修すると、単位を修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。
	音楽学コース	LAMUS	101・102	西洋音楽通史Ｐ・Ｓ	２・２	学期	１	
		LAMUS	103	音楽概論	２	学期	１	
		LAMUS	104・105	音楽理論演習１Ａ・Ｂ	１・１	学期	１	
		LAMUS	201	音楽学基礎演習	２	通年	２	
		LAMUS	202	音楽学資料講読	２	通年	２	
		LAMUS	203	~~音楽理論演習２Ａ~~音楽理論演習２	１	学期	２	
		LAMUS	301・302	音楽学研究１Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	
		LAMUS	303・304	音楽学研究２Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	
		LAMUS	305	音楽分析演習	２	通年	３	
		LAGRA	401	卒業論文	６	通年	４	
		LAGRA	402	卒論ゼミナール	２	通年	４	
	必修科目　合　計				35単位			
Ⅷ選択必修科目	音　Ⓐ	LAFIL	101・102	映画史通説Ｐ・Ｓ	２・２	学期	１	４科目８単位は必修 ５科目めからは選択１
		LAFAH	101・102	西洋美術通史Ｐ・Ｓ	２・２	学期	１	
		LAFAH	103・104	日本・東洋美術通史Ｐ・Ｓ	２・２	学期	１	
		LAMED	101・102	メディア･コミュニケーション論序説Ｐ・Ｓ	２・２	学期	１	
		LATHE	103・104	身体表現論概説Ｐ・Ｓ	２・２	学期	１	
	音　Ⓑ	LAMUS	207・208	楽書演習Ａ・Ｂ	１・１	学期	３	１科目１単位は必修 ２科目めからは選択１
	選択必修科目　合　計				9単位			
Ⅸ選択科目	選択１	音楽学コース関係科目						選択科目30単位に、「選択２」分野の単位を16単位まで含めることができる。 規定単位以上修得した場合は、「Ⅶ　明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。
		映像芸術学コース関係科目						
		美術史学コース関係科目						
		芸術メディア論コース関係科目						
		演劇身体表現コース関係科目						
		総合芸術学コース関係科目						
		選択科目１　小　計			14～30単位			
	選択２	文学部共通科目						
		文学部他学科の学科科目						
		選択科目２　小　計			16単位まで			
	選択科目　合　計				30単位			
学科科目〔必修科目･選択必修科目・選択科目〕総計					74単位			

Ⅶ　明治学院共通科目および学科科目	24単位	

《映像芸術学コース 学科科目》

	種別	ナンバリング		科目名	単位	開講	年次	備考
Ⅷ必修科目	コース共通	LAART	101・102	芸術学概論Ｐ・Ｓ	２・２	学期	１	卒業論文と卒論ゼミナールは一度履修すると、単位を修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。
	映　像 芸術学 コース	LAFIL	101・102	映画史通説Ｐ・Ｓ	２・２	学期	１	
		LAFIL	103・104	映像基礎研究Ｐ・Ｓ	２・２	学期	１	
		LAFIL	301	映像理論演習	４	通年	３	
		LAFIL	302・303	映像学文献講読Ａ・Ｂ	１・１	学期	３	
		LAGRA	401	卒業論文	６	通年	４	
		LAGRA	402	卒論ゼミナール	２	通年	４	
	必修科目　合　計				26単位			
Ⅷ選択必修科目	映　Ⓐ	LAMUS	101・102	西洋音楽通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	４科目８単位は必修 ５科目めからは選択１
		LAFAH	101・102	西洋美術通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	
		LAFAH	103・104	日本・東洋美術通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	
		LAMED	101・102	メディア･コミュニケーション論序説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	
		LATHE	103・104	身体表現論概説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	
	映　Ⓑ	LAFIL	201	映像芸術学演習１	２	通年	２	２科目４単位は必修 ３科目めからは選択１
		LAFIL	202	映像芸術学演習２	２	通年	２	
		LAFIL	203	映像芸術学演習３	２	通年	２	
	映　Ⓒ	LAFIL	304	映画史演習	４	通年	３	１科目４単位は必修 ２科目めからは選択１
		LAFIL	305	映像文化研究	４	通年	３	
	映　Ⓓ	LAFIL	306・307	映画史特講１Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	２科目４単位は必修 ３科目めからは選択１
		LAFIL	308・309	映画史特講２Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	
	選択必修科目　合　計				20単位			
Ⅸ選択科目	選択１	音楽学コース関係科目						選択科目28単位に、「選択２」分野の単位を16単位まで含めることができる。 規定単位以上修得した場合は、「Ⅶ　明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。
		映像芸術学コース関係科目						
		美術史学コース関係科目						
		芸術メディア論コース関係科目						
		演劇身体表現コース関係科目						
		総合芸術学コース関係科目						
		選択科目１ 小　計			12～28単位			
	選択２	文学部共通科目						
		文学部他学科の学科科目						
		選択科目２ 小　計			16単位まで			
	選択科目　合　計				28単位			
学科科目〔必修科目･選択必修科目・選択科目〕総計					74単位			

Ⅶ　明治学院共通科目および学科科目	24単位	

《美術史学コース 学科科目》

	種別	ナンバリング		科目名	単位	開講	年次	備考
Ⅷ必修科目	コース共通	LAART	101・102	芸術学概論Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	卒業論文と卒論ゼミナールは一度履修すると、単位を修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。
	美術史学コース	LAFAH	101・102	西洋美術通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	
		LAFAH	103・104	日本･東洋美術通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	
		LAFAH	201・202	西洋美術史資料講読Ａ・Ｂ	１・１	学期	２	
		LAFAH	203・204	日本・東洋美術史資料講読Ａ・Ｂ	１・１	学期	２	
		LAGRA	401	卒業論文	６	通年	４	
		LAGRA	402	卒論ゼミナール	２	通年	４	
	必修科目　合計				24単位			
Ⅷ選択必修科目	美　Ⓐ	LAMUS	101・102	西洋音楽通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	２科目４単位は必修
		LAFIL	101・102	映画史通説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	
		LAMED	101・102	メディア･コミュニケーション論序説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	
		LATHE	103・104	身体表現論概説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	１	
	美　Ⓑ	LAFAH	301・302	西洋美術史研究Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	４科目８単位は必修 ５科目めからは選択１
		LAFAH	205・206	美術史の理論と方法Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	
		LAFAH	303・304	西洋美術史特講１Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	
		LAFAH	305・306	西洋美術史特講２Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	
	美　Ⓒ	LAFAH	307・308	日本・東洋美術史研究Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	４科目８単位は必修 ５科目めからは選択１
		LAFAH	309・310	日本美術史特講１Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	
		LAFAH	311・312	日本美術史特講２Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	
		LAFAH	207・208	日本近代美術史Ａ・Ｂ	２・２	学期	３	
	美　Ⓓ	LAFAH	313	西洋美術史演習	２	通年	３	１科目２単位は必修、 ２科目めからは選択１
		LAFAH	314	日本・東洋美術史演習	２	通年	３	
	選択必修科目　合　計				22単位			
Ⅸ選択科目	選択１	音楽学コース関係科目						選択科目28単位に、「選択２」分野の単位を16単位まで含めることができる。 規定単位以上修得した場合は、「Ⅶ　明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。
		映像芸術学コース関係科目						
		美術史学コース関係科目						
		芸術メディア論コース関係科目						
		演劇身体表現コース関係科目						
		総合芸術学コース関係科目						
		選択科目１　小計			12～28単位			
	選択２	文学部共通科目						
		文学部他学科の学科科目						
		選択科目２　小計			16単位まで			
	選択科目　合　計				28単位			
学科科目〔必修科目・選択必修科目・選択科目〕総計					74単位			

Ⅶ　明治学院共通科目および学科科目	24単位	

《芸術メディア論コース 学科科目》

	種別	ナンバリング		科目名	単位	開講	年次	備考
Ⅷ必修科目	コース共通	LAART	101・102	芸術学概論Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	卒業論文と卒論ゼミナールは一度履修すると、単位を修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。
	芸術メディア論コース	LAMED	101・102	メディア・コミュニケーション論序説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
		LAMED	103・104	メディア文化社会論序説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
		LAMED	201・202	芸術メディア論２年次演習１Ａ･Ｂ	１・１	学期	2	
		LAMED	203・204	芸術メディア論２年次演習２Ａ･Ｂ	１・１	学期	2	
		LAGRA	401	卒業論文	6	通年	4	
		LAGRA	402	卒論ゼミナール	2	通年	4	
	必修科目　合計				24単位			
Ⅷ選択必修科目	メ Ⓐ	LAMUS	101・102	西洋音楽通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	４科目８単位は必修、５科目めからは選択１
		LAFIL	101・102	映画史通説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
		LAFAH	101・102	西洋美術通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
		LAFAH	103・104	日本・東洋美術通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
		LATHE	103・104	身体表現論概説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
	メ Ⓑ	LAMED	301	芸術メディア論３年次演習１	2	通年	3	１科目２単位は必修、２科目以上の履修は不可
		LAMED	302	芸術メディア論３年次演習２	2	通年	3	
	メ Ⓒ	LAMED	303・304	芸術メディア論文献講読１Ａ･Ｂ	１・１	学期	3	２科目２単位は必修、３科目めからは選択１
		LAMED	305・306	芸術メディア論文献講読２Ａ･Ｂ	１・１	学期	3	
	メ Ⓓ	LAMED	307・308	デジタルアート論Ａ･Ｂ	２・２	学期	3	４科目８単位は必修、５科目めからは選択１
		LAMED	309・310	メディア実践論Ａ･Ｂ	２・２	学期	3	
		LAMED	311・312	ポピュラーカルチャー論Ａ･Ｂ	２・２	学期	3	
		LAMED	313・314	建築・都市空間論Ａ･Ｂ	２・２	学期	3	
		LAMED	315・316	デザイン論Ａ･Ｂ	２・２	学期	3	
		LAMED	317・318	メディア産業論Ａ･Ｂ	２・２	学期	3	
	選択必修科目　合　計				20単位			
Ⅸ選択科目	選択１	音楽学コース関係科目						選択科目30単位に、「選択２」分野の単位を16単位まで含めることができる。 規定単位以上修得した場合は、「Ⅶ　明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。
		映像芸術学コース関係科目						
		美術史学コース関係科目						
		芸術メディア論コース関係科目						
		演劇身体表現コース関係科目						
		総合芸術学コース関係科目						
		選択科目１ 小　計			14～30単位			
	選択２	文学部共通科目						
		文学部他学科の学科科目						
		選択科目２ 小　計			16単位まで			
	選択科目　合　計				30単位			
学科科目〔必修科目・選択必修科目・選択科目〕総計					74単位			

Ⅶ　明治学院共通科目および学科科目	24単位	

《演劇身体表現コース 学科科目》

	種別	ナンバリング		科目名	単位	開講	年次	備考
Ⅷ必修科目	コース共通	LAART	101・102	芸術学概論Ｐ・Ｓ	２・２	学期	1	卒業論文と卒論ゼミナールは一度履修すると、単位を修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。
	演劇身体表現コース	LATHE	101・102	演劇概論Ｐ・Ｓ	２・２	学期	1	
		LATHE	103・104	身体表現論概説Ｐ・Ｓ	２・２	学期	1	
		LATHE	201	演劇身体表現論２年次演習１	2	通年	2	
		LATHE	202	演劇身体表現論２年次演習２	2	通年	2	
		LAGRA	401	卒業論文	6	通年	4	
		LAGRA	402	卒論ゼミナール	2	通年	4	
	必修科目　合計				24単位			
Ⅷ選択必修科目	演 Ⓐ	LAMUS	101・102	西洋音楽通史Ｐ・Ｓ	２・２	学期	1	４科目８単位は必修、５科目めからは選択１
		LAFIL	101・102	映画史通説Ｐ・Ｓ	２・２	学期	1	
		LAFAH	101・102	西洋美術通史Ｐ・Ｓ	２・２	学期	1	
		LAFAH	103・104	日本・東洋美術通史Ｐ・Ｓ	２・２	学期	1	
		LAMED	101・102	メディア･コミュニケーション論序説Ｐ・Ｓ	２・２	学期	1	
	演 Ⓑ	LATHE	301	演劇身体表現論３年次演習１	2	通年	3	１科目２単位は必修、２科目めからは選択１
		LATHE	302	演劇身体表現論３年次演習２	2	通年	3	
	演 Ⓒ	LATHE	303・304	演劇身体表現文献講読１Ａ・Ｂ	１・１	学期	3	２科目２単位は必修、３科目めからは選択１
		LATHE	305・306	演劇身体表現文献講読２Ａ・Ｂ	１・１	学期	3	
	演 Ⓓ	LATHE	307・308	西洋演劇研究Ａ・Ｂ	２・２	学期	3	４科目８単位は必修、５科目めからは選択１
		LATHE	309・310	日本演劇研究Ａ・Ｂ	２・２	学期	3	
		LATHE	311・312	演劇学Ａ・Ｂ	２・２	学期	3	
		LATHE	313・314	バレエ研究Ａ・Ｂ	２・２	学期	3	
	選択必修科目　合　計				20単位			
Ⅸ選択科目	選択１	音楽学コース関係科目						選択科目30単位に、「選択２」分野の単位を16単位まで含めることができる。 規定単位以上修得した場合は、「Ⅶ　明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。
		映像芸術学コース関係科目						
		美術史学コース関係科目						
		芸術メディア論コース関係科目						
		演劇身体表現コース関係科目						
		総合芸術学コース関係科目						
		選択科目１　小　計			14～30単位			
	選択２	文学部共通科目						
		文学部他学科の学科科目						
		選択科目２　小　計			16単位まで			
	選択科目　合　計				30単位			
学科科目〔必修科目・選択必修科目・選択科目〕総計					74単位			

Ⅶ　明治学院共通科目および学科科目	24単位	

《総合芸術学コース 学科科目》

	種別	ナンバリング		科目名	単位	開講	年次	備考
Ⅷ必修科目	コース共通	LAART	101・102	芸術学概論Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
	総合芸術学コース	LACOM	301・302	キリスト教芸術Ｐ･Ｓ	２・２	学期	3	
	必修科目　合計				８単位			
Ⅷ選択必修科目	総　Ⓐ	LAMUS	101・102	西洋音楽通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	６科目 12 単位は必修、７科目めからは選択１
		LAFIL	101・102	映画史通説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
		LAFAH	101・102	西洋美術通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
		LAFAH	103・104	日本・東洋美術通史Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
		LAMED	101・102	メディア･コミュニケーション論序説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
		LATHE	103・104	身体表現論概説Ｐ･Ｓ	２・２	学期	1	
	総　Ⓑ	LACOM	303・304	思想と芸術Ａ･Ｂ	２・２	学期	3	６科目12単位は必修 ７科目めからは選択１
		LACOM	305・306	現代社会と芸術１Ａ･Ｂ	２・２	学期	3	
		LACOM	307・308	現代社会と芸術２Ａ･Ｂ	２・２	学期	3	
		LACOM	309・310	現代社会と芸術３Ａ･Ｂ	２・２	学期	3	
		LACOM	311	芸術表現論	2	学期	3	
		LACOM	312	アートマネジメント論	2	学期	3	
	選択必修科目　合　計				24単位			
Ⅸ選択科目	選択１	音楽学コース関係科目※						選択科目42単位に、「選択２」分野の単位を16単位まで含めることができる。 規定単位以上修得した場合は、「Ⅶ 明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。 ※卒業論文と卒論ゼミナールを除く。
		映像芸術学コース関係科目※						
		美術史学コース関係科目※						
		芸術メディア論コース関係科目※						
		演劇身体表現コース関係科目※						
		総合芸術学コース関連科目						
		選択科目１ 小　計			26～42単位			
	選択２	文学部共通科目						
		文学部他学科の学科科目						
		選択科目２ 小　計			16単位まで			
	選択科目　合　計				42単位			
学科科目〔必修科目・選択必修科目・選択科目〕総計					74単位			

Ⅶ　明治学院共通科目および学科科目	24単位	

〔２〕年間履修制限単位数等について

１年間に履修できる単位数は下表のとおりである。

年　　次	単　　位	備　　考
第１年次	４８　単　位	
第２年次	４８　単　位	
第３年次	４８　単　位	学芸員課程関係科目中必修科目11科目を含まない。
第４年次以　上	４８　単　位	

・１年間に履修できる単位数の上限は、48単位とする。ただし、「TESOL Seminar（短期留学）」の単位は、この中に含めない。

・編入生および転学科生の履修方法は個々の事情によって異なるので、年度始めに教務課の指導を受けること。特に、転学科生の場合、新学科では転学科をしたことによる履修における特別な処置を約束するものではないことを承知しておくこと。従って、場合によっては、４年間では卒業できないこと、白金校舎と横浜校舎両方の科目の履修の必要から自分の希望するような履修ができないこと、などが起こり得る。

〔３〕履修中止除外科目について

「学修の手引き」12ページ記載の「７．履修中止制度」において、履修中止ができない科目（a）～（g）のうち、（a）必修のうちの芸術学科必修科目と（g）各学科において定めている履修中止の申請ができない科目は以下のとおりである。これらの科目は所属するコースに関係なく中止できない。

各コース共通科目	LAART	101・102	芸術学概論Ｐ・Ｓ			
音楽学コース関係科目	LAMUS	101・102	西洋音楽通史Ｐ・Ｓ	LAMUS	103	音楽概論
	LAMUS	104・105	音楽理論演習１Ａ・Ｂ	LAMUS	201	音楽学基礎演習
	LAMUS	202	音楽学資料講読	LAMUS	203	~~音楽理論演習２Ａ~~音楽理論演習２
	LAMUS	301・302	音楽学研究１Ａ・Ｂ	LAMUS	303・304	音楽学研究２Ａ・Ｂ
	LAMUS	305	音楽分析演習	LAGRA	401	卒業論文
	LAGRA	402	卒論ゼミナール			
映像芸術学コース関係科目	LAFIL	101・102	映画史通説Ｐ・Ｓ	LAFIL	103・104	映像基礎研究Ｐ・Ｓ
	LAFIL	301	映像理論演習	LAFIL	302・303	映像学文献講読Ａ・Ｂ
	LAGRA	401	卒業論文	LAGRA	402	卒論ゼミナール
美術史学コース関係科目	LAFAH	101・102	西洋美術通史Ｐ・Ｓ	LAFAH	103・104	日本・東洋美術通史Ｐ・Ｓ
	LAFAH	201・202	西洋美術史資料講読Ａ・Ｂ	LAFAH	203・204	日本･東洋美術史資料講読Ａ・Ｂ
	LAGRA	401	卒業論文	LAGRA	402	卒論ゼミナール
芸術メディア論コース関係科目	LAMED	101・102	メディア・コミュニケーション論序説Ｐ・Ｓ	LAMED	103・104	メディア文化社会論序説Ｐ・Ｓ
	LAMED	201・202	芸術メディア論２年次演習１Ａ・Ｂ	LAMED	203・204	芸術メディア論２年次演習２Ａ・Ｂ
	LAGRA	401	卒業論文	LAGRA	402	卒論ゼミナール
演劇身体表現コース関係科目	LATHE	101・102	演劇概論Ｐ・Ｓ	LATHE	103・104	身体表現論概説Ｐ・Ｓ
	LATHE	201	演劇身体表現論２年次演習１	LATHE	202	演劇身体表現論２年次演習２
	LAGRA	401	卒業論文	LAGRA	402	卒論ゼミナール
総合芸術学コース関係科目	LACOM	301・302	キリスト教芸術Ｐ・Ｓ			

学芸員課程関係科目	LACUR	401	博物館実習	

〔４〕明治学院共通科目

『明治学院共通科目履修の方法』を参照のこと。

〔５〕再試験

卒業年次生のうち、卒業に必要な単位数を学科科目１科目（卒業論文は除く）の範囲内で満たすことができなかった学生につき、当該年度のＤ評価の科目を対象として再試験の機会を設ける場合がある。該当者の発表は３月の卒業者発表と同時に行い、試験は３月に実施する。ただし、９月卒業申請者に対する再試験は実施しない。

〔６〕学科科目　（Ⅷ）必修・選択必修科目、（Ⅸ）選択科目

- 卒業論文、卒論ゼミナール、演習（音楽理論演習１Ａ･Ｂ、~~音楽理論演習２Ａ･Ｂ~~音楽理論演習２、音響表現論演習Ａ･Ｂ、楽書演習Ａ･Ｂ、芸術メディア論２年次演習１Ａ･Ｂ、芸術メディア論２年次演習２Ａ･Ｂを除く）、および音楽学資料講読、映像文化研究、博物館実習は通年科目、それ以外はセメスター科目である。
- ※を付した科目は必修科目、音Ⓐ～Ⓑ、映Ⓐ～Ⓓ、美Ⓐ～Ⓓ、メⒶ～Ⓓ、演Ⓐ～Ⓓ、総Ⓐ～Ⓑ類は選択必修科目である。
- Ｐ、Ｓを付した科目は、基幹となる通史または概説科目であり、両科目必修に指定されているコースを選択する場合はもちろん、そうでない場合も、ＰとＳ両方を修得することが強く望まれる。
- Ａ、Ｂを付した科目は、コースまたは課程によって両科目必修に指定されていない限り、片方のみの修得が可能である。しかし、Ａ・Ｂを続けて修得することが教育効果上特に望ましい場合があるので、担当教員の指導に注意すること。
- Ⅷ（必修科目（選択必修科目を含む）部門）を音楽学コース・芸術メディア論コース・演劇身体表現コースは44単位、映像芸術学コース・美術史学コースは46単位、総合芸術学コースは32単位、Ⅸ（選択科目部門）を音楽学コース・芸術メディア論コース・演劇身体表現コースは30単位、映像芸術学コース・美術史学コースは28単位、総合芸術学コースは42単位修得すること。選択科目を、音楽学コース・芸術メディア論コース・演劇身体表現コースは31単位以上、映像芸術学コース・美術史学コースは29単位以上、総合芸術学コースは43単位以上修得した場合は、Ⅶ（明治学院共通科目および学科科目部門）の単位として扱われる。

１年次				
ナンバリング		科　　目　　名	開講	単位
各コース共通科目				
LAART	101・102	※ 芸術学概論Ｐ・Ｓ	学期	２・２
音楽学コース関係科目				
LAMUS	101・102	※ 西洋音楽通史Ｐ・Ｓ	学期	２・２
LAMUS	103	※ 音楽概論	学期	２
LAMUS	104・105	※ 音楽理論演習１Ａ･Ｂ	学期	1･1
映像芸術学コース関係科目				
LAFIL	101・102	※ 映画史通説Ｐ・Ｓ	学期	２・２
LAFIL	103・104	※ 映像基礎研究Ｐ・Ｓ	学期	２・２
LAFIL	105・106	映像芸術学序説Ｐ・Ｓ	学期	２・２
美術史学コース関係科目				
LAFAH	101・102	※ 西洋美術通史Ｐ・Ｓ	学期	２・２
LAFAH	103・104	※ 日本・東洋美術通史Ｐ・Ｓ	学期	２・２
芸術メディア論コース関係科目				
LAMED	101・102	※ メディア・コミュニケーション論序説Ｐ・Ｓ	学期	２・２
LAMED	103・104	※ メディア文化社会論序説Ｐ・Ｓ	学期	２・２
演劇身体表現コース関係科目				
LATHE	101・102	※ 演劇概論Ｐ・Ｓ	学期	２・２
LATHE	103・104	※ 身体表現論概説Ｐ・Ｓ	学期	２・２

２年次				
ナンバリング		科　　目　　名	開講	単位
音楽学コース関係科目				
LAMUS	201	※ 音楽学基礎演習	通年	2
LAMUS	202	※ 音楽学資料講読	通年	2
LAMUS	203	※ 音楽理論演習２Ａ	学期	1
LAMUS	204	音楽理論演習２Ｂ	学期	1
LAMUS	205・206	音響表現論演習Ａ･Ｂ　（注１）	学期	1･1
映像芸術学コース関係科目				
LAFIL	201	映Ⓑ 映像芸術学演習１	通年	2
LAFIL	202	映Ⓑ 映像芸術学演習２	通年	2
LAFIL	203	映Ⓑ 映像芸術学演習３	通年	2
美術史学コース関係科目				
LAFAH	201・202	※ 西洋美術史資料講読Ａ･Ｂ	学期	１・１
LAFAH	203・204	※ 日本・東洋美術史資料講読Ａ･Ｂ	学期	１・１
LAFAH	105・106	デッサンＡ･Ｂ	学期	１・１
芸術メディア論コース関係科目				
LAMED	201・202	※ 芸術メディア論２年次演習１Ａ･Ｂ	学期	１・１
LAMED	203・204	※ 芸術メディア論２年次演習２Ａ･Ｂ	学期	１・１
演劇身体表現コース関係科目				
LATHE	201	※ 演劇身体表現論２年次演習１	通年	2
LATHE	202	※ 演劇身体表現論２年次演習２	通年	2
文学部共通科目				
LECRS	201・202	異文化理解１・２	学期	２・２

（注１）音響表現論演習Ｂの履修は、音響表現論演習Ａを履修していることが前提である。従って、「B」の履修は前年度までに「A」の単位を修得しているか、同じ年度に「A・B」の両方を履修する場合にのみ可能である。

３年次				
ナンバリング		科　　目　　名	開講	単位
音楽学コース関係科目				
LAMUS	301・302	※ 音楽学研究１Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAMUS	303・304	※ 音楽学研究２Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAMUS	305	※ 音楽分析演習	通年	２
LAMUS	207・208	音Ⓑ 楽書演習Ａ･Ｂ	学期	１・１
LAMUS	306・307	音楽学特講１Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAMUS	308・309	音楽学特講２Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAMUS	310・311	音楽学特講３Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAMUS	312	音楽学特講４	学期	２
LAMUS	313	音楽学特講５	学期	２
LAMUS	314	音楽学特講６	学期	２
LAMUS	315	音楽学特講７	学期	２
映像芸術学コース関係科目				
LAFIL	301	※ 映像理論演習	通年	４
LAFIL	302・303	※ 映像学文献講読Ａ･Ｂ	学期	１・１
LAFIL	304	映Ⓒ 映画史演習	通年	４
LAFIL	305	映Ⓒ 映像文化研究	通年	４
LAFIL	306・307	映Ⓓ 映画史特講１Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAFIL	308・309	映Ⓓ 映画史特講２Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAFIL	310・311	映像芸術学特講１Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAFIL	312・313	映像芸術学特講２Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAFIL	314・315	映像芸術学特講３Ａ･Ｂ	学期	２・２
美術史学コース関係科目				
LAFAH	301・302	美Ⓑ 西洋美術史研究Ａ･Ｂ　（注２）	学期	２・２
LAFAH	205・206	美Ⓑ 美術史の理論と方法Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAFAH	303・304	美Ⓑ 西洋美術史特講１Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAFAH	305・306	美Ⓑ 西洋美術史特講２Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAFAH	307・308	美Ⓒ 日本・東洋美術史研究Ａ･Ｂ　（注２）	学期	２・２
LAFAH	309・310	美Ⓒ 日本美術史特講１Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAFAH	311・312	美Ⓒ 日本美術史特講２Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAFAH	207・208	美Ⓒ 日本近代美術史Ａ･Ｂ	学期	２・２
LAFAH	313	美Ⓓ 西洋美術史演習　（注２）	通年	２
LAFAH	314	美Ⓓ 日本・東洋美術史演習　（注２）	通年	２
LAFAH	209・210	現代美術論Ａ･Ｂ	学期	２・２
芸術メディア論コース関係科目				
LAMED	301	メⓑ 芸術メディア論３年次演習１　（注３）	通年	２
LAMED	302	メⓑ 芸術メディア論３年次演習２　（注３）	通年	２
LAMED	303・304	メⓒ 芸術メディア論文献講読１Ａ・Ｂ	学期	１・１
LAMED	305・306	メⓒ 芸術メディア論文献講読２Ａ・Ｂ	学期	１・１
LAMED	307・308	メⓓ デジタルアート論Ａ・Ｂ	学期	２・２
LAMED	309・310	メⓓ メディア実践論Ａ・Ｂ	学期	２・２
LAMED	311・312	メⓓ ポピュラーカルチャー論Ａ・Ｂ	学期	２・２
LAMED	313・314	メⓓ 建築・都市空間論Ａ・Ｂ	学期	２・２
LAMED	315・316	メⓓ デザイン論Ａ・Ｂ	学期	２・２
LAMED	317・318	メⓓ メディア産業論Ａ・Ｂ	学期	２・２
LAMED	319・320	芸術メディア論特講１Ａ・Ｂ	学期	２・２
LAMED	321・322	芸術メディア論特講２Ａ・Ｂ	学期	２・２
演劇身体表現コース関係科目				
LATHE	301	演Ⓑ 演劇身体表現論３年次演習１	通年	２
LATHE	302	演Ⓑ 演劇身体表現論３年次演習２	通年	２

LATHE	303・304	演Ⓒ 演劇身体表現文献講読１Ａ・Ｂ	学期	1・1
LATHE	305・306	演Ⓒ 演劇身体表現文献講読２Ａ・Ｂ	学期	1・1
LATHE	307・308	演Ⓓ 西洋演劇研究Ａ・Ｂ	学期	2・2
LATHE	309・310	演Ⓓ 日本演劇研究Ａ・Ｂ	学期	2・2
LATHE	311・312	演Ⓓ 演劇学Ａ・Ｂ	学期	2・2
LATHE	313・314	演Ⓓ バレエ研究Ａ・Ｂ	学期	2・2
LATHE	315・316	コンテンポラリーダンス論Ａ・Ｂ	学期	2・2
LATHE	317・318	パフォーマンス理論Ａ・Ｂ	学期	2・2
LATHE	319・320	ミュージカル研究Ａ・Ｂ	学期	2・2
LATHE	321・322	舞台芸術論Ａ・Ｂ	学期	2・2
総合芸術学コース関係科目				
LACOM	301・302	※ キリスト教芸術Ｐ・Ｓ	学期	2・2
LACOM	303・304	総Ⓑ 思想と芸術Ａ･Ｂ	学期	2・2
LACOM	305・306	総Ⓑ 現代社会と芸術１Ａ・Ｂ	学期	2・2
LACOM	307・308	総Ⓑ 現代社会と芸術２Ａ・Ｂ	学期	2・2
LACOM	309・310	総Ⓑ 現代社会と芸術３Ａ・Ｂ	学期	2・2
LACOM	311	総Ⓑ 芸術表現論	通年	2
LACOM	312	総Ⓑ アートマネジメント論	通年	2

（注２）卒業論文で西洋美術史を専攻する予定の学生は西洋美術史演習と西洋美術史研究Ａ・Ｂを、日本･東洋美術史125を専攻する予定の学生は、日本・東洋美術史演習と日本・東洋美術史研究Ａ・Ｂを必ず修得すること。

（注３）メⒷを付した芸術メディア論３年次演習１、芸術メディア論３年次演習２は、２科目中１科目修得すること。２科目以上の履修は不可とする。

３年次				
ナンバリング		科　目　名	開講	単位
学芸員課程関係科目（注４）				
LACUR	301	生涯学習概論	学期	2
LACUR	302	博物館概論	学期	2
LACUR	303・304	博物館学各論Ａ・Ｂ	学期	2・2
LACUR	305	博物館資料保存論	学期	2
LACUR	306	博物館展示論	学期	2
LACUR	307・308	博物館教育論Ａ・Ｂ	学期	2・2
LACUR	309・310	視聴覚教育メディア論Ａ・Ｂ	学期	2・2
文学部共通科目				
LFLTJ	301・302	日本文学（専）Ａ・Ｂ	学期	2・2
LAGEN	101・102	中国文学Ａ・Ｂ	学期	2・2
LAGEN	103・104	ドイツ文学Ａ・Ｂ	学期	2・2
LFLTE	301・302	西洋文学Ａ・Ｂ	学期	2・2
LFCIN	301・302	異文化理解３・４	学期	2・2
LXCRS	301・302	哲学(専)１・２（注５）	学期	2・2
LECRS	313・314	言語学Ａ・Ｂ	学期	2・2
LFLAT	301・302	ラテン語１Ａ･Ｂ（注６）	学期	2・2
LFLAT	303・304	ラテン語２Ａ･Ｂ	学期	2・2
LECRS	315・316	小説技法Ａ･Ｂ	学期	2・2
LECRS	317・318	翻訳論Ａ･Ｂ	学期	2・2
LECRS	319・320	Practical Career English Ａ･Ｂ	学期	2・2
LAGEN	105・106	文化史Ａ･Ｂ	学期	2・2
LAGEN	107・108	民俗学Ａ･Ｂ	学期	2・2

（注４）生涯学習概論、博物館概論、博物館学各論Ａ・Ｂ、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論Ａ・Ｂ、視聴覚教育メディア論Ａ・Ｂ、博物館実習は単位を修得しても卒業要件単位とならない。詳細は学

芸員の項を参照のこと。

（注５）哲学(専)１・２を履修するためには、明治学院共通科目「MGPHI」(哲学)、「MGETH」(倫理学)、「MGLOG」(論理学)の中から、ナンバリングのアルファベットが同一の２科目（計４単位）を修得済みでなければならない。

（注６）明治学院共通科目の「ラテン語研究Ａ・Ｂ」を修得したものは、「ラテン語１Ａ・Ｂ」を履修できない。

４年次				
科　目　名			開講	単位
音楽学コース関係科目				
LAGRA	401	※卒業論文（注７・８）		6
LAGRA	402	※卒論ゼミナール（注７）		2
映像芸術学コース関係科目				
LAGRA	401	※卒業論文（注７・８）		6
LAGRA	402	※卒論ゼミナール（注７）		2
美術史学コース関係科目				
LAGRA	401	※卒業論文（注７・８）		6
LAGRA	402	※卒論ゼミナール（注７）		2
芸術メディア論コース関係科目				
LAGRA	401	※卒業論文（注７・８）		6
LAGRA	402	※卒論ゼミナール（注７）		2
演劇身体表現コース関係科目				
LAGRA	401	※卒業論文（注７・８）		6
LAGRA	402	※卒論ゼミナール（注７）		2
学芸員課程関係科目（注 4）				
LACUR	401	博物館実習（注９）		3

（注７）芸術学科卒業論文、卒業ゼミナールについて

イ）両科目の履修の可否は所定の審査により決定される。審査の結果、履修が認められない場合は、総合芸術学コース所属となる。

ロ）履修した場合、この２科目両方を修得しなければ、卒業が認められない。また、単位が修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。

ハ）ロで示した審査は、履修前年度の秋学期に予定している。同時期に留学などで審査を受けることが難しい者は、所属コースの教員に指示を仰ぐこと。。

ニ）総合芸術学コースは両科目を履修できない。

（注８）芸術学科卒業論文について

イ）卒業論文は、芸術の諸分野に関するテーマで、「卒論ゼミナール」担当の教員の指導のもとに書く。芸術学科共同研究室が配布する「卒業論文要項」を参照の上、作成すること。

ロ）卒業論文は、指定の日時に教務課に提出する。

ハ）提出された論文は、主査と副査の２名が行なう。審査の後、口頭試問を行なう。

ニ）論文は以下の項目を評価基準として、総合的に判断される。

１．論文としての構成・体裁が整っているか。

２．研究の焦点が明確で、研究内容が具体的で説得力を持っているか。

３．資料を適切に用い、引用を適切に行っているか。

４．用語や文章は的確で表現力が優れているか。

５．論文としての独創性が認められるか。

（注９）履修条件については、学芸員の項（P129）を参照のこと。

卒業論文未提出者・不合格者の９月卒業について

＊在学５年目以上の学生が、下記条件を満たしている場合、９月卒業の申請科目に「卒業論文」を含めることができる。

①前年度までに「卒論ゼミナール」の単位を修得済であること。

②前年度までに得た「卒業論文」の評価が「D」（提出したが不合格）または「N」（未提出）であること。

③卒業希望年度に「卒業論文」と春学期科目の履修で卒業見込みが立つこと。

④卒論指導担当者（それが不可能の場合は学科主任）に９月卒業を前提とした卒業論文履修者として、履修の許可を得ていること。

＊申請者は、卒業論文を７月第一火または水曜日に教務課へ提出し、審査のうえ合格した場合、春学期末に単位を修得できる。

＊上記期日に未提出または審査結果が不合格の場合、一般の学生と同じ１月の期日に改めて提出することで、３月卒業の可能性がある。

＊卒業論文を上記期日に提出し審査に合格した場合でも、他の卒業要件単位が春学期末に未修得ならば、卒業論文は年度末に単位を修得することになる。

＊希望者は、教務課指定の履修許可書に卒論指導担当者の署名と捺印を受け、他の申請書類とあわせて白金校舎の教務課に提出すること。

〔７〕文学部他学科の学科科目

下記の科目を除き、文学部他学科の学科科目をⅦ（明治学院共通科目および学科科目）の単位として24単位まで、またⅨ（学科科目・選択科目）の単位として16単位まで、卒業要件単位に含めることができる。履修条件が付されている場合があるので、履修の際は各学科の項を参照すること。

【履修できない文学部他学科の学科科目】

〔英文学科〕

基礎演習１・２	Listening and Pronunciation Ａ・Ｂ	Reading Ａ・Ｂ
Topics in American Culture Ａ・Ｂ	Topics in British Culture Ａ・Ｂ	Topics in Linguistics Ａ・Ｂ
Academic Writing Ａ・Ｂ	Academic Reading Ａ・Ｂ	Listening and Speaking Ａ・Ｂ
英語教育基礎論Ａ・Ｂ	英語教育方法論Ａ・Ｂ	英語教育実践論Ａ・Ｂ
英語教育評価論Ａ・Ｂ	Current Topics in ELT Ａ・Ｂ	Academic English Skills Ａ・Ｂ
Advanced Academic Writing	イギリス文学３年次演習	アメリカ文学３年次演習
英語学３年次演習	英語教育３年次演習	イギリス文学４年次演習
アメリカ文学４年次演習	英語学４年次演習	英語教育４年次演習
卒業論文		

〔フランス文学科〕

フランス語講読１Ａ・Ｂ	フランス語講読２Ａ・Ｂ	基礎研究Ａ・Ｂ
フランス語表現法１Ａ・Ｂ	３年次演習	４年次演習
卒業論文		

〔８〕大学独自の認証資格について

内なる国際化プロジェクト

文化、宗教、民族性など、多様な価値観を理解する学生をはぐくむこと、そして外国につながる人たちを包摂した共生社会の担い手として、人権問題などに対して鋭い洞察力を持った学生をはぐくむことを目的としています。(『内なる国際化プロジェクト』冊子より)

・このプロジェクトを通じ、所定の教室での学びを修めた学生は「多文化共生サポーター」として認証されます。その上でさらに、支援実践参加の学びを修めた学生は「多文化共生ファシリテーター」として認証されます。

・【教室での学び】明治学院大学共通科目と文学部が開講する科目のうち、指定された科目を 12 単位以上修得した者が申請を行った場合に「多文化共生サポーター」として認証されます。開講科目はプロジェクト公式 WEB サイト（http://internal-i18n-meijigakuin.org/）で確認してください。

・【支援実践参加の学び】「多文化共生ファシリテーター」の認証に必要な支援実践の場への参加を希望する者は、3)・4)「多文化共生各論 1・2」を必ず履修してください。

芸術学科科目部門別一覧

ナンバリング		科目名	単位	開講	年次
（1）各コース共通科目					
LAART	101	※芸術学概論Ｐ	2	学期	1
LAART	102	※芸術学概論Ｓ	2	学期	1
（2）音楽学コース関係科目					
LAMUS	101	※西洋音楽通史Ｐ	2	学期	1
LAMUS	102	※西洋音楽通史Ｓ	2	学期	1
LAMUS	103	※音楽概論	2	学期	1
LAMUS	104	※音楽理論演習１Ａ	1	学期	1
LAMUS	105	※音楽理論演習１Ｂ	1	学期	1
LAMUS	201	※音楽学基礎演習	2	通年	2
LAMUS	202	※音楽学資料講読	2	通年	2
LAMUS	203	※~~音楽理論演習２Ａ~~音楽理論演習２	1	学期	2
~~LAMUS~~	~~204~~	~~音楽理論演習２Ｂ~~	~~1~~	~~学期~~	~~2~~
LAMUS	205	音響表現論演習Ａ	1	学期	2
LAMUS	206	音響表現論演習Ｂ	1	学期	2
LAMUS	301	※音楽学研究１Ａ	2	学期	3
LAMUS	302	※音楽学研究１Ｂ	2	学期	3
LAMUS	303	※音楽学研究２Ａ	2	学期	3
LAMUS	304	※音楽学研究２Ｂ	2	学期	3
LAMUS	305	※音楽分析演習	2	通年	3
LAMUS	207	音Ⓑ楽書演習Ａ	1	学期	3
LAMUS	208	音Ⓑ楽書演習Ｂ	1	学期	3
LAMUS	306	音楽学特講１Ａ	2	学期	3
LAMUS	307	音楽学特講１Ｂ	2	学期	3
LAMUS	308	音楽学特講２Ａ	2	学期	3
LAMUS	309	音楽学特講２Ｂ	2	学期	3
LAMUS	310	音楽学特講３Ａ	2	学期	3
LAMUS	311	音楽学特講３Ｂ	2	学期	3
LAMUS	312	音楽学特講４	2	学期	3
LAMUS	313	音楽学特講５	2	学期	3
LAMUS	314	音楽学特講６	2	学期	3
LAMUS	315	音楽学特講７	2	学期	3
LAGRA	401	※卒業論文	6	通年	4
LAGRA	402	※卒論ゼミナール	2	通年	4
（3）映像芸術学コース関係科目					
LAFIL	101	※映画史通説Ｐ	2	学期	1
LAFIL	102	※映画史通説Ｓ	2	学期	1
LAFIL	103	※映像基礎研究Ｐ	2	学期	1
LAFIL	104	※映像基礎研究Ｓ	2	学期	1
LAFIL	105	映像芸術学序説Ｐ	2	学期	1
LAFIL	106	映像芸術学序説Ｓ	2	学期	1
LAFIL	201	映Ⓑ映像芸術学演習１	2	通年	2
LAFIL	202	映Ⓑ映像芸術学演習２	2	通年	2
LAFIL	203	映Ⓑ映像芸術学演習３	2	通年	2
LAFIL	301	※映像理論演習	4	通年	3
LAFIL	302	※映像学文献講読Ａ	1	学期	3
LAFIL	303	※映像学文献講読Ｂ	1	学期	3
LAFIL	304	映Ⓒ映画史演習	4	通年	3

LAFIL	305	映Ⓒ映像文化研究	4	通年	3
LAFIL	306	映Ⓓ映画史特講１Ａ	2	学期	3
LAFIL	307	映Ⓓ映画史特講１Ｂ	2	学期	3
LAFIL	308	映Ⓓ映画史特講２Ａ	2	学期	3
LAFIL	309	映Ⓓ映画史特講２Ｂ	2	学期	3
LAFIL	310	映像芸術学特講１Ａ	2	学期	3
LAFIL	311	映像芸術学特講１Ｂ	2	学期	3
LAFIL	312	映像芸術学特講２Ａ	2	学期	3
LAFIL	313	映像芸術学特講２Ｂ	2	学期	3
LAFIL	314	映像芸術学特講３Ａ	2	学期	3
LAFIL	315	映像芸術学特講３Ｂ	2	学期	3
LAGRA	401	※卒業論文	6	通年	4
LAGRA	402	※卒論ゼミナール	2	通年	4
（4）美術史学コース関係科目					
LAFAH	101	※西洋美術通史Ｐ	2	学期	1
LAFAH	102	※西洋美術通史Ｓ	2	学期	1
LAFAH	103	※日本・東洋美術通史Ｐ	2	学期	1
LAFAH	104	※日本・東洋美術通史Ｓ	2	学期	1
LAFAH	201	※西洋美術史資料講読Ａ	1	学期	2
LAFAH	202	※西洋美術史資料講読Ｂ	1	学期	2
LAFAH	203	※日本・東洋美術史資料講読Ａ	1	学期	2
LAFAH	204	※日本・東洋美術史資料講読Ｂ	1	学期	2
LAFAH	105	デッサンＡ	1	学期	2
LAFAH	106	デッサンＢ	1	学期	2
LAFAH	301	美Ⓑ西洋美術史研究Ａ	2	学期	3
LAFAH	302	美Ⓑ西洋美術史研究Ｂ	2	学期	3
LAFAH	205	美Ⓑ美術史の理論と方法Ａ	2	学期	3
LAFAH	206	美Ⓑ美術史の理論と方法Ｂ	2	学期	3
LAFAH	303	美Ⓑ西洋美術史特講１Ａ	2	学期	3
LAFAH	304	美Ⓑ西洋美術史特講１Ｂ	2	学期	3
LAFAH	305	美Ⓑ西洋美術史特講２Ａ	2	学期	3
LAFAH	306	美Ⓑ西洋美術史特講２Ｂ	2	学期	3
LAFAH	307	美Ⓒ日本・東洋美術史研究Ａ	2	学期	3
LAFAH	308	美Ⓒ日本・東洋美術史研究Ｂ	2	学期	3
LAFAH	309	美Ⓒ日本美術史特講１Ａ	2	学期	3
LAFAH	310	美Ⓒ日本美術史特講１Ｂ	2	学期	3
LAFAH	311	美Ⓒ日本美術史特講２Ａ	2	学期	3
LAFAH	312	美Ⓒ日本美術史特講２Ｂ	2	学期	3
LAFAH	207	美Ⓒ日本近代美術史Ａ	2	学期	3
LAFAH	208	美Ⓒ日本近代美術史Ｂ	2	学期	3
LAFAH	313	美Ⓓ西洋美術史演習	2	通年	3
LAFAH	314	美Ⓓ日本・東洋美術史演習	2	通年	3
LAFAH	209	現代美術論Ａ	2	学期	3
LAFAH	210	現代美術論Ｂ	2	学期	3
LAGRA	401	※卒業論文	6	通年	4
LAGRA	402	※卒論ゼミナール	2	通年	4
（5）芸術メディア論コース関係科目					
LAMED	101	※メディアコミュニケーション論序説Ｐ	2	学期	1
LAMED	102	※メディアコミュニケーション論序説Ｓ	2	学期	1
LAMED	103	※メディア文化社会論序説Ｐ	2	学期	1
LAMED	104	※メディア文化社会論序説Ｓ	2	学期	1
LAMED	201	※芸術メディア論２年次演習１Ａ	1	学期	2

LAMED	202	※芸術メディア論２年次演習１Ｂ	1	学期	2
LAMED	203	※芸術メディア論２年次演習２Ａ	1	学期	2
LAMED	204	※芸術メディア論２年次演習２Ｂ	1	学期	2
LAMED	301	メⒷ芸術メディア論３年次演習１	2	通年	3
LAMED	302	メⒷ芸術メディア論３年次演習２	2	通年	3
LAMED	303	メⒸ芸術メディア論文献講読１Ａ	1	学期	3
LAMED	304	メⒸ芸術メディア論文献講読１Ｂ	1	学期	3
LAMED	305	メⒸ芸術メディア論文献講読２Ａ	1	学期	3
LAMED	306	メⒸ芸術メディア論文献講読２Ｂ	1	学期	3
LAMED	307	メⒹデジタルアート論Ａ	2	学期	3
LAMED	308	メⒹデジタルアート論Ｂ	2	学期	3
LAMED	309	メⒹメディア実践論Ａ	2	学期	3
LAMED	310	メⒹメディア実践論Ｂ	2	学期	3
LAMED	311	メⒹポピュラーカルチャー論Ａ	2	学期	3
LAMED	312	メⒹポピュラーカルチャー論Ｂ	2	学期	3
LAMED	313	メⒹ建築・都市空間論Ａ	2	学期	3
LAMED	314	メⒹ建築・都市空間論Ｂ	2	学期	3
LAMED	315	メⒹデザイン論Ａ	2	学期	3
LAMED	316	メⒹデザイン論Ｂ	2	学期	3
LAMED	317	メⒹメディア産業論Ａ	2	学期	3
LAMED	318	メⒹメディア産業論Ｂ	2	学期	3
LAMED	319	芸術メディア論特講１Ａ	2	学期	3
LAMED	320	芸術メディア論特講１Ｂ	2	学期	3
LAMED	321	芸術メディア論特講２Ａ	2	学期	3
LAMED	322	芸術メディア論特講２Ｂ	2	学期	3
LAGRA	401	※卒業論文	6	通年	4
LAGRA	402	※卒論ゼミナール	2	通年	4
（6）演劇身体表現コース関係科目					
LATHE	101	※演劇概論Ｐ	2	学期	1
LATHE	102	※演劇概論Ｓ	2	学期	1
LATHE	103	※身体表現論概説Ｐ	2	学期	1
LATHE	104	※身体表現論概説Ｓ	2	学期	1
LATHE	201	※演劇身体表現論２年次演習１	2	通年	2
LATHE	202	※演劇身体表現論２年次演習２	2	通年	2
LATHE	301	演Ⓑ演劇身体表現論３年次演習１	2	通年	3
LATHE	302	演Ⓑ演劇身体表現論３年次演習２	2	通年	3
LATHE	303	演Ⓒ演劇身体表現文献講読１Ａ	1	学期	3
LATHE	304	演Ⓒ演劇身体表現文献講読１Ｂ	1	学期	3
LATHE	305	演Ⓒ演劇身体表現文献講読２Ａ	1	学期	3
LATHE	306	演Ⓒ演劇身体表現文献講読２Ｂ	1	学期	3
LATHE	307	演Ⓓ西洋演劇研究Ａ	2	学期	3
LATHE	308	演Ⓓ西洋演劇研究Ｂ	2	学期	3
LATHE	309	演Ⓓ日本演劇研究Ａ	2	学期	3
LATHE	310	演Ⓓ日本演劇研究Ｂ	2	学期	3
LATHE	311	演Ⓓ演劇学Ａ	2	学期	3
LATHE	312	演Ⓓ演劇学Ｂ	2	学期	3
LATHE	313	演Ⓓバレエ研究Ａ	2	学期	3
LATHE	314	演Ⓓバレエ研究Ｂ	2	学期	3
LATHE	315	コンテンポラリーダンス論Ａ	2	学期	3
LATHE	316	コンテンポラリーダンス論Ｂ	2	学期	3
LATHE	317	パフォーマンス理論Ａ	2	学期	3
LATHE	318	パフォーマンス理論Ｂ	2	学期	3

LATHE	319	ミュージカル研究Ａ	2	学期	3
LATHE	320	ミュージカル研究Ｂ	2	学期	3
LATHE	321	舞台芸術論Ａ	2	学期	3
LATHE	322	舞台芸術論Ｂ	2	学期	3
LAGRA	401	※卒業論文	6	通年	4
LAGRA	402	※卒論ゼミナール	2	通年	4
(7) 総合芸術学コース関係科目					
LACOM	301	※キリスト教芸術Ｐ	2	学期	3
LACOM	302	※キリスト教芸術Ｓ	2	学期	3
LACOM	303	総Ⓑ思想と芸術Ａ	2	学期	3
LACOM	304	総Ⓑ思想と芸術Ｂ	2	学期	3
LACOM	305	総Ⓑ現代社会と芸術１Ａ	2	学期	3
LACOM	306	総Ⓑ現代社会と芸術１Ｂ	2	学期	3
LACOM	307	総Ⓑ現代社会と芸術２Ａ	2	学期	3
LACOM	308	総Ⓑ現代社会と芸術２Ｂ	2	学期	3
LACOM	309	総Ⓑ現代社会と芸術３Ａ	2	学期	3
LACOM	310	総Ⓑ現代社会と芸術３Ｂ	2	学期	3
LACOM	311	総Ⓑ芸術表現論	2	通年	3
LACOM	312	総Ⓑアートマネジメント論	2	通年	3
(8) 学芸員課程関係科目					
LACUR	301	生涯学習概論	2	学期	3
LACUR	302	博物館概論	2	学期	3
LACUR	303	博物館学各論Ａ	2	学期	3
LACUR	304	博物館学各論Ｂ	2	学期	3
LACUR	305	博物館資料保存論	2	学期	3
LACUR	306	博物館展示論	2	学期	3
LACUR	307	博物館教育論Ａ	2	学期	3
LACUR	308	博物館教育論Ｂ	2	学期	3
LACUR	309	視聴覚教育メディア論Ａ	2	学期	3
LACUR	310	視聴覚教育メディア論Ｂ	2	学期	3
LACUR	401	博物館実習	3	通年	4
(9) 文学部共通科目					
LFLTJ	301	日本文学（専）Ａ	2	学期	3
LFLTJ	302	日本文学（専）Ｂ	2	学期	3
LAGEN	101	中国文学Ａ	2	学期	3
LAGEN	102	中国文学Ｂ	2	学期	3
LAGEN	103	ドイツ文学Ａ	2	学期	3
LAGEN	104	ドイツ文学Ｂ	2	学期	3
LFLTE	301	西洋文学Ａ	2	学期	3
LFLTE	302	西洋文学Ｂ	2	学期	3
LECRS	201	異文化理解１	2	学期	2
LECRS	202	異文化理解２	2	学期	2
LFCIN	301	異文化理解３	2	学期	3
LFCIN	302	異文化理解４	2	学期	3
LXCRS	301	哲学（専）１	2	学期	3
LXCRS	302	哲学（専）２	2	学期	3
LECRS	313	言語学Ａ	2	学期	3
LECRS	314	言語学Ｂ	2	学期	3
LFLAT	301	ラテン語１Ａ	2	学期	3
LFLAT	302	ラテン語１Ｂ	2	学期	3
LFLAT	303	ラテン語２Ａ	2	学期	3
LFLAT	304	ラテン語２Ｂ	2	学期	3

LECRS	315	小説技法Ａ	2	学期	3
LECRS	316	小説技法Ｂ	2	学期	3
LECRS	317	翻訳論Ａ	2	学期	3
LECRS	318	翻訳論Ｂ	2	学期	3
LECRS	319	Practical Career English A	2	学期	3
LECRS	320	Practical Career English B	2	学期	3
LAGEN	105	文化史Ａ	2	学期	3
LAGEN	106	文化史Ｂ	2	学期	3
LAGEN	107	民俗学Ａ	2	学期	3
LAGEN	108	民俗学Ｂ	2	学期	3

学芸員

本学文学部芸術学科は、学科設立の趣旨にもとづき、学芸員課程を併設する。

学芸員の職務

学芸員とは博物館におかれる専門的職員である。博物館とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む）し、展示して、教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（公民館、図書館を除く）をいう。

学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業について専門的事項をつかさどる。

学芸員の資格を得るには

博物館法に基づく学芸員の資格は、以下の３項に挙げる条件のうち、いずれかを満たす者に与えられる。

(1) 学士の学位を有する者で大学において文部科学省令に定める博物館に関する科目及び単位を修得した者

(2) 大学に２年以上在学し、(1)の博物館に関する科目の単位を含めて 62 単位以上を修得した者で、３年以上学芸員補（これに相当する職等を含む）の職にあった者

(3) 文部科学大臣が文部科学省令で定めるところにより(1)(2)に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めた者

上記の条件(1)を満たす学芸員の資格を付与するため、文学部芸術学科に、つぎの専門教育科目をおく。

博物館法に定める科目名		配当年次	開講	本学で開講している科目名（単位）			本学で必要な修得単位数
文部科学省令に定められた必修科目	生涯学習概論	３年次	学期	LACUR	301	生涯学習概論（２単位）	２単位
	博物館概論	３年次	学期	LACUR	302	博物館概論（２単位）	２単位
	博物館経営論	３年次	学期	LACUR	303	博物館学各論Ａ（２単位）	２単位
	博物館資料論	３年次	学期	LACUR	304	博物館学各論Ｂ（２単位）	２単位
	博物館資料保存論	３年次	学期	LACUR	305	博物館資料保存論（２単位）	２単位
	博物館展示論	３年次	学期	LACUR	306	博物館展示論（２単位）	２単位
	博物館教育論	３年次	学期	LACUR	307	博物館教育論Ａ（２単位）	２科目４単位
			学期	LACUR	308	博物館教育論Ｂ（２単位）	
	博物館情報・ﾒﾃﾞｨｱ論	３年次	学期	LACUR	309	視聴覚教育ﾒﾃﾞｨｱ論Ａ（２単位）	２科目４単位
			学期	LACUR	310	視聴覚教育ﾒﾃﾞｨｱ論Ｂ（２単位）	
	博物館実習	４年次	通年	LACUR	401	博物館実習（３単位）	３単位

本学が定める選択必修科目	美　術　史	１年次		西洋美術通史Ｐ・Ｓ（各２単位） 日本・東洋美術通史Ｐ・Ｓ（各２単位）	美術史・文化史・民俗学の３区分のうち、２区分以上から８単位以上
		３年次		西洋美術史研究Ａ・Ｂ（各２単位） 日本･東洋美術史研究Ａ・Ｂ（各２単位）	
	文　化　史	３年次		文化史Ａ・Ｂ（各２単位）	
	民　俗　学	３年次		民俗学Ａ・Ｂ（各２単位）	

（注）生涯学習概論、博物館概論、博物館学各論Ａ・Ｂ、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論Ａ・Ｂ、視聴覚教育メディア論Ａ・Ｂ、博物館実習の各科目は卒業単位には含まれない。

履修に関する注意

１．芸術学科以外の学生は本課程を履修できない。
２．本課程の履修を希望する学生は、２年次の秋学期に行われる説明会に出席しなければならない。事前の申し出なくこれを欠席した場合は、本課程を履修する権利を失う。
３．実習機関の実習生受け入れ能力は限られているため、課程を履修できる人数をやむを得ず制限することがある。
４．選択必修科目は大学が定める科目区分３区分（美術史、文化史、民俗学）のうち、２区分以上８単位以上を修得すること。
※博物館法に定める科目区分の科目と、本学で開講している科目名とは異なるので注意すること。
５．生涯学習概論、博物館概論、博物館学各論Ａ・Ｂ、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論Ａ・Ｂ、視聴覚教育メディア論Ａ・Ｂは必ず３年次で履修しなければならない。３年次でこの科目の単位を修得していない場合には、４年次に行われる博物館実習を履修する権利を失う。
６．選択必修科目のうち８単位も、３年次終了までに修得することが望ましい。
７．必修科目に関しては、学科の年間履修制限単位を越えて履修することができる。
８．見学や実習にかかる交通費等の諸経費は自己負担となる。

諸資格

社会福祉主事任用資格

社会福祉主事任用資格が取得できる学科

社会福祉主事任用資格は、すべての学科の学生が取得することができます。

社会福祉主事の職務

国、地方公共団体、社会福祉法人など社会福祉事業を経営する者は、福祉サービスを必要としている人たちが心身ともに健やかに育成され、または社会、経済、文化その他の活動に参加する機会が与えられ、その年令、環境、心身の状況に応じて、地域において必要な福祉サービスを提供できるようにしなければなりません。このことに基づき、地方公共団体は、福祉に関する事務所を設置しており、ここには社会福祉主事をおくよう社会福祉法において義務づけられています。

社会福祉主事は、その事務所において生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、及び知的障害者福祉法の定める援護、育成または更生の措置に関する事務を行うことを職務としています。

社会福祉主事任用資格を得るには

20歳以上の者で、人格高潔で思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり、かつ下記1～3のいずれかに該当する者が任用資格を得られます。**任用資格とは、公務員試験に合格して公務員となった者にあてはまるものであり、この要件が満たされなければ社会福祉主事にはなれません。**

1. 大学において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修め卒業した者
2. 厚生労働大臣の指定する養成機関又は講習会の課程を修了した者
3. 厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した者

本学学生は、次ページに挙げる**『社会福祉法に定める科目』を3科目以上修得**することで、社会福祉主事任用資格を得ることができます。『社会福祉法に定める科目』に対し、『本学で開講している科目』を表記していますので、これらの科目を修得してください。

『本学で開講している科目』について、その科目を履修することができる学科を「○」で示しています、各科目の履修に際しては条件が付される場合もあります。詳しくは所属学部の履修要項でご確認ください。なお表では学科名称に略称を用いています。(LE：英文学科、LF:フランス文学科、LA:芸術学科、EE:経済学科、EB：経営学科、EG：国際経営学科、SG：社会学科、SW:社会福祉学科、JU：法律学科、JC：消費情報環境法学科、JP:政治学科、JG：グローバル法学科、KS：国際学科、KC：国際キャリア学科、PS：心理学科、PE：教育発達学科)

本資格の取得要件を満たしている方には、証明書を発行いたします。お求めになる場合は教務部までお問い合わせください。

前年度からの変更点

前年度からの変更点

2021 年度について下記の事項が変更となりました。

【明治学院共通科目】

●「卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)」追記

※2019～2020 年度生対象（英文・仏文・芸術学科）

4. 諸領域科目群　6. 特別学科科目

内なる国際化論 A・B

●6. 特別学科科目（2007～2017 は[E 群科目]11. 特別学科科目）　追記

※2007～2020 年度生対象（英文・仏文・芸術学科）

配当年次：3

科目名：内なる国際化論 A・B

単位数：2

開講学期：春・秋

【英文学科】

●「卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)」表記変更

※2020 年度生対象（英文学科）

英語発展科目 A 群

（下記科目名の変更）

~~KCGEN103Current Affairs A~~ KCGEN102Current Affairs A

~~KCGEN104Current Affairs B~~ KCGEN103Current Affairs B

●[1]卒業までに必要な単位数　学科選択科目部分　追記　※2007～2020 年度生対象（英文学科）

文学部共通科目

●[4]再試験　追記　※2007～2020 年度生対象（英文学科）

卒業年次生のうち、卒業に必要な単位数を学科科目 1 科目（卒業論文は除く）の範囲内で満たすことができなかった学生につき、当該年度の D 評価の科目を対象として再試験の機会を設ける場合がある。

●[6]学科科目　表の修正　※2020 年度生対象（英文学科）

1 年次　英語発展科目 A 群

（下記科目名の変更）

~~KCGEN103Current Affairs A~~ KCGEN102Current Affairs A

~~KCGEN104Current Affairs B~~ KCGEN103Current Affairs B

●[6]学科科目　「異文化理解 1・2」注の削除　※2007～2020 年度生対象（英文学科）

「異文化理解 1・2」は、横浜校舎では外国人教員が担当する。

●英文学科学科科目一覧　表の修正　※2020 年度生対象（英文学科）

英語発展科目 A 群

（下記科目名の変更）

~~KCGEN103Current Affairs A~~ KCGEN102Current Affairs A

~~KCGEN104Current Affairs B~~ KCGEN103Current Affairs B

【フランス文学科】

●[1]卒業までに必要な単位数　学科選択科目部分　追記

(2)文学部共通科目

※2011～2020 年度生対象（フランス文学科）

●[3]年間履修制限単位数等について　追記　※2011～2020 年度生対象（フランス文学科）

・1 年間に履修できる単位数の上限は、49 単位とする（「教職に関する科目」に限り、16 単位までの超過履修を認める）。

ただし、「TESOL Seminar（短期留学）」の単位は、この中に含めない。

●[5]再試験　追記　※2011～2020 年度生対象（フランス文学科）

卒業年次生のうち、卒業に必要な単位数を学科科目 1 科目（卒業論文は除く）の範囲内で満たすことができなかった学生につき、当該年度の D 評価の科目を対象として再試験の機会を設ける場合がある。

●[7]学科科目　「LFELF103Communication niveau avancé」注の追記

※2011～2020 年度生対象（フランス文学科）

（注 4）中級程度。4 度まで修得することができる。

●[9]文学部他学科の学科科目　表の修正（2018・2019 は[8]）　※2018～2020 年度生対象（フランス文学科）

（2）芸術学科　音楽学コース

（下記科目名の変更）

~~音楽理論演習 2A~~ 音楽理論演習 2

（下記科目の削除）

音楽理論演習 2B

●[10]フランス語既習者の履修　表記の削除　※2011～2019 年度生対象（フランス文学科）

また、2 年次には「Exercices Pratiques 2A・2B」のみ特設クラスを設ける。

●[10]フランス語既習者の履修　表の修正　※2011～2019 年度生対象（フランス文学科）

（下記項目の削除）

（2）フランス語科目（2 年次）

Exercices Pratiques 2A　㊥Exercices Pratiques 2A

Exercices Pratiques 2B　㊥Exercices Pratiques 2B

【芸術学科】

●「卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)」表記変更

※2019・2020 年度生対象（芸術学科）

（2）音楽学コース関係科目

（下記科目名の変更）

~~音楽理論演習 2A~~ 音楽理論演習 2

（下記科目の削除）

音楽理論演習 2B

●[1]卒業までに必要な単位数　表の修正　※2018～2020 年度生対象（芸術学科）

《音楽学コース　学科科目》

（下記科目名の変更）

~~音楽理論演習 2A~~ 音楽理論演習 2

●[2]年間履修制限単位数等について　追記　※2011～2020 年度生対象（芸術学科）

・1 年間に履修できる単位数の上限は、48 単位とする。ただし、「TESOL Seminar（短期留学）」の単位は、この中に含めない。

●[3]履修中止除外科目について　表の修正　※2018～2020 年度生対象（芸術学科）

音楽学コース関係科目

（下記科目名の変更）

~~音楽理論演習 2A~~ 音楽理論演習 2

●[5]再試験　追記　※2011～2020 年度生対象（芸術学科）

卒業年次生のうち、卒業に必要な単位数を学科科目 1 科目（卒業論文は除く）の範囲内で満たすことができなかった学生につき、当該年度の D 評価の科目を対象として再試験の機会を設ける場合がある。

●[6]学科科目　（Ⅷ）必修・選択必修科目、（Ⅸ）選択科目　表記変更　※2018～2020 年度生対象（芸術学科）

・卒業論文、卒論ゼミナール、演習（音楽理論演習 1A・B、~~音楽理論演習 2A・B~~ 音楽理論演習 2、音響表現論演習 A・B、楽書演習 A・B、芸術メディア論 2 年次演習 1A・B、芸術メディア論 2 年次演習 2A・B を除く）、および音楽学資料講読、映像文化研究、博物館実習は通年科目、それ以外はセメスター科目である。

●芸術学科科目部門別一覧　表の修正　　※2018～2020 年度生対象（芸術学科）

（2）音楽学コース関係科目

（下記科目名の変更）

~~※音楽理論演習 2A~~ 音楽理論演習 2

（下記科目の削除）

音楽理論演習 2B